

ムモニア茴香精ノ内服等以上ノ法ヲ處スルモ病勢更ニ衰ヘズシテ身體ノ水分甚タシク消失爲メニ危險症狀ニ陥ラントスル片ハ食鹽水(〇、六%)五〇、〇一〇〇、〇以上(二十四時間)ノ皮下注入及テムメ氏胃腸洗滌法二一、二、五%ノ硼酸水ヲ用ヒテマイチルト氏ノ賞用セル多量ノ水ノ注入法等ヲ試ム可シ

- 甘汞 〇、〇〇五乃至〇、〇一
- 白糖 〇、五
- 右爲一包與十包毎二時一包
- レゾルチン 〇、三乃至〇、五
- 苦丁 一、〇
- 單舍 二〇、〇
- 餛水 八〇、〇
- 右黑色瓶ニ入レテ與フ毎二時一茶匙
- 安息香酸ナトリウム 二〇、〇
- 餛水 一〇〇〇、〇
- 右胃洗滌料

- クレオソート 六滴
- 餛水 一〇〇〇、〇
- 右混和灌腸料
- 過クロール鐵液 十滴
- 餛水 四〇、〇
- 右二回ニ灌腸ス
- 麥角越 各五、〇
- 安息香阿片丁 一〇〇、〇
- 薄荷水 二〇、〇
- 橙皮舍
- 右調和毎二時一茶匙
- 結晶硝酸銀 〇、一

- サレツプ煎 五〇、〇
- 右調和二回灌腸料
- サリチール酸 一、〇ヲ適宜ノ酒精ニ溶解セシメテ後チ餛水五〇、〇ヲ加フ
- 右二回ノ灌腸料
- クレオソート 一乃至三滴
- 阿片丁 一乃至二滴
- 桂皮水 各五、〇
- 單舍 各五、〇
- 餛水 一〇〇、〇
- 右調和毎時一茶匙
- カミルレ浸 (一〇、〇)一〇〇、〇
- レゾルチン 一、〇
- 薄荷水 各五、〇
- 單舍 各五、〇
- 右調和毎時一食匙
- 虚脱ニハ左方ヲ處シテ効アリ

- 食鹽 四、〇
- 炭酸ナトロン 三、〇
- 餛水 一〇〇、〇〇
- 右調和煮沸シテ後濾過シ微温トナシテ胃ノ洗滌トナス
- エーテル 二、〇
- ゴム合劑 一〇〇〇、〇
- 桂皮水 各五、〇
- 單舍 各五、〇
- 右調和毎時一茶匙
- アムモニア茴香精 各一〇、〇
- エーテル精
- 右毎半時三乃至七滴
- 安息香酸ナトリウム 〇、五
- 再餛酒精 二、〇
- 單舍 一五、〇
- 餛水 一〇〇、〇
- 右調和毎時一乃至二小兒匙

右調和每半時一小兒匙

樟腦

一〇〇、〇

### 疼痛性陰莖勃起

Coorda. コルダ

**原因** 淋疾性尿道周圍膿瘍ノ爲メニ陰莖海綿體血行ノ鬱滯等ヨリ來ルコト多シ又神經的疾患ニ因ルモノ有リ

**診候** 陰莖ノ角弓反張及疼痛ナリ毫モ情意ニ關セズ豫後 良

**療法** 陰莖及ヒ會陰ニ冷卷法ヲ行ヒ或ハ適當ナル軟膏ヲ塗擦シ其劇甚ナルモノニハ「モルヒチ」ヲ坐藥トシ或ハ皮下ニ注射ス又亞硝酸「アミール」ヲ三乃至五滴吸入セシム臭剝或ハ樟腦ノ内用モ亦効アリ時ニ或ハ電氣療法、灸點等

鹽酸コカイン

〇、一

五、〇

右即五十倍コカイン水、一日四乃至五回一乃至二滴尿道ニ注射ス

黃若越

一、〇

ヲセリン

八、〇

右會陰及ヒ陰莖ニ塗擦

鹽莫

〇、一

カ、オ脂

適宜

右坐藥五個ニ作り毎夕一二個

抱水クロラール

三、〇

單舍

一五、〇

餽水

一〇〇、〇

右調和二分シテ其一半ハ直チニ

之ヲ用キ十分時ヲ經テ尙ホ睡ラ

ザレハ殘一半ヲ内服セシム可シ

抱水アミール

五、〇

橙花水

五〇、〇

橙皮舍

三〇、〇

右調和二分シテ其一半ヲ一夕ニ

與フ

水製阿片越

〇、二

カ、オ脂

適宜

右坐藥五個ニ作り毎夕二個

忽布腺

一、〇

樟腦

〇、一

忽布腺越

適宜

右十粒トシ一二時間毎ニ一粒宛

樟腦

〇、五

卵黃

一筒

水製阿片越

〇、〇五

餽水

一五〇、〇

右混和二回灌腸料

### 被舞蹈病

Chorea minor. コレア、ミノール

**原因** 身體發育期ノ病ニシテ眞齒發生期ヨリ生殖器發育期ニ至ル女子ニハ殊ニ多シ腸蟲、生齒貧血其他癩麻質斯或ハ心臟病ニ誘起スルコトアリ歐洲ニ多ク本邦ニ稀ナリ妊婦ニ本病ヲ發スルコトアリ(妊婦舞蹈病)

疼痛性陰莖勃起 被舞蹈病

診候 隨意筋ニ起ル不隨意ノ筋縮ニシテ種々異様奇形ノ痙攣ヲナス其他  
全身違和、知覺過敏、食思缺損等ノ症ヲ顯ハスモノナリ

豫後 良

療法 其原因ヲ除クコトヲ勉ムベシ (腸蟲驅除、拔齒、人工墮胎) ○痙麻  
質斯ニ續發シタルモノニハ撒曹、貧血アルモノニハ鐵劑及「キニーチ」  
ヲ與フ○冷水灌溉法ヲ行ヒ虛弱ナル小兒ニハ頭部及ビ背部ニノミ灌グ  
ベシ○食物ニハ滋養品ヲ撰ミ住居ニハ空氣ノ流通ヲ善クシ而シテ精神  
及ビ身體勞働ヲ慎マシムベシ其他「ガルベニ」電氣或ハ按摩ヲ賞用ス

- 含糖炭酸鐵 二、〇
- 酸化亞鉛 一、〇
- 白糖 一〇、〇
- 右散トナシ一日三回每一刀尖
- 枸橼酸鐵キニーネ 一、〇
- 苜蓿油糖 三、〇
- 右散十包トナシ毎日三包
- 法水 一〇、〇
- 右一日三回五滴ニ始マリ増加シ
- 法水 二、〇
- テ二十滴乃至每二十五滴ニ至ル
- 法水 各一〇、〇
- 餾水 各一〇、〇
- 右皮下注射料 (五滴ニ始マリ二  
滴宛増加ス)
- 法水 各五、〇
- 餾水 各五、〇
- 右一日三回每六滴
- アンチピリン 一、〇

- 右分四包一日二包
- プロームカリウム 五、〇
- 橙皮舍 二〇、〇
- 餾水 一〇〇、〇
- 右調和一日三回毎二食匙
- プロームカリウム 五、〇
- 泥菖根末及越 適宜
- 右丸二十粒ニ作り朝夕毎一粒
- 林檎鐵丁 各五、〇
- 法水 各五、〇
- 右一日五滴ヨリ増加シテ二十滴
- サリピリン 〇、五
- 右爲一包與六包一日三回一包宛
- ザロフヘン 〇、五
- 右爲一包與六包一日三回一包宛
- 亞鉛華 〇、五
- 白糖 二、〇
- 右五包ニ分チ一日三回每一包
- 繡草酸亞鉛 〇、五

- 白糖 二、〇
- 右五包ニ分チ一日三回每一包
- 亞鉛華 〇、五
- 繡草末 〇、二五
- ゴム散 一〇、〇
- 右三十包ニ分チ一日三回每一包
- 抱水クロラール 五、〇
- 單舍 三〇、〇
- 餾水 一五〇、〇
- 右調和毎時一食匙
- 硫酸フイゾスチグミン 〇、〇一
- 餾水 一〇、〇
- 右毎日半筒ヨリ漸次増量シテ二  
筒ニ至ル (皮下注射料)
- 鹽酸ヒヨスチニン 〇、〇一
- 餾水 一〇、〇
- 右同上
- エギサルギン 二、〇
- 右分十包毎日三包砂糖湯ニテ用ユ

### 脈絡膜炎

Chorioiditis.

コラチイチチス

**原因** 黴毒、痲瘋質斯、間歇熱、妊娠、月經不調其他全身病、近視及ビ

**原因不明**

**診候** 漿液性ハ屢毛様炎虹彩炎ニ併發、眼底變狀著カラズ漿液性虹彩毛様炎ト合スレバ該症著シク本症著明ナラズ、網膜疾患硝子體濁濁ヲ來セバ視力減ズ本病ハ續發性綠内障ノ虞アリ故ニ本症ノ疑アルトキハ視力視野光覺ヲ頻回精査スベシ○化膿性虹彩脈絡膜炎(全眼球炎又化膿性脈絡膜炎)ノ急性症ニアリテハ眼瞼充血腫脹、結膜ノ腫脹角膜及前房水ノ濁濁、眼球ノ緊張突出ヲ發シ疼痛ヲ訴ヘ發熱惡心嘔吐等ヲ伴フ一ニ週ノ後角膜若クハ鞏膜ヲ破壞シ膿汁ヲ排出シ或ハ排膿ナクシク諸症消散シ眼球縮少眼球癆ニ陥ルモノナリ其慢性症ニアリテハ眼瞼輕度ノ腫脹結膜僅微ノ潮紅浮腫ニ止リ瞳孔ニハ黃色ノ反射ヲ認メ(膿汁滲溜ニヨリテ)眼球萎縮ニ終ル○成形性脈絡膜炎ハ脈絡膜面ニ黑白ノ斑點ヲ生ズ帽針頭大乃至乳頭ノ中央ニ達ス散在性ノ者アリ(散在性脈絡膜炎)黃斑部ニ現ハル、者アリ(中心性脈絡膜炎)黃斑部ヲ圍ミテ散在スル者アリ(輪紋狀脈絡膜炎)視力障害、中心暗點、輪狀暗點、同心性

狹縮、眼花閃發、斜視、變視、小視、浮動、夜盲等ヲ發ス合併性ハ硝子體濁濁、虹彩炎、網膜剝離等ナリ

**豫後**

經過緩慢ナルモ豫後概テ不良ナリ

**療法**

一般ニ安靜ヲ守ラシメ凡テ黴毒ノ疑アルモノ及ビ原因不明ナル症ニハ水銀軟膏ノ塗擦撒汞注射、發汗、項部ニ強發泡膏貼用ニ兼テ沃剝ノ内服ヲ行フ其他茶、酒類、珈琲ヲ禁ジ淡泊ナル食物ヲ與ヘ保護眼鏡ヲ用井便秘ノ有無ニ拘ラズ誘導ノ目的ニ鹽類下劑ヲ與フベシ○漿液性症ニシテ内壓亢進アラバ「エゼリン」ノ點眼ヲナシ發汗劑ヲ與フ化膿性脈絡膜炎ニハ温罨法屢々鞏膜ヲ切開シテ排膿ヲ早メシメ或ハ水罨法ヲ施シ鎮痛ニハ「モルヒホ」ノ皮下注射或ハ内服ヲ命ズ  
成形性脈絡膜炎ニハ水銀軟膏ノ塗擦、沃剝ノ内服及人工蟬蟻ヲ用井貧血患者ニハ鐵劑及肝油ヲ兼用シ誘導方ヲ講スベシ  
硝子體ノ濁濁スル者ニハ

鹽酸ピロカルピン

〇、五

撒曹

六、〇

餽水

二五、〇

右散六包ニ分チ朝夕每一包

右皮下注射料毎日アラワツツ氏

沃度加里

二、〇

注射器一筒即チ(〇、〇二)

硫苦

二〇、〇

脈絡膜炎

苦丁

三、〇

餽水

一〇、〇

餽水

二〇〇、〇

一日三回二日分、

炎性ノ消退シタル後ニハ

右注射料（最初ハ二分線爾後三乃至四分線ヲ顯顯ノ皮下ニ注入スヘシ）

硝酸ストリキニーチ

〇、一

### 肝臟硬化症

Cirrhosis hepatis.

チロヂス、  
ヘパチス、  
肝臟顆粒變性

原因 飲酒過度、肝臟充血、結核、麻刺利亞、密尿病、痛風、黴毒〇中

年男子ニ多シ

診候 噯氣、呑酸、嘈雜、心窩痞便、便通不整便秘、鼓腸、顔面灰黄色、

結膜發黄及肝臟ノ初期腫大終末萎縮ニ兼ヌル脾腫、瘦削、腹水等ナリ

經過一年或ハ數年

豫後 不良

療法 原因療法ヲ主トス 酒客ニハ漸次酒精飲用ヲ斷タシメ 間歇熱ニハ

「キニーチ」黴毒ニハ驅黴療法而シテ攝生ヲ專ラトシ「カル、ス」泉緩

下劑、沃剝等ヲ用井肥大性肝臟硬變症ニハ甘汞ヲ與フ（甘汞〇、〇四ヲ

一包トシ始ハ一日六回次ニ一日四回三日間服用其後三日間休藥再ビ服

藥休藥ト交代シテ久時療法ヲ反復ス）對症療法ハ主トシテ胃加答兒ノ  
注意肝要ナリ腹水條下參照

### 風氣疝痛

Colica flatulenta.

コリカ、フラツレンタ

原因 醗酵性ノ飲食物、腸管ノ閉塞或ハ狹窄、チフス、腸加答兒、痔疾、

ヒステリー、肥胖病、衰弱ヨリ來ルコト多シ

診候 腹部殊ニ下腹膨滿緊張、壓痛、噯氣、腹鳴、放屁等

豫後 其原因ノ異ルニ從ヒ極メテ良ナルモノアリ極メテ不良ナルモノアリ

療法 鼓腸ノ原因ヲ搜出除去シ殊ニ下劑ヲ用井テ腸ノ蠕動ヲ興奮セシメ

又腹部ニ韃布、湯婆、熱布、摩擦、壓搾按腹、ヲ施シ熱茶劑トシテ「カ

ミルレ」、薄荷、メリツサ煎等ヲ用ユ〇小兒ニ於テモ原因ヲ搜出除去ス

ルコト肝要ナリ故ニ灌腸、按摩、温韃布、温浴等ニ由テ以テ腸ノ内容

物ヲ除去スルコトニ注意スベシ〇劇甚ノ發作ニハ「クロラール」ノ灌

腸ヲ施シテ効アリ〇凡テ飲食物ノ攝生ヲ嚴ニシ脂肪多キ乳汁及ヒ澱粉

質ヲ禁ジ哺乳兒ニハ乳母ヲ變換ス

メリツサ水(或ハ薄荷水) 一五〇、〇  
 カンペツヒ木越 五、〇  
 阿片安息香丁 十五滴  
 單舎 一五、〇  
 右毎二時一食匙  
 重曹 四、〇  
 薄荷油 六滴  
 煨製マカ子シア 三、〇  
 右分三包二日分服  
 菩提樹花  
 カミルレ花 各五、〇  
 橙菓 各五、〇  
 右茶劑ニ作り適宜ニ飲用セシム  
 カスカラ、サグラダ流動越 一〇、〇  
 橙皮舎 三〇、〇  
 右調和一日三回一茶匙  
 鹽莫 〇、〇五  
 杏仁水 一〇、〇

右滴劑  
 カールム油 二、〇  
 エーテル製繻草(チンキ)丁幾チ加ヘ  
 テ二〇、〇トス  
 右二十乃至三十滴白糖ニ滴下シ  
 テ用ユ  
 煨性マカ子シウム  
 茴香油糖 各一〇、〇  
 右一刀尖ヲ與フ  
 重曹  
 茴香油糖 各二〇、〇  
 獨逸ペプシン 一、〇  
 右散十包ニ分チ毎日三乃至四包  
 食後一時間ニ用ユ  
 エーテル 二、〇  
 芳香阿片酒 十滴  
 薄荷水 一〇〇、〇  
 菩提樹花水 五〇、〇

右調和毎一時一食匙  
 コロ、フアルム 十二滴  
 菩提樹花水 五〇、〇  
 右調和十五分時每一食匙  
 神經性年長ノ小兒ニハ左方ヲ處ス  
 荳蔻越 〇、一  
 杏仁水 〇、五乃至一、〇  
 右三或ハ四時間十乃至二十滴  
 杏仁水 四、〇  
 荳蔻越 〇、一  
 右調和一時乃至二時間毎十滴  
 哺乳兒ノ痛痛ニハ下腹部ノ温包、按腹

月經性痛

Colica menstrualis.

コリカ(メンス  
トルアーリス)

原因 子宮頸管ノ狭窄、或ハ屈曲ニ因ルコト多シ又卵巢病反射的刺戟等  
 ヨリ來ル  
 診候 月經時ノ下腹部ニ發スル神經痛性ノ疼痛ニシテ腰部及内股ニ放線  
 ス壓スレバ緩解スルモノナリ嘔吐ハ偏頭痛ヲ發スルコト有リ

及灌腸ヲ施ス可シ  
 又發作後ニハ左方ヲ處ス  
 カミルレ油  
 茴香油 各一乃至二滴  
 阿片丁 一〇、〇  
 白糖 右一二時間毎ニ一刀尖  
 芳香丁 各二十滴  
 エーテル 一乃至三滴  
 阿片丁 五〇、〇  
 鹽水 右調和毎二時一茶匙

療法 月經困難ノ條下ニ詳ナリ

### 鉛毒疝痛

Colica saturnina.

コリカハサツルニナ

原因 慢性ノ鉛中毒

診候 下腹部ノ神經痛性疼痛、頑固ノ便秘、肌膚帶黃灰白色、齧肉帶暗赤色、全身削瘦等ナリ

療法 安臥靜息ヲ專ラトシ劇症ニハ便通ヲ注意スベク而シテ便秘疼痛共

ニ阿片ノ内服効有リ○劇痛ニハモルヒ子ノ皮下注射下腹ノ温浴及ビ温巻法ヲ行ヒ温茶劑ヲ投ジ而シテ此毒ニ關スル職業及ビ工場ニ注意スベシ

荳蔻越  
杏仁水

〇、〇五  
一〇、〇

同時ニ下劑ヲ試用スベシ

巴豆油

三滴

右調和ニ乃至五滴ヲ砂糖ニ和シ

蓖麻子油

五〇、〇

テ用ユ

阿片

〇、二

白糖

二、〇

右研和散五包ニ分チ毎半時一包

右混和三回ニ服用スベシ但シ一回ニシテ効驗アラバ後服ヲ止ム劇瀉スルガ故ニ注意スベシ

### 火傷

Combustio.

コンブスチオ

原因 火焰、熱瓦斯、熱蒸氣、熱湯、熱液、熱固體、強酸、アルカリ等ノ觸接ナリ

診候 第一度ニ在テハ潮紅微腫第二度ニ在テハ水疱發生第三度ニ在テハ燒痂ヲ生ズルモノニシテ全身三分ノ一面ヲ傷クレバ死ヲ致ス重症ニ在テハ體温下降稀ニ發熱、脈搏頻數、煩渴、譫語、搐搦嘔吐等ヲ發ス豫後 其部位ノ如何ト火傷部ノ大小ニヨリテ極メテ良ナルアリ或ハ全ク不良

療法 第一度ニ患部小ナル者ニハ「グリセリン」或ハ「オレーフ」油ノ被包ニ乗テ冷巻法（ブロー氏液或ハグラルド氏水或ハ鉛水ヲ用井ルハ尙ホ可ナリ）○第二度水疱ヲ生ジタル者ニハ其疱根ヲ穿刺シテ其液ヲ漏シ次ニ硼酸水、撒酸水、醋酸礬土水ヲ以テ消毒シ而後酸化亞鉛、次硝蒼、ヨードフォルム、テルマトール、硼酸等ノ粉末ヲ撒布シ「ヨードフォルムガーセ」或ハ殺菌ガーゼヲ置キ繃帶綿花ヲ以テ被覆シ繃縛スベシ○第三度ノ火傷モ亦タ同法ヲ用ユ要スルニ粉末繃帶ハ軟膏繃帶ニ優ルト

鉛毒疝痛 火傷

コロノモノナリ○大部分ノ火傷ニハ持續性温浴ヲ行フ○疼痛ニハ「オ  
ルトフオルム」ノ撒布或ハ十倍オルトフオルム軟膏貼用或ハ一%ノ「コ  
カイン」溶液ヲ塗布ス○肉芽増殖ニハ硝酸銀腐蝕法ヲ行フベシ○凡テ  
火傷ハ空氣ニ曝露セザル様之ヲ保護スルコト肝要ナリトス

ラノリン	一〇、〇	澱粉	各一〇、〇
豚脂	二〇、〇	右撒布料	各一〇、〇
石灰水	三〇、〇	オルトフオルム	二、〇
次硝倉	右外用	ワゼリン	二〇、〇
澱粉	各二〇、〇	右外用	二〇、〇
次硝倉	右撒布料	硼酸	三、〇
硼酸	九、〇	ワゼリン	三〇、〇
ラノリン	七〇、〇	右外用	三〇、〇
オレーフ油	二〇、〇	亞麻仁油	各五〇、〇
右爲軟膏外用		石灰水	各五〇、〇
オルトフオルム		右混和外用	
		亞麻仁油	各五、〇

チモール	〇、〇五	オレーフ油	七、〇
右外用		ワゼリン	六〇、〇
ヘブラ氏軟膏	五〇、〇	ラノリン	三〇、〇
右貼用		鹽酸コカイン	一〇、二
ヨードフォルム	二、〇	留水	一〇、〇
ワゼリン	二〇、〇	右調和塗布用	
ラノリン	三〇、〇	抱水クロール	一〇乃至二、〇
右調和軟膏ニ作り貼用		留水	五〇、〇
ヨードフォルム	一〇、〇	右調和塗布或ハ罨法料	
オレーフ油	各三〇、〇	燒痂ノ剝離後ニハ左方	
白堊	二〇、〇	硼酸	各一、〇
鉛醋	二〇、〇	白蠟	各一、〇
右調和貼用		パラフィン	各二〇、〇
アルマトール	一〇、〇	甘扁桃油	各二〇、〇
ラノリン	二〇、〇	右調和軟膏ニ作ル	
ワゼリン	七〇、〇	クレオリン	一、五
右爲軟膏外用		ワゼリン	五〇、〇
チイロフェン	三、〇		



右爲軟膏外用  
アリストロール  
オレーフ油

三、〇  
二〇、〇

ラノリン  
右爲軟膏外用

一〇〇、〇

### 面皰

Comedones. ユノドーチス

**原因** 皮脂腺排泄管ノ閉塞ナリ

**診候** 面部或ハ背部ニ於テ皮脂腺ニ認ムル粟粒大ヨリ小豆大ナル白色圓形ノ小腫起ニシテ尖頭ニ黑色ノ點有リ

**豫後** 良

**療法** 局處療法ニハ指爪或ハ面皰壓出器ヲ用井テ脂栓ヲ壓出シ表皮ニ石鹼塗擦或ハ醋、枸櫞汁、稀鹽酸等ノ持續塗布ニ依テ面皰ノ黑頭ヲ除去スルヲ宜トス而シテ全身病ニ注意スベシ

カリ石鹼精

五〇、〇

グリセリン

一、五

右塗擦料

右調和塗擦料

硫黃乳

一〇、〇

陶土

二〇、〇

フランデー酒

五〇、〇

グリセリン

一五、〇

ラヘンデル精

一〇、〇

醋

一〇、〇

右軟膏ニ作り塗擦料(夜間ニ用ユト雖モ可成ハ白晝ニモ連用ス可シ)

右軟膏ニ作り塗擦料

ナフトール

五、〇

此軟膏ハ每週二三回患部ニ塗擦シ十乃至十五分(軽度ノ潮紅熱感ヲ度トス)ヲ經テ之ヲ拭去シ其中止時ニハ中性軟膏、澱粉類ヲ用キ且ツ「カリ」石鹼精ヲ用キテ洗滌スベシ

沈降硫黃

二五、〇

ワゼリン

綠石鹼

各一五、〇

### 腦震盪

Comotio cerebri. コンモチオ、ツエレブリー

**原因** 頭蓋ノ外傷其他外傷ノ腦ヲ振盪スルモノ

**診候** 人事不省、脈搏細小遅徐、呼吸遅徐、體温下降(稀ニ昇騰)、皮膚蒼白厥冷、瞳孔縮少、嘔吐、尿閉等

**豫後** 概テ不良ナリ輕症ノモノト雖モ俄然諸症増悪スルノ虞アリ

**療法** 頭部損傷アルモノニハ斷髮刺頭シテ其損傷ヲ處置シ少シク頭部ヲ底クシ下腹ニ温布ヲ貼シ心窩、上腹、膀胱ニ芥子泥ヲ貼シ「エーテル」樟腦油ヲ皮下ニ注射シ脈搏不正ナルトキハ「アトロピン」ヲ皮下ニ注射ス其他極メテ安臥靜息ヲ主トシ寢所ニハ暗室ヲ撰ビ頭部ニ氷嚢ヲ置ク

へシ○持續性失神ニハ皮膚ノ刺戟、温布摩擦、冷水灌腸等ヲ行ヒ強性刺戟衝動藥即チ「アムモニア」ヲ嗅入セシム○尿閉ニハ「カテーテル」ノ導尿等其主タル者ナリ

### 尖圭胼胝腫

Condylomata acuminata.

コンヂロマタ、  
アクミナータ

**原因** 痲疾及ビ其他不潔ナル分泌液ノ刺戟

**診候** 乳嘴體ノ如キ尖圭ナル小隆起ヲ多發シ摩擦アル部分ニハ疼痛ヲ發ス

**豫後** 良

**療法** 先ヅ彎剪ヲ用井其根底ヨリ截除シ次デ硝酸銀腐蝕法ヲ施スベシ又剪ニ代フルニ銳匙、電氣燒灼鉞ヲ以テスルコトアリ○單ニ腐蝕法ヲ施ストキハ疼痛甚シク治癒ヲ遲延セシムルコト通例ナリトス○多發性小胼胝腫或ハ切除ヲ嫌忌スル者ニハ撒布藥ヲ施スコトアリト雖此法ハ時々繃帶等ノ換用ヲ要スルノミナラズ又蔓延性表皮剝脫ヲ發シ易キ虞有リ

過クローレル鐵液

五、〇

二〇、〇

右塗布用（胼胝腫切除後直ニ要用スベシ）

クローレル酸カリウム

二、〇

餽水

二〇〇、〇

右調和繃帶料

患者若シ手術ヲ恐ル、カ或ハ一般ニ手術ヲ施シ難キ場合ニ於テハ左方ヲ處ス

甘汞

一〇、〇

右撒布藥（先ヅ食鹽水ヲ以テ洗

滌シ而シテ後ニ用ユ可シ）

サビナ葉末

各一〇、〇

皓礬

各一〇、〇

硫酸銅

一、〇

右研和撒布用

又硝酸、濃厚昇汞液（昇汞〇・二酒精一〇・〇）過クローレル鐵液、ヨード丁幾塗布ヲ行フテ効アリ

ヨード丁

一〇、〇

五倍子丁

一〇、〇

ヨード

〇、一

右調和毎朝夕塗布

### 扁平濕疣

Condylomata lata.

コンヂロマトラータ

此症ハ全身微毒ノ條下ニ就テ看ヨ

### 凍傷

Congelatio.    コンゲラチオ

**原因** 強度ノ寒冷ナリ

**診候** 第一度ニ在テハ潮紅腫起第二度ニ在テハ水泡潰瘍第三度ニ在テハ

尖圭胼胝腫    扁平濕疣    凍傷

壞疽

豫後 其輕重ニヨリ不定

療法 冷水、氷或ハ雪ヲ以テ摩擦スヘシ、四肢ノ凍傷ニ罹レルトキハ之ヲ高舉スベシ組織ノ壞死セルトキハ防腐療法ヲ行フ○貧血者ニシテ冬期凍瘡ヲ患フル者ハ強壯療法ヲ行フベシ(凍瘡参照)

- ガラルド水 二〇〇、〇
- 右罨法用
- 次醋酸鉛液 五、〇
- 右調和罨法用 二〇〇、〇
- 酸化亞鉛 二、〇
- ラノリン 二五、〇
- ワゼリン 五、〇
- 右調和軟膏ニ作ル
- 硼酸 三〇、〇
- ワゼリン 三〇、〇
- 右爲軟膏外用
- 精製樟腦 〇、五
- カヤフテ油 〇、三
- グリセリン 一〇、〇
- 右塗布料
- 次硝蒼 五、〇
- ワゼリン 三〇、〇
- 右爲軟膏外用
- 白降汞 二、〇
- ワゼリン 三〇、〇
- 右調和軟膏ニ作ル
- クレオソート 二、〇
- 單軟膏 一五、〇

**原因** 專ラナイセル氏ノ痲毒重球菌ノ傳染ニシテ同性結膜炎、痲疾、白帶下ヨリ傳染ス

**診候** 第一期(急性加答兒期)ニ於テハ結膜組織内ニ浸潤ヲ生ジ肥厚シテ

膿漏性結膜炎

(痲毒性結膜炎又風眼)

Conjunctivitis blennorrhoeica.

コンジュクチウキチスブレノロイカ

- 右軟膏ニ作ル 二〇、〇
- 粘着硬膏
- 右リント布ニ攤シ貼用シテ壓迫
- 繃帶トナス
- 皮膚若シ壞疽ニ陥リタル者ニハ醋酸礬土即ブロー氏液ノ罨法ヲ施シテ分界線ノ發生ヲ促スベシ
- 明礬 五、〇
- 鉛糖 二五、〇
- 鉛水 五〇、〇
- 右調和罨法用
- 明礬七〇ヲ水二八〇〇ニ溶解シ鉛
- 糖二八〇ヲ水二八〇〇ニ溶解シ兩液ヲ混合濾過シテ八〇〇〇ニ稀釋密栓シ貯フ
- 右罨法料
- 木乃伊樣壞疽ヲ起シタル者ニハ左方ヲ處ス
- 過マンガン酸カリウム
- 白陶土
- 炭酸石灰 各一〇、〇
- 右研和撒布用
- 壞疽部除去後ニハ防腐繃帶ヲ施スベシ
- 其他凍瘡ノ條ヲ參照セヨ

硬固トナリ反轉シ難シ乳頭著シク潮紅腫脹硬固トナリ眼球結膜モ亦潮紅浮腫ヲ呈シ角膜ノ周邊ニ際堤ヲ廻ラシ帶黃色ノ液ヲ分泌ス羞明、灼熱、異物ノ感アリ疼痛甚タシ○第二期（化膿期）乳頭贅殖、天鵝絨ノ如シ分泌液ハ甚濃厚ニシテ膿様ナリ其量甚ダ多シ此期ニ於テ動モスレバ炎症角膜ニ波及シテ爰ニ潰瘍ヲ生ジ其結果角膜翳ヲ貽スニ非ザレバ穿孔スルモノナリ故ニ治療上最モ周到ノ注意ヲ要ス○第三期（退行期）潮紅腫脹漸次消散シ分泌物減少且ツ液性ニ變ズ全經過四乃至六週ヲ要ス

**豫後** 眼ノ豫後ハ角膜ノ状態ニ關シ角膜疾病ノ發生速ナルニ從ヒテ益々不良ナリ

**療法** 安臥靜息及ビ攝生法肝要ナリ即チ便通ニ注意シ病室ヲ暗クシ半時毎ニ硼酸水ヲ以テ其眼ヲ清洗シ昇汞水ヲ用井テ消毒法ヲ嚴ニシ且ツ他眼ノ傳染ヲ防グガ爲メ消毒シタル綿花ヲ以テ健眼ヲ被ヒ更ニ布巾ト絆創膏ヲ用井テ之ヲ固定シ其表面ニ「コロヂウム」ヲ塗リテ患眼分泌物ノ竈入ヲ遮斷シ或ハ消炎藥氷卷法等ヲ用井或ハ八乃至十條ノ水蛭ヲ乳頭突起部若クハ顳顬部若クハ耳部ニ放ツベシ○經過中ハ常ニ角膜合併症

ニ注意シ又時トシテ結膜怒脹部ノ亂切法ヲ施スコトアリ○痲疾ノ現在スルニ於テハ其療法ヲ施スベキコト勿論ナリ○第二期以後ニ對シテハ硝酸銀其効驗著シク殆ド特效藥ト稱スルモノ可ナリ（但シ角膜合併症ノ發シタル片ハ腐蝕藥及強度ノ收斂藥ヲ中止シ專ラ角膜症ノ治方ヲ主トスベシ）膿汁滾々流出ニ際シ宜シク硝酸銀療法ヲ行ベシ

- 硼酸 六、〇
- 右眼洗滌料 三〇〇、〇
- 八千倍昇汞水 三〇〇、〇
- 右眼洗滌料 三〇〇、〇
- 五千倍昇汞水 三〇〇、〇
- 右眼洗滌料 三〇〇、〇
- 結晶硝酸銀 〇、五
- 右調和暗黒瓶ニ貯フ 五〇、〇
- 塗布料

但シ炎症初期結膜腫脹シ分泌物ノ稀薄少量ナル間ハ前ノ攝生法ノミヲ宜トス

結膜ノ灰色浸潤ヲ認メ或ハ格魯布性被膜ノ存スル者ニハ此塗布ヲ避ケ左ノ硝

酸銀劑ヲ用ユベシ  
 結晶硝酸銀 二、〇  
 硝酸カリウム 四、〇  
 右桿ニ作ル燒灼料  
 ソゾヨドール 二、〇  
 留水 三〇、〇  
 右燒灼料  
 疼痛及ビ甚シキ蓋明ヲ來タセルトキハ  
 水銀軟膏 一〇、〇  
 黃岩越 二、〇  
 右調和豌豆大ノ者ヲ額及ビ顫顫  
 部ニ毎日數回塗擦ス  
 角膜ニ合併症ヲ來セシトキニハ次方  
 二%鹽酸コカイン水 各二、五  
 一%硫酸アトロピン水 各二、五  
 右點眼料  
 硫酸アトロピン 〇、〇五  
 留水 一〇、〇

右調和點眼料  
 過マンガン酸カリウム 一〇、一  
 留水 二〇〇、〇  
 右調和消毒洗滌料  
 硼酸 三、〇  
 サリチール酸 一、〇  
 留水 一〇〇、〇  
 右調和消毒洗滌料  
 硫酸苦土 三〇、〇  
 苦味丁 二、〇  
 留水 二〇〇、〇  
 右一日六回二日分服  
 アンチピリン 二、〇  
 鹽酸ヘロイン 〇、〇二  
 乳糖 二、〇  
 右分六包二日分服

### 加答兒性結膜炎

Conjunctivitis catarrhalis.

#### 原因

急性性症ハ多クハ傳染性ニシテ細菌ニヨリテ來ル即チコツホ、ウ井  
 一クス氏菌フレンケル氏肺炎菌モラツキス、アクセンフェルド氏重桿  
 菌、連鎖狀菌インフルエンザ菌等ニシテ春秋二期ニ流行性ヲナスコト  
 多シ其他感冒、異物竄入、摩擦、外傷、鼻加答兒及顔面炎症ノ波及、  
 麻疹、猩紅熱○慢性性ハ急性性ヨリ轉ジ或ハ塵埃等ヲ混ジタル不良ノ  
 空氣、眼瞼緣炎、睫毛亂生症、屈折異常、淚管閉塞ニ因ス其他老人ハ慢  
 性性ヲ患フルコト多シ

#### 診候

急性性ニ在テハ眼瞼赤腫熱痛ヲ呈シ瞼緣糜爛シ眼瞼結膜充血腫脹  
 ス、重症ナルトキハ眼球結膜充血、浮腫、結膜下溢血ヲ發スルコトア  
 リ而シテ眼脂溢出現起ノ際上下ノ睫毛ヲ膠着ス自覺症ハ灼熱、疼痛異  
 物感、眼瞼重感、羞明等又屢々角膜ニ表層性ノ炎症、潰瘍等ヲ發スルコ  
 トアリ○慢性性ニ在テハ急性ノ如ク諸症著シカラズ結膜弛緩暗赤色、  
 分泌モ亦タ少量

#### 豫後

良  
 療法 宜ク分泌物ノ細菌検査ヲ行ヒテ原因ヲ攻治シ其他煤烟、塵埃、風、

光線等凡テ眼ノ刺戟物ヲ避ケ且ツ可及的眼ノ使用ヲ禁ズ可シ○急性症ニハ三百倍皓礬水ノ點眼及溫卷法若クハ冷卷法(患者ノ好ムトコロニ從フ)ヲ用井或ハ毎日一回硝酸銀溶液ヲ塗布シテ効有リ其他痛苦ヲ與ヘ淡白ノ食餌ヲ用井シム○慢性症ニハ硝酸銀療法若シ持續スルモ効ナキトキハ硫酸銅塗擦或ハ皓礬ノ點眼ヲ用ユ

- 硼酸 六、〇
- 杏仁水 六、〇
- 右洗滌料 三〇〇、〇
- ブロー氏液 一〇〇、〇
- 右洗眼料 二〇〇、〇
- 醋酸鉛 一、五
- 右洗滌料 三〇〇、〇
- 右洗眼料 五、〇
- 一%鹽酸コカイン水 五、〇
- 右點眼料 五、〇
- 硫酸亞鉛 〇、一
- 茴香水 各一五、〇
- 右點眼料 各一五、〇
- 六千倍昇汞水 五、〇
- 右點眼料 〇、〇五
- 茴香水 各五、〇
- 右一回或ハ二回毎日點眼 各五、〇
- 結晶硝酸銀 〇、二五乃至〇、三
- 右點眼料 五〇、〇

- 右黑色瓶ニ貯ヘ毛筆ニテ結膜ニ塗布
- 黃色收斂點眼水 各五〇、〇
- 右點眼每朝夕一回一乃至二滴
- 硫酸亞鉛 〇、一
- 右調和點眼料 五〇、〇
- 慢性ノモノニハ 〇、五%硫酸亞鉛水 五、〇
- 右點眼料
- 昇汞 〇、〇二
- 阿片サフラン丁 一〇〇、〇
- 右點眼料(即チ「コンラード」水) 五滴
- 〇、五%鉛糖グリセリン軟膏 五、〇
- 右點眼料トシテ朝夕一回ツ、用ユ
- 硫酸亞鉛 〇、一
- タンニン酸 〇、一五
- 右點眼料 三〇、〇
- 綿葵煎 二〇〇、〇
- 鉛糖 〇、五
- 阿片サフラン丁 十滴
- 右調和點眼料
- タンニン酸 〇、一
- 右調和點眼料 二〇、〇
- 硼砂 〇、二
- 右調和點眼料 五〇、〇

右調和點眼料

水製麥角越 二、〇  
餾水 四〇、〇

右調和點眼料

夜間ニ於ケル睫毛膠着ノ豫防ニハ

硼酸 〇、三  
ワゼリン 一〇、〇

右朝夕眼瞼縁ニ塗布

白降汞

荳若越

單軟膏

各一、〇  
一〇、〇

右豆大ヲ毎二乃至三時前額及ヒ

顳額部ニ塗擦ス(アルト氏軟膏

羞明及ヒ劇痛ニ効アリ)

分泌物ヲ減ズルニハ

チオフォルム

五、〇  
右朝夕一回毛筆撒布料  
角膜合併症ヲ發シタルトキハ收斂劑ヲ

止メ盛ニ温罨法ヲ行ヒ「アトロピン」或

ハ「エゼリン」ヲ處スベシ○角膜潰瘍

ニハ「ヨードフォルム」ヲ用キ眼瞼ノ乾

燥及ビ重感アル者ニハ左方ヲ處スベシ

白降汞 〇、二乃至〇、二五

ワゼリン 八、〇

右調和豌豆大ノ者ヲ取り眼瞼縁

ニ塗擦スベシ

硫酸亞鉛

鹽酸コカイン

ワゼリン

餾水

各七、五

右眼瞼塗布料

無臭ヨードフォルム

右撒布料

五、〇  
又阿片加サフラン丁幾ノ點眼モ亦効ア

リ輕度ノ加答兒ニシテ分泌著シカラザ

ル者ニハ酒精劑即チ佛蘭西プランド

一、ケルン水、或ハ左ノ洗眼劑ヲ用ユ

慢性ノモノニハ

〇、五%硫酸銅グリセリン軟膏 五、〇

右擦入料

三―五千倍昇汞ワゼリン、

ラノリン軟膏

各三、〇  
右一日二三回豌豆大ヲ取り結膜

嚢内ニ塗入

神効石(即銅礬)

餾水

阿片サフラン丁

密佗僧醋

右點眼料(即チベール氏水)

佛蘭西酒精

餾水

薔薇水

又結晶明礬ヲ用ユルコトアリ

格魯布性結膜炎

Conjunctivitis crouposa.

コンジュクチウキチス、ケルボーサ

原因

診候

概チ小兒ヲ侵スモノニシテ時トシテ流行性ヲナスコトアリ

濃漏性結膜炎ニ似テ輕ク結膜ノ全面ニ灰白色或ハ帶黃白色ノ義膜

ヲ生ジ之レヲ拭ヘバ出血ナクシテ容易ニ除クコトヲ得ベシ然レドモ再

豫後

頻々結膜ヲ洗淨シ「コカイン」水ヲ點眼シ硼酸水、鉛水、若クハ昇

格魯布性結膜炎

汞水冷罨法ヲ施スベシ膜ノ脫離後ニ化膿アルトキハ硝酸銀ヲ用ユベシ  
一%鹽酸コカイン水 五、〇一 右點眼料

### 實布の里性結膜炎

Conjunctivitis diptheritica.  
コンジュンクチュウキチス、デフテリチカ

#### 原因

春秋二季ニ流行ス是亦乳兒ニ多シ實布の里亞菌ノ感染ナリ

#### 診候

浸潤期、俄然上眼瞼ハ潮紅腫起下垂シ結膜蒼白膨脹緊滿厚キ義膜ヲ被リ稀薄漿液性ノ液ヲ多量ニ漏出ス經過五日乃至十日發熱ヲ伴フ○濃漏期、多量ノ濃漏、義膜剝脫、結膜組織缺損、肉芽發生ノ症ヲ呈ス○癢痕期、肉芽面收縮シ癢痕ヲ生ズ○角膜膿瘍或ハ潰瘍ヲ合併スル虞アリ豫後 輕症ノ他ハ視力上ノ豫後不良ナリ蓋シ角膜ノ害ヲ蒙ルコト多ケレバナリ

#### 療法

濃漏性結膜炎ノ條下ニ示スガ如キ嚴重ノ繃帶ヲ用井テ健眼ヲ保護シ患者ヲ隔離シペーリング氏血清療法ヲ行ヒ防腐液ヲ以テ洗眼シ浸潤期ノ初メニハ冷罨法或ハ氷罨法ヲ施シ浸潤期ヨリ濃漏期ニ近ヅクニ從ヒ温罨法ニ轉ジ濃漏期以後ハ濃漏性結膜炎ト同法ヲ用井角膜炎ノ發否ニ注意シ「アトロピン」ヲ用井而シテ癢痕期ニ至ラバ屢々眼瞼ヲ離開シ以テ險球癒着ヲ防グベシ硝酸銀塗布ノ如キ過激ノ療法ハ却テ害アリ

硼酸

六、〇

右點眼料

一、〇

韶水

三〇〇、〇

過マンガン酸銀

二〇、〇

右冷罨法料

韶水

二〇、〇

一%鹽酸コカイン水

五、〇

右調和一日二三回點眼

五、〇

右點眼料

三%カリセリン溶液

五、〇

二%鹽酸コカイン水

五、〇

右一日數回點眼

五、〇

### 濾胞性結膜炎

Conjunctivitis follicularis.  
コンジュンクチュウキチス、ホルリクラーリス

#### 原因

主トシテ學齡兒童ノ腺病、校舎、兵營、監獄等又アトロピン使用ニ來ルコトアリ

#### 診候

眼瞼結膜就中下眼瞼結膜穹窿部ノ外側ニ於ケル濾胞ノ腫起ヲ兼ヌル加答兒性炎症ナリ炎症旺盛ナルトキハ濾胞全下眼瞼結膜及上眼瞼結膜ニ生ス又々角膜ニ合併症ヲ來スコトナシ

#### 豫後

良、トラホームノ如ク後日癢痕ヲ留ムルナシ

#### 療法

左方ヲ處シテ効アリ  
一%鹽酸コカイン水 五、〇 硼酸 六、〇  
右點眼料 右點眼料 二、〇

格魯布性結膜炎 濾胞性結膜炎



右洗滌料	三〇〇、〇	右調和點眼料	アトロピン結膜炎ニハ左方ヲ處ス
醋酸鉛	〇、一	鉛糖	〇、二五
ワセリン	五、〇	溜水	一〇〇、〇
右混和點眼料		右洗眼料	
分泌強盛ナルトキニハ左方		アトロピンノ代用品ニハ	
硝酸銀	〇、一	ヒヨスチン(〇、〇五ト一〇、〇〇ノ比例)	
溜水	二〇、〇	チ用ユベシ	

**顆粒性結膜炎** Conj. granulosa

コンユンクチツキチス、  
グラヌローザ

一名 Trachom. トラホーム

**原因** 傳染性ニシテ同性結膜炎ノ分泌物ヨリス、兵營、學舎、監獄等ニ多シ病原未タ一定セサレモ近年プロワチエツク氏ハ急性トラホーム結膜炎ノ上皮中ニ微小ノ體(キムザ液ニ染色)ヲ發見シトラホーム病原體ナリト報告セリ

**診候** 急性顆粒性結膜炎ニアリテハ眼瞼結膜著シク潮紅腫脹シ〇上眼瞼ヲ反轉スレハ潮紅贅殖セル乳頭間ニ帶黃灰白色ノ顆粒ヲ認ム下眼瞼ヲ

反轉スレバ其穹窿部ニ於テ顆粒連球ノ觀ヲ呈ス其ノ顆粒ノ發生セザル間ハ全ク單純ノ急性加答兒性結膜炎トノ區別困難ナリ流淚及粘樣膿漏アリ眼球結膜モ潮紅浮腫ヲ呈ス其他灼熱羞明異物ノ感ヲ發ス

慢性顆粒性結膜炎(第一期)上眼瞼結膜ニ灰白色ノ顆粒ヲ散發シ上眼瞼軟骨ノ上縁ニ於テ著シク隆起ス下眼瞼結膜ニ於テハ顆粒少ナシ而シテ視力障害漸次發生(第二期)乳頭增大シ顆粒ハ消散或ハ潰瘍ニ變シ肉芽ヲ生シ膿漏刺戟症共ニ最モ盛ナリ(第二期)肉芽面癩痕ヲ形成シ分泌刺戟症狀共ニ減退ス〇角膜ニ「バンヌス、潰瘍、角膜膨脹症ヲ合併スルコトアリ〇乳頭性トラホームト稱スルモノハ眼瞼結膜面ニ乳頭贅殖シ天鵞絨ノ如ク或ハ覆盆子ノ如キモノアリ

**豫後** 療法其宜シキヲ得レバ豫後良但シ角膜侵襲ヲ被ムルトキハ視力障害ノ虞アリ且又慢性ニシテ顆粒多發スルモノハ不良ナリ

**療法** 先ヅ他人ニ病毒ヲ傳染セザル様注意セシメ特ニ其手拭、手盥等ノ他人ノ使用スル事ヲ禁ジ保護眼鏡ヲ用井テ、塵埃、風煙、強光線ヲ避ケ時々硼酸水ヲ以テ分泌物ヲ洗ヒテ清潔ヲ勉メ居室ノ換氣ニ注意スベシ

○校舎、兵營等ノ流行時ニハ患者ヲ隔離シ居室ヲ消毒スベシ

急性症ニ在テハ其室ヲ暗クシ「アトロピ」ヲ點眼シ時々冷器法若クハ温器法ヲ施ス結膜充血甚ダシク劇痛アルトキハ結膜ノ亂切ヲ行フ若シ膿漏甚ダシケレバ硝酸銀棒ノ輕擦ヲ併セ用ウヘシ既ニシテ炎症稍ヤ退クトキハ硝酸銀水ノ點眼ヲ用井更ニ輕快シタルトキハ硫酸亞鉛、醋酸鉛水ノ點眼ニ轉ズベシ慢性症ニ在テハ藥劑療法ト手術療法トヲ用井藥劑療法ニハ結晶硫酸銅ノ輕擦或ハ硫酸銅水、一%乃至二%硝酸銀水、二%乃至五%醋酸鉛水ヲ用井「パンヌス」ノ暴起刺戟旺盛ナレハ「アトロピ」ヲ點眼コカイン水及硝酸銀水ノ點眼劑ヲ與フ但シ硫酸銅及醋酸鉛ハ潰瘍アル片ハ用ウベカラズ之ニ反シ輕症「パンヌス」アル時黃降汞又チオニン軟膏ノ點入後眼瞼按摩法ヲ行フ○手術療法ハ「一」顆粒壓碎法少數ナル片ハ「ピンセット」毛拔、清潔ナル爪ヲ以テ顆粒ヲ壓碎ス（若シ顆粒ノ不判明ナル片ハ能ク研磨セル結晶食鹽末ヲ結膜面中ニ塗擦スルトキハ著ク明瞭ニ顆粒ヲ顯出ス）若シ多數ナル時ハ「クナツプ氏」ロールツァンゲ」ヲ用ユ（二）亂切法（亂切後五百倍昇汞水ヲ強硬ナル刷子ニ浸シ結膜ヲ摩擦ス）（三）カイング氏摩擦法（綿花小片ヲ昇汞水ニ浸シ結膜就中其穹窿部ヲ摩擦ス）其他（四）結膜穹窿部切除法（五）軟骨

切除法（六）電氣的破壊法アリ

慢性「トラホーム」ノ處方左ノ如シ

硼酸 六、〇  
 餾水 三〇〇、〇

右洗滌料

五千倍—三千倍昇汞ソゼリンヲノ  
 リン軟膏 三、〇

右點眼料

八千倍昇汞水 三〇〇、〇  
 右洗滌料

〇、五—一、〇%硫酸銅ソゼリン、

ヲノリン軟膏 三、〇

右點眼料

硫酸銅桿ハ能ク研磨シテ滑澤ナランコトヲ要スベシ若シ分泌多キトキハ之レニ代フルニ硝酸銀溶液ヲ以テス可シ唯分泌ノ多量ナラザルトキノミ硫酸銅ヲ用キルヲ宜トス硫酸銅及ビ硝酸銀ト交互相變換シ而シテ後更ニ左方ヲ處スル

コトアリ

鉛糖 一、〇  
 餾水 五〇〇、〇

右調和洗滌料

阿片サフラン丁

餾水 各五、〇

右調和結膜囊點眼每一滴

又甘汞撒布ヲ行フコトアリ若シ毎日醫師ノ診斷治療ヲ受ルコト能ハザル者ニハ患者ヲシテ自ラ硫酸銅ヲ用キテ下眼瞼ヲ觸接セシム若シ患者自ラ之ヲ能クセザルトキハ左ノ點眼水或ハ軟膏ヲ與フ

硫酸亞鉛 〇、一

茴香水

餾水 各一五、〇

右點眼料  
 ○、五%硫酸亞鉛水 五、〇  
 右點眼料  
 硫基石炭酸亞鉛 〇、〇五  
 餾水 五、〇  
 右點眼料  
 ○、五%硫酸銅グリセリン軟膏 五、〇  
 右點眼料  
 硫酸銅 〇、一  
 グリセリン 一〇、〇  
 右調和點眼料  
 鉛糖 〇、一  
 無水グリセリン 二〇、〇  
 右點眼料（消毒シタル象牙性小  
 桿ヲ用ユ）

疼痛甚シキモノニハ左方ヲ兼用セシム  
 一%鹽酸コカイン水 五、〇  
 右點眼料  
 二%鹽酸コカイン水 五、〇  
 右點眼料  
 陳舊性「パンヌス」ニハ左方ヲ處シ人工  
 的ニ炎症ヲ起サシムベシ  
 ゴオニン 〇、〇六一〇、一五  
 コカイン 〇、〇三  
 ワゼリンヲノリン 各一、五  
 右一日二三回點入塗擦  
 ギエキリトール 一〇、〇  
 右塗布料  
 二%黃降汞軟膏 三、〇  
 右點入塗擦料

### 水疱性結膜炎

(腺病性結膜炎)

Conjunctivitis phlyctänulosa.

コンジュンクティブチス、フリグテヌローザ

**原因** 腺病外來ノ刺戟殊ニ小兒ニ多シ

**診候** 限局シテ小水泡疹ヲ發スル眼球結膜炎ナリ該水泡疹ハ通常角膜ノ  
 近傍ニ在リテ血管ノ集合ニ依リテ形成セテレタル三角形ノ頂點ヲナス  
 其種類ニアリ○孤立性ノモノハ其數一個或ハ二三個羞明、流淚ヲ呈ス  
 ルニ過ギズ一二日ニシテ潰瘍ニ變ジ遂ニ上皮ヲ生ジテ治ス○多發性ノ  
 モノハ專ラ角膜縁ノ傍ニ生ジ形甚ダ小ニシテ砂粒ノ如シ結膜充血又角  
 膜周擁充血著シク刺戟症モ亦タ劇甚ニシテ羞明、流淚、眼瞼痙攣著明ナ  
 リ然レトモ水泡吸收消散スルヲ常トス○惡性膿疱疹ハ角膜及結膜ノ境  
 界上ニ發シ大ニシテ多クハ潰瘍ヲ形成シ角膜穿孔、虹彩脫出ヲ來スコ  
 トアリテ治療ヲ妨グ刺戟症重劇ナリ又タ瀾濁及血管ヲ伴ヒ角膜中心ニ  
 向ヒ進行シ乃チ芒把形ヲナスモノアリ所謂芒把狀角膜炎ヲ發スルモノ  
 ニシテ豫後稍ヤ不良ナリ

**豫後** 腺病ニ因スルモノハ屢々再發ノ虞アリ孤立性ノモノハ良ナリ而シ  
 テ惡性膿疱疹ハ潰瘍ヲ形成シ角膜穿孔次デ虹彩脫出ヲ生ズルコトアル  
 ナリテ不良ナリ

**療法** 原因ヲ除キ局所ニハ昇汞ワゼリン(〇、〇〇三ト一〇、〇ノ比)或ハ

黄降汞ワゼリン」チ一日一回塗布シ炎症消退スルモ尙ホ數週之ヲ持長  
 スベシ微温湯或ハ硼酸水ヲ用井テ眼ヲ洗淨シ眼瞼濕疹ノ痂皮ハ脂肪ヲ  
 塗布ノ軟化シタル後之ヲ除去ス但シ繃帶ハ施スニ及バズ○羞明甚シキ  
 トキハ新鮮ナル水中ニ顔面ヲ浸スカ或ハ「コカイン水ニ「アトロピン」  
 ヲ兼用スベシ飲食攝生ハ殊ニ注意シテ肉、鶏卵、牛乳、麥酒、少量ノ澱粉  
 質ヲ常食ニ供シ高燥ノ地ニ住セシメ運動ヲ適宜ニシ内服ニハ「ハウレ  
 ル水」鐵劑、キニーチ、沃鐵舍利別、ヨードカリ、肝油等ヲ用井局處療  
 法ハ甘汞ノ撒布ヲ宜シトス然レトモ黄降汞ニ「ヨード劑ヲ兼用スルコ  
 トハ注意ヲ要ス

- 硼酸 六、〇
- 餾水 三〇〇、〇
- 右洗滌料 適宜
- 甘汞 右毛筆又ハ撒布器ヲ以テ撒布ス 各二、〇
- ヨードフォルム
- 乳糖 右研和撒布料

甘汞撒布ニ代フルニパーゲンステツヘ  
 ル氏ノ軟膏ヲ用キルコトアリ刺戟症ノ  
 稍ヤ退キタルトキニ宜シ  
 黄降汞 〇、一  
 ワゼリン 一〇、〇  
 右精細ニ調和シテ軟膏ニ作り結  
 膜下穹窿部ニ點入シ眼瞼上ヨリ  
 按摩スベシ

- 甘汞 〇、二
- ワゼリン 三、〇
- ワゼリン 二、〇
- 右調和用法前者ニ同シ
- 鹽酸コカイン 〇、〇五
- 餾水 五、〇
- 右溶和點眼料
- 白降汞 一、〇
- 萇若越 一、五
- ワゼリン 一〇、〇
- 右豆大ノ者ヲ前額及ビ顳額部ニ  
 塗擦ス
- 炎症旺盛分泌多量ノモノニハ  
 結晶硝酸銀 〇、五
- 餾水 五〇、〇
- 右點眼料
- 毛様神經ノ刺戟甚シキ者ニハ「アトロ  
 ピン」軟膏ヲ作り用キテ最モ効驗アリ

- 硫酸アトロピン 〇、一
- ワゼリン 一〇、〇
- 右調和軟膏ニ作り硝子棒ヲ用キ  
 テ豌豆大許ヲ結膜囊ニ送入ス
- 大水疱ノ潰瘍ニハ硝酸銀棒、悪性膿疱  
 疹ニハ「エゼリン」點眼及温罨法ヲ宜シ  
 トス
- 含糖炭酸鐵 二、〇
- 硫規 一、〇
- 白糖 一〇、〇
- 右研和散ト爲シ朝夕一刀尖
- ヨードカリウム 二、〇
- 餾水 五〇、〇
- 覆盆子舎 一〇、〇
- 右調和朝夕一食匙
- 沃鐵舍利別 一五、〇
- 單舎 二〇、〇
- 餾水 一八〇、〇

水疱性結膜炎

右一日三回二日分服

肝油

六、〇

右一日三回二日分服

### 攣縮及關節強直

Contractur, Ankylose.  
コントラクトール、アンキローゼ

**原因** 胎生性關節發育障害（内翻足、内翻馬足、外翻足、外翻鉤足）持久性  
或ハ強力性壓迫脊椎側彎症、外翻膝、外翻足（即扁平足）、神經中樞ノ  
疾患及損傷（麻痺性及痙攣性攣縮）、軟部ノ火傷、創傷及炎症（癥痕性  
攣縮）等、○關節及其周圍軟部ノ炎症及損傷（結締織性關節強直、軟骨  
性關節強直、骨性關節強直）ヒステリー關節炎（假性關節強直）

**診候** 關節強直ニ在リテハ關節ノ運動全然廢絶ス（眞性關節強直）但シ全  
身麻醉中ニハ運動ヲ營ムモノアリ（假性關節強直）○攣縮ニ在リテハ  
關節ノ位置變常、運動ノ制限ヲ呈ス

**療法** 按摩法、治療的體操他働、固定繃帶、矯正裝置、電氣療法、截骨術、  
截腱術、截筋術、或除術等ヲ用ユベシ

### 打撲

Contusion. コンジション

**原因** 鈍器ヲ以テ毆打セラレ或ハ鈍體ニ衝突シ或ハ轉墜シテ鈍體ニ觸ル

、等

**診候** 皮下溢血及疼痛ヲ以テ主徴トス皮下溢血ハ始メ紫色或ハ暗青色ノ  
斑ヲ皮膚ニ呈ス該斑ハ後チ黃色或ハ黃綠色ニ變シ終ニ消失ス其他常ニ  
腫脹ヲ呈ス

**療法** 皮下出血ヲ制止スルコト、疼痛ヲ鎮靜スルコト及溢血ノ吸收ヲ促  
進スルコトヲ以テ療法ノ主眼トス○患部ヲ安靜ニシ氷罨法或ハ鉛水罨  
法ヲ行ヒ壓迫繃帶ヲ施シ四肢ニ於テハ其末端ヲ高クスベシ○吸收ヲ催  
進スルニハ按摩法ヲ用ユベシ

### 痙攣

Convulsion. コンウルジチン

小兒急癇及妊娠產婦急癇ノ條下ヲ見ルベシ

### 股關節炎

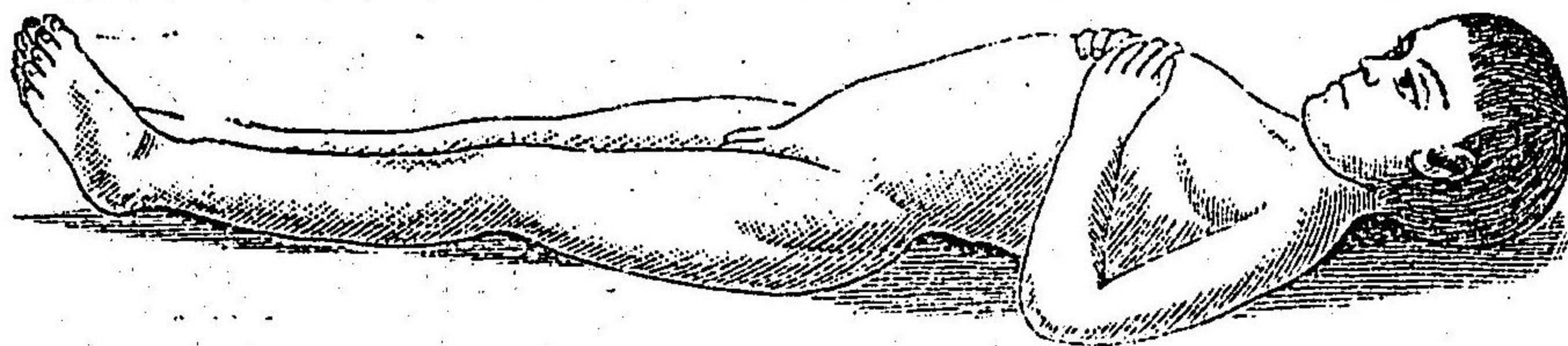
Coxitis. コキシイチス

**原因** 慢性股關節炎ハ結核（慢性結核性股關節炎ハ專ラ五乃至十才ノ小  
兒ニ發ス）及畸形關節炎（老年期ニ發ス）○急性症ハ關節創、急性傳染  
病（急性化膿性股關節炎）

**診候** 結核性股關節炎ハ其經過ヲ三期ニ區別ス其第一期ニ在リテハ跛

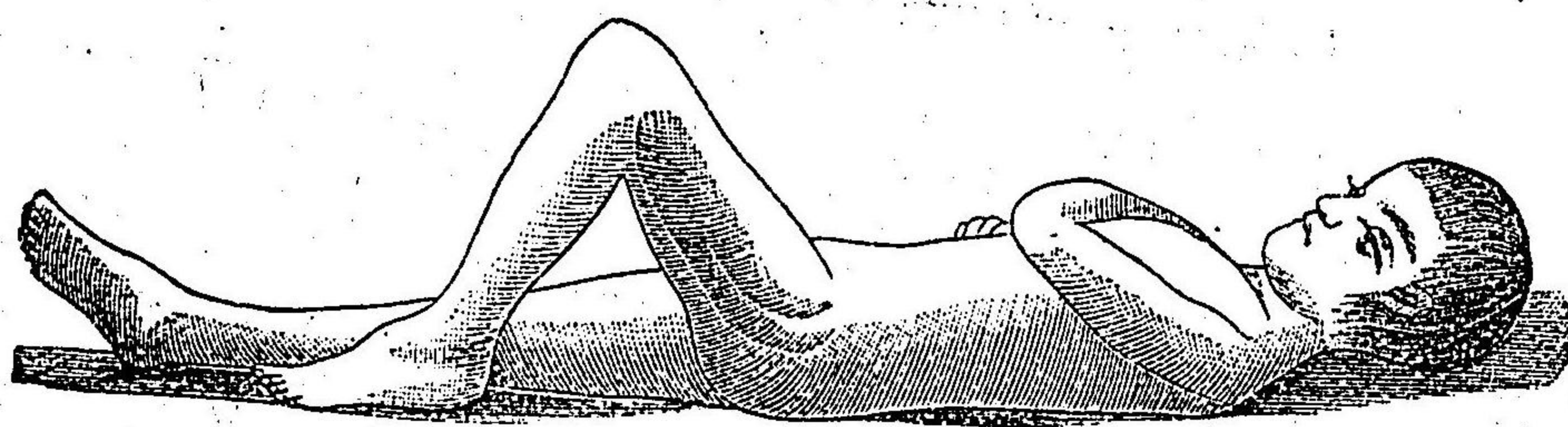
打撲 痙攣 股關節炎

第十 八 圖



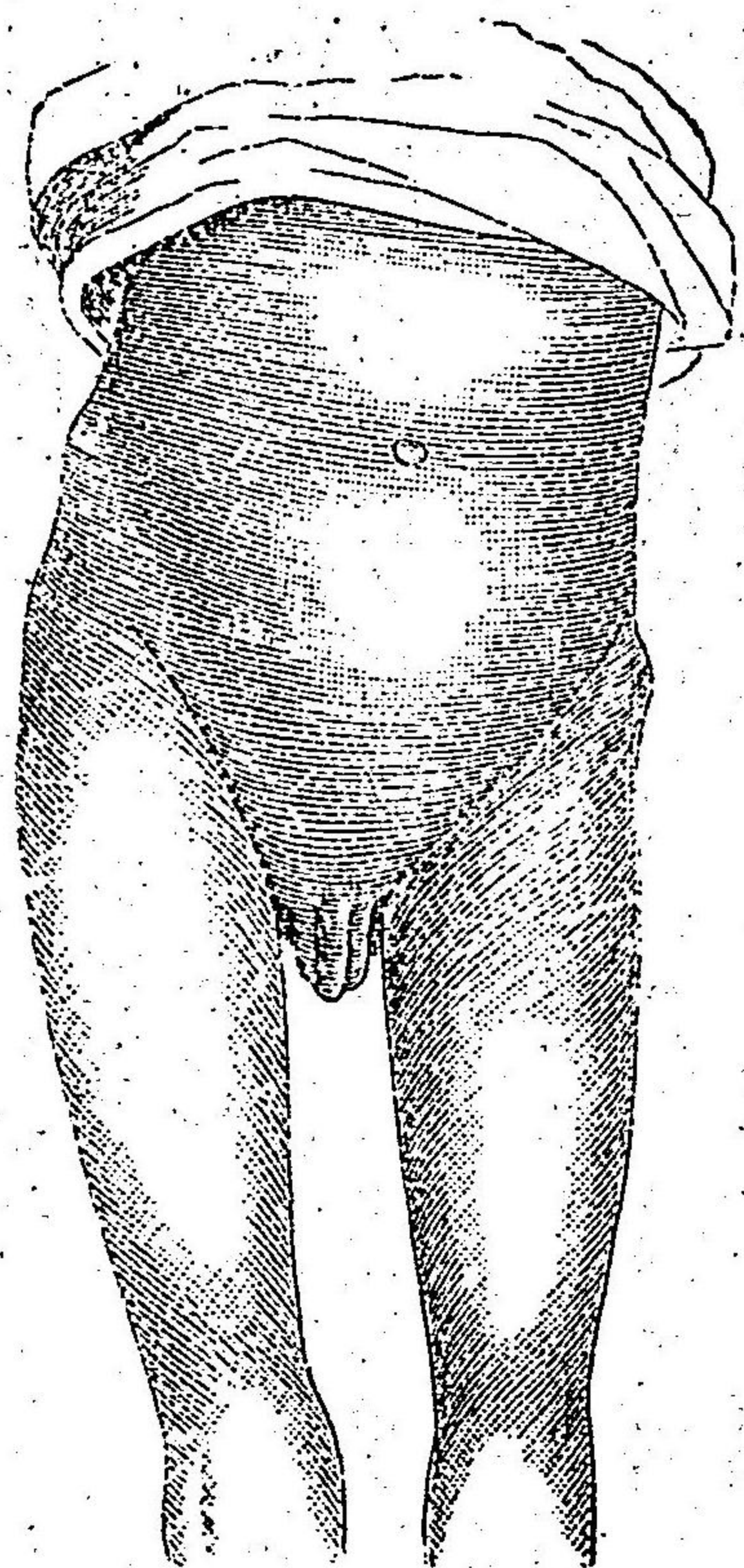
腰 椎 ヲ 前 方  
 ニ 彎 曲 シ 骨  
 盤 ノ 傾 斜 シ  
 テ 患 肢 ノ 固  
 有 ナ ル 位 置  
 ナ 不 明 ナ ラ  
 シ メ タ ル 圖  
 ナ リ

第十 九 圖



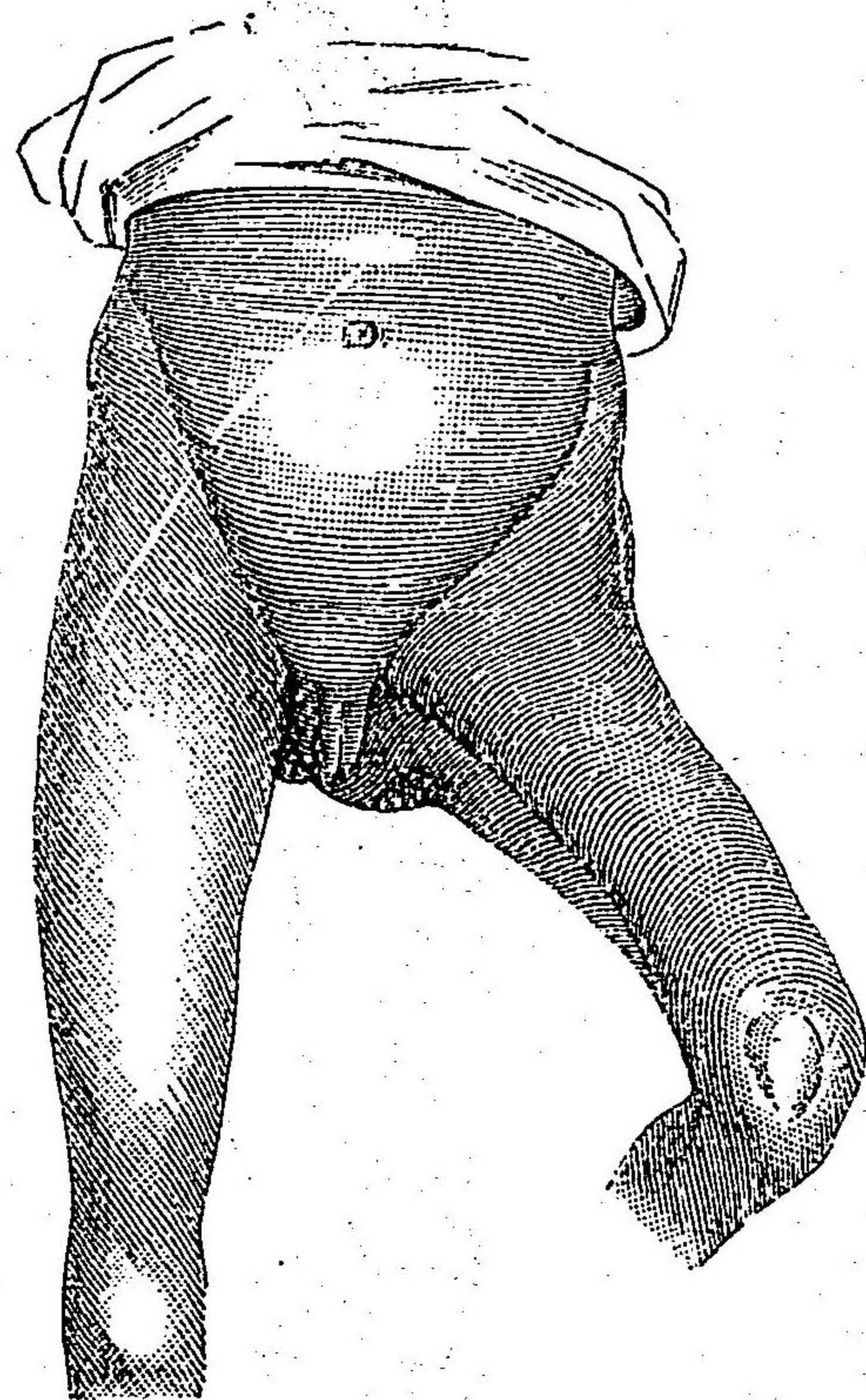
腰 椎 ノ 前  
 彎 骨 盤 ノ  
 傾 斜 ヲ 禁  
 シ 以 テ 固  
 有 ノ 位 置  
 ナ 明 カ ナ  
 ラ シ メ タ  
 ル 圖

圖 一 十 二 第



骨盤ノ左  
半部ヲ甚  
タシク下  
垂シテ患  
肢ヲ健肢  
ニ併行セ  
シメタル  
圖

圖 十 二 第



骨盤ノ  
下垂ヲ  
禁シ患  
肢固有  
ノ位置  
ヲ露見  
セシメ  
タル圖

歩、反射的膝痛、大轉子部ノ壓痛、股關節部ノ知覺過敏、患肢大腿ノ屈曲外轉外旋及假性延長第二期ニハ患部増大シテ表面浮腫柔軟、深部硬結、疼痛増加、患肢屈曲増加、内轉内旋、假性短縮第二期ニハ瘻孔發生、大腿骨頭消耗、骨端脫臼、眞性短縮ヲナシ大轉子ハ腸骨前上棘ノ尖端ト坐骨結節トノ間ニ畫ケル線即所謂ローゼル、チラトン氏線ヨリ上方ニ存在スルニ至ル其他全身貧血、衰弱等アリ○轉歸ハ全治或ハ死亡(内臟結核、若クハ全身粟粒結核ヲ續發シテ)

豫後 概テ不良ニシテ二八、三分二%ノ死亡數ヲ算ス尙ホ死亡ヲ免レタルモノモ脚ノ短縮運動ノ制限ヲ殘ス但シ速カニ適當ノ療法ヲ施スモノハ良

療法 消炎法及ビ滋養攝生ヲ專ラトシ固定繃帶ヲ用井テ關節ノ不動法ヲ施シ又持續重垂牽引法ヲ行フ小兒ニハ年齡ニ從テ二乃至五基瓦大人ニハ五乃至六基瓦ヲ用ユベシ然レトモ既ニシテ大腿骨頭脫臼シテ腸骨後面ニ至レル者ニハ麻醉藥ヲ用井テ整復術ヲ施シ且ツ固定法ヲ行フベシ其他内服ニハ肝油、沃鐵舎等効有リ

プルンス氏クラウゼ氏ニ從ヒ麻醉ヲ施シ大腿ヲ屈曲外轉シ大轉子ノ上

部ヨリ注射器ヲ股關節ノ内外ニ刺入シ殺菌セル一〇%ヨードフォルム油或ハ「ヨードフォルム、グリセリン」ヲ四乃至五瓦注入シ後輕ク關節ヲ動シ股關節ヲ摩擦ス此法ハ二乃至四週毎ニ反復ス可キモノニ甚タ有効ナリ○諸法無効ニシテ病性進ムトキハ關節ヲ切開シ銳匙ノ搔爬ヲ行フ若シ高熱、醗膿多量、關節荒蕪甚シキ症ニハ關節切除術

ヨード 〇、〇三乃至〇、〇五  
沃割 一、〇  
單舎 二〇、〇  
餽水 八〇、〇  
右毎日三回一小兒匙  
含糖ヨード鐵 一、〇

白糖 〇、四  
右分十包毎日一回二包宛  
化膿性股關節炎ハ切開シ排膿チカムヘシ又々關節切除術ヲ要スルコトアリ

### 格魯布性肺炎

Croupöse Pneumonie. クルツペーゼ、フノイモニー

或 纖維素性肺炎

Fibrinöse Pneumonie. フイブリチーゼ、フノイモニー

### 原因

フレンケル氏ノ發見ニ係ル肺炎重球菌(Diplococcus pneumoniae)ト名クル黴菌ニ因スル傳染病ナリ感冒及ヒ外傷ハ本症ノ誘因ヲナス酒客ハ本病ニ罹リ易シ(酒客肺炎)○十二月ヨリ五月ニ涉リテ多シ(ベルツ氏)

格魯布性肺炎

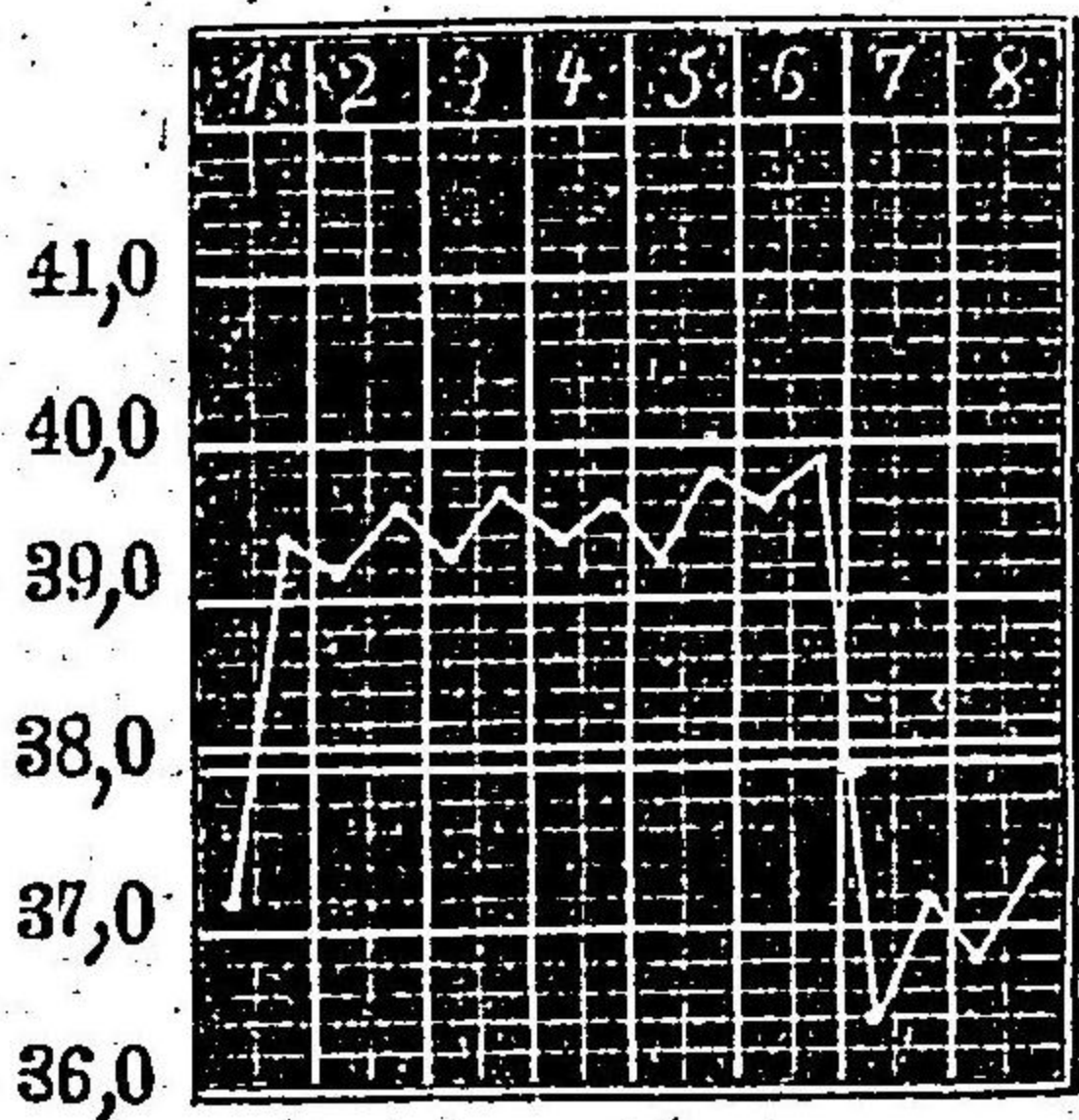


診候 俄然寒戰(三十分乃至一時間)ヲ以テ初マリ胸部刺痛ヲ發シ強劇ナル乾咳ヲ發シ暫時ノ後直チニ粘稠ノ鏽色痰ヲ喀出ス顔面潮紅、身體倦

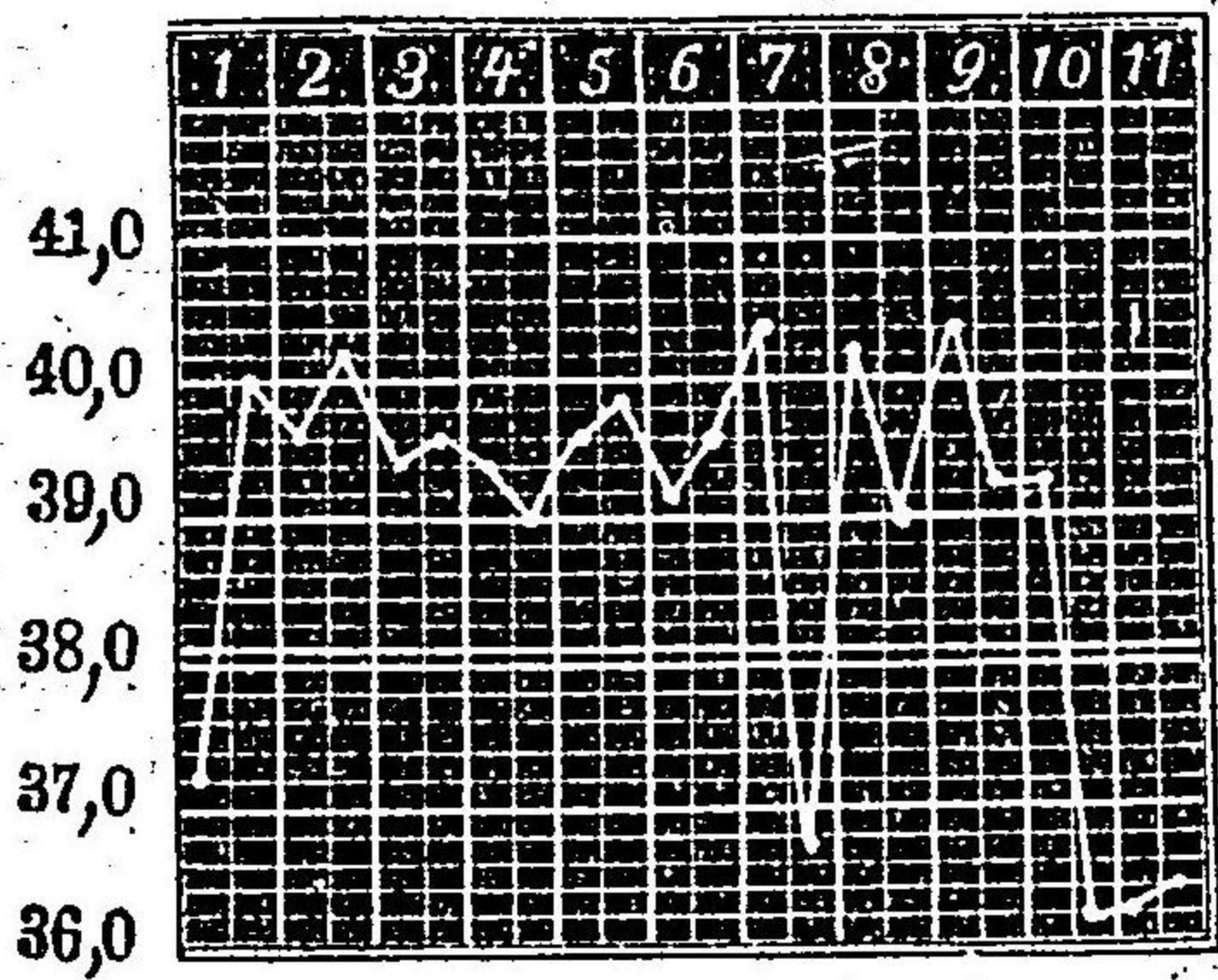
第七日ニ於テ分利シタ  
ル格魯布性肺炎

第七日ニ於テ假性分利ヲ呈  
シタル格魯布性肺炎

圖二十二第



圖三十二第



忘テ覺エ脈疾數、頭痛ヲ訴フ體温忽チ上昇シテ三十九度乃至四十一度ニ達ス而シテ熱ハ平均七日間(三日乃至十一日間)稽留シテ分利ニ由テ下降シ三十六度或ハ三十五度ニ至リ脈搏四十乃至五十二減ズ又々眞性分利ノ前ニ假性分利ヲナスコトアリ或ハ三乃至五日間散換性下降ヲナスモノアリ○屢々發病後第一日或ハ第二日ニ口唇匍行疹ヲ發ス

理學的症候、第一期(充血期)ニ於テハ打診上鼓性濁音、聽診上捻髮音及ヒ氣管支音ヲ認メ○第二期(疾肝期第一日或ハ第二日)ニ於テハ打診上著明ナル濁音、聽診上囉音ヲ聽キ聲音震顫ヲ檢スルニ著シク増加セルヲ認ム第三期(吸收期)ニ於テハ諸症第一期ニ同シ但シ中心肺炎ニハ局處症候ノ不明ナルコトアリ

豫後 概テ良○脈搏呼吸ノ性質、及ヒ其他、體温上昇如何ニ依テ其豫後ヲトス可シ即チ脈搏百二十以上持續スルトキ、強劇ノ呼吸困難、高熱及合併症ハ豫後ヲ不良ナラシム○酒客老人、虛弱家、心臟病患者、肺氣腫、腎臟病アレバ不良

療法 安臥靜息ヲ專ラトシ室内ノ温度ハ之ヲ同等ニ保持シ絶エス水蒸氣ヲ蒸散セシメ飲食等ノ攝生ヲ嚴守セシム可シ○高熱ニハ頭部及胸部ニ

氷卷法ヲ施シ内服ニハ「ヂキタリス、キニーチ、アンチピリン、サリチ  
 ール酸等ヲ與ヘ又止渴飲料ヲ投ジ下劑モ亦之ヲ要スルコト無キニ非ズ  
 ○呼吸促進ニハ胸部芥子泥水蛭貼用、吸角等○虚脱ニハ赤葡萄酒、コ  
 ンニヤク酒、茶シヤンバン酒等○酒客及老人ニハ初期ヨリ酒類ヲ與フ  
 體温上昇甚ダシク患者苦熱ヲ訴フルト  
 キハ

鹽規

右爲一包與四包一日二乃至四包  
 「ガプラート」ニ包ミ服用

撒曹

右散五包ニ分チ每三時一包(「ガ  
 プラート」ニ包ミテ用ユ)

撒曹

單舍

餹水

右調和每時一食匙  
 アンチピリン 〇、五

甘汞 〇、六  
 右頓用

アンチピリン

右散五包ニ分チ(澱粉紙ヲ以テ  
 包ム)體温三十九度以上ニ達ス  
 ルニ當リ先ツ一包ヲ投ツ後一時  
 間ヲ經テ第二包ヲ與フ可シ時ニ  
 或ハ後二時間ヲ待テ第三包ヲ與  
 フルコトアリ奏効スレバ後服ヲ  
 止ム

アンチピリン

白糖 一、〇  
 右研和散四包ニ分チ用法同上 二、〇

硫黃 二、〇  
 鹽莫 〇、〇五  
 白糖 三、〇  
 右十包ニ分チ一日三乃至四包  
 アルテア根煎(一〇、〇) 二〇〇、〇  
 覆盆子舍 二〇、〇  
 右調和飲料  
 大麥煎 二〇〇、〇  
 杏仁水 五、〇  
 單醋蜜 五、〇  
 右調和飲料ニ作ル  
 燐酸 一〇、〇  
 覆盆子舍 五〇、〇  
 右調和飲料ニ加ヘテ用ユ  
 酒客ニハ左方  
 抱水クロラール 二、〇  
 橙皮舍 一五、〇  
 餹水 二五、〇

格魯布性肺炎

右頓用(心カ衰弱ニハ禁ズ)  
 不眠及精神不穩ナルトキハ  
 ズルフオナール 〇、五乃至一、〇  
 右頓用  
 トリチナール 〇、五乃至一、〇  
 右爲一包頓用  
 心臟衰弱セルモノ及ビ虛弱家ニハ左方  
 樟腦 〇、二  
 安息香酸 一、〇  
 白糖 二、〇  
 右研和散五包ニ分チ每三時一包  
 卵黃 二個  
 プランデー酒 三〇、〇  
 單舍 二〇、〇  
 餹水 一二〇、〇  
 右一日六回二分服  
 脈甚ダ頻數ナル時ニハ左方  
 ギキ浸 (〇、二五)九〇、〇

覆盆子舎 一〇、〇  
 右調和一日間四回ニ分服セシム  
 虚脱ヲ來セルモノニハ左方  
 エーテル 十滴  
 茴香水 一〇〇、〇  
 橙皮舎 一〇、〇  
 右調和毎半時一茶匙  
 樟腦 〇、二  
 再留酒精 各適宜  
 アラビアゴム末  
 ゼ子ガ根浸 (一〇、〇)一〇〇、〇  
 單舎 一〇、〇  
 右調和毎時一食匙  
 等分カンフルエーテル 一〇、〇  
 右皮下注射料  
 吸收期ニ至レバ左方ヲ處ス可シ  
 ゼネガ根浸 (一〇、〇)一八〇、〇  
 單舎 二〇、〇

アンモニア茴香精 五、〇  
 右一日六回二日分服  
 ゼ子ガ根浸 (一〇、〇)一八〇、〇  
 アンモニア茴香精 二、〇  
 アルテア舎 二〇、〇  
 右一日六回二日分服  
 礮砂 四、〇—五、〇  
 甘草煮 一〇、〇  
 留水 一八〇、〇  
 右一日六回二日分服  
 沃剝 一、五  
 苦丁 二、〇  
 留水 二〇〇、〇  
 右一日三回分服  
 ゼ子ガ根浸 (一〇、〇)一〇〇、〇  
 アンモニア茴香精 一、〇  
 橙皮舎 一〇、〇  
 右調和毎二時一小兒匙

アムモニア水 五滴  
 留水 一五〇、〇  
 橙皮舎 一五、〇  
 右調和毎時一食匙  
 アンモニア茴香精 五、〇  
 右毎半時五滴砂糖ニ加ヘ用ユ  
 鹽酸アボモルヒネ 〇、〇三  
 單舎 二〇、〇  
 留水 一〇〇、〇  
 右調和毎時一食匙  
 ナレガミア丁 二、〇  
 杏仁水 一五、〇  
 右調和毎時十滴  
 小兒ノ肺炎ニハ胸部ニ冷罨法ヲ行ヒ  
 鹽酸「リモナーテ」ヲ與フ熱甚ダシキ中  
 ハ  
 撒曹 一、〇乃至二、〇  
 留水 九〇、〇

單舎 一〇、〇  
 右調和毎二時(注意スベシ)  
 アンチピリン 〇、五乃至一、〇  
 橙皮舎 二〇、〇  
 留水 一〇〇、〇  
 右毎二時一茶匙  
 咳嗽劇甚ナルトキハ食鹽水ノ吸入及左  
 方  
 ゼ子ガ根浸 (一、五乃至五、〇)一〇〇、〇  
 アンモニア茴香精 一、〇  
 アルテア舎 二〇、〇  
 右一日六回分服  
 脈搏頻數ニシテ心臓ノ力衰ヘタルトキ  
 ハ  
 ギキ浸(〇、一乃至〇、五)一〇〇、〇  
 アルテア舎 二〇、〇  
 右毎二時一小兒匙

精製樟腦  
 安息香酸 各〇、〇一乃至〇、〇五  
 右爲一包與六包每二時一包  
 アンモニア茴香精  
 ホフマン液 各一〇、〇  
 右每三十分三乃至五滴

十倍カンフル油  
 右一筒宛皮下注射 一〇、〇  
 鹽莫 〇、〇五  
 杏仁水 一〇、〇  
 右十滴乃至十五滴宛咳嗽發作時  
 ニ一盞ノ水ニ和シ頓用

### 毛様體炎

Cyclitis

チクリチス

**原因** 多クハ脈絡膜虹彩ノ疾患ニ續發ス其他外傷微毒腺病結核レウマチ  
 ス月經不調全身營養障害再歸熱「チフス」其他交感性疾患トシテ他眼ヨ  
 リ波及スルモノナリ

**診候** 眼瞼ノ潮紅、腫脹、角膜周擁充血疼痛(殊ニ壓痛)屈折體ノ濁濁及視  
 力ノ減衰等ヲ來シ漿液性症ニ於テハ「デセメツト」膜ニ沈着物ヲ生ジ成  
 形性症ニ於テハ虹彩中央部ノ膨隆及ヒ同周邊部ノ牽縮ヲ起シ化膿性症  
 ニハ眼房蓄膿ヲ來ス内壓ハ初メ亢進シ後ニ減降シ時トメ眼球癆ニ陥ル

**豫後** 一般ニ不良

**療法** 原因療法、初期ニ發汗療法ニ兼テ下劑ヲ投スベシ(殊ニ漿液性症

ニ奏功ス)沃剝内服水銀療法ハ微毒以外ノ原因ニ在リテモ用フベシ局  
 所ニハアトロピンヲ點眼シ内壓亢進ノ場合ニハエゼリンヲ處スベシ其  
 他温器法顫顫部瀉血ヲ行ヒ疼痛甚シケレハ麻醉藥ヲ投シ安靜ニ臥セシ  
 メ光線ノ刺戟ヲ避クベシ

### 淚囊炎

Dacryocystitis.

ダクリオチスチ・ス

**原因** 急性症ハ慢性淚囊炎ヨリ續發スルヲ多シ慢性症ハ結膜炎鼻粘膜ノ  
 疾患淚囊周圍ノ骨膜炎等ニ因スル鼻淚管閉塞ヨリ來ルモノ最モ多シ

**診候** 急性症ハ淚囊部ノ劇痛皮膚ノ發赤波動結膜浮腫ヲ來シ二三日ニノ  
 皮膚破壊シテ排膿シ瘻孔ヲ作ルニ至ル慢性症(淚囊膿漏)ハ淚囊部僅カ  
 ニ隆起シ流淚ヲ訴フ指壓ニ由テ膿性粘性若クハ透明ノ蓄液ヲ排出ス  
 屢々結膜炎及眼瞼濕疹ヲ續發ス

**豫後** 容易ニ治癒セズ

**療法** 急性症ハ初期ニハ氷罨法ヲ施シ昇汞水ヲ小淚管ヨリ注入スベシ或  
 ハ温罨法ヲ以テ化膿ヲ促シ淚囊部ヲ切開シテ排膿ス或ハ淚囊ヲ除去シ  
 若クハ破壊スベシ慢性症ニハ毎日淚囊ヲ指壓シテ淚液ノ蓄積ヲ去リ同

淚管消息子ヲ挿入スル圖

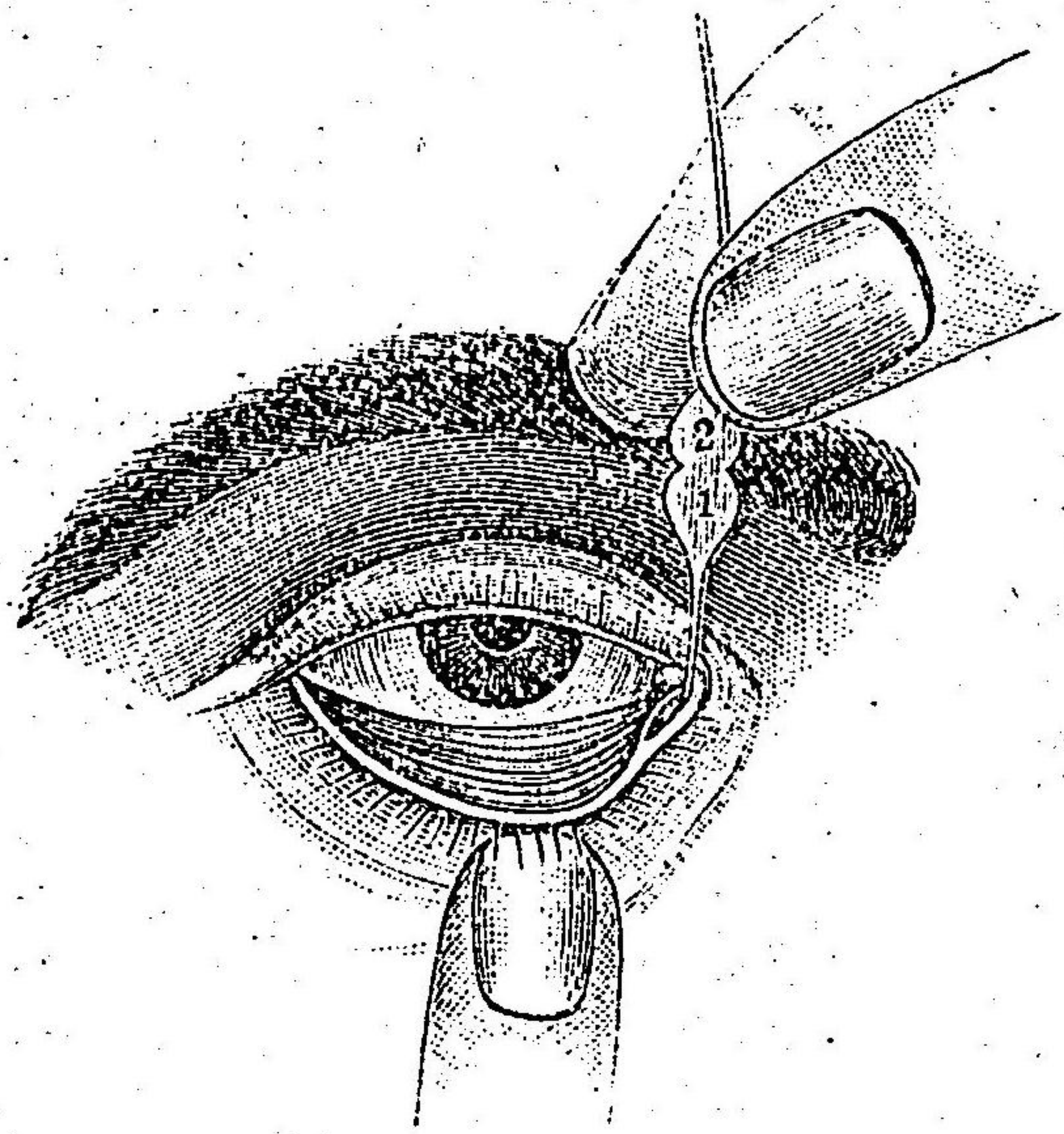


圖 四 十 二 第

圖ハ(シユミット、リンプレル眼科書ニ據ル)

時ニアチール氏注射器ヲ以テ〇・〇二%昇汞水三%硼酸水又ハ〇・五%硝酸銀水五%プロタールゴール水等ヲ注入スベシ或ハ小淚管ヲ切開シテ毎日ボーマン氏消息子ヲ送入シテ狹窄ヲ割開スベシ若シ効ナケレバ宜シク淚囊ノ破壊ヲ試ミ流淚ヲ治シ同時ニ黴菌ノ巢窠ヲ絶ツヲ得策トス

### 褥瘡

Decubitus. デクブツス

**原因** 麻痺病、熱病、心臟衰憊ニ因リ久シク平臥シ連綿タル外壓ニ起ル皮膚ノ壞疽

**診候** 患部ノ發炎潮紅ニ始マリ次テ藍青色ヲ帶ビ疼痛、水疱、組織崩壞、惡臭

**療法** 初期ノ潮紅ニハ醋水、酒精或ハ微温湯ノ洗滌及ビ膏藥ノ貼用既ニシテ實質缺損ヲ起シタル者ニハ清潔法、防護繃帶、豫防法ニハ屢々臥位ヲ變換シ皮膚ヲ清潔ニシ「カンフル」酒精ニテ洗ヒ或ハ稀釋セル酢ニテ拭フベシ

其他骨疽アルモノニハ

ヨードホルム

一五、〇

蒸水

各五〇、〇

褥瘡

二三五

樟腦	右注射料	〇、三	硫酸石灰	右研和末トナシ撒布料	四〇、〇
鹽莫		〇、二	石炭酸		五〇、〇
ペルーパーサルサム		〇、六	カレーフ油	右調和塗布料	五〇、〇
酸化亞鉛		二、〇	石炭酸		五〇、〇
ワセリン		二〇、〇	カレーフ油		五〇、〇
黃蠟		二、五	白堊	適宜	
右爲軟膏外用			右軟泥ニ作り錫箔紙上ニ攤シ貼用(リンステル氏ペースタ)		
過マンガン酸カリウム		一、〇	タンニン酸		一、〇
餾水	右調和洗滌料	二〇〇、〇	次醋酸鉛		五、〇
石炭酸		一、〇	單軟膏	右調和軟膏ニ作り貼用	二〇、〇
餾水	右調和洗滌料	二〇〇、〇	瘡面清潔トナリシ後ハ普通ノ創傷療法ヲ行フベシ		
木タール		五、〇			

### 頭髮脫落

Defluvium capillorum.

カピルウイウム

原因	頭皮炎ハ重病、皮脂漏、黴毒等	
診候	頭髮ノ脱落消亡	
療法	原因療法(故ニ皮脂漏、黴毒ノ治法)黴毒等ニハ局處ニ白降汞軟膏	
腐蝕アンモニア水	ワセリン	二〇、〇
甘扁桃油	右調和髮油ニ作り用ユ	
クロ、フォルム	芫菁丁	一〇、〇
酒精	迷迭香精	一〇〇、〇
右頭皮洗滌料(刷子ヲ用キテ毛	右塗擦料	五、〇
髮及頭皮ヲ摩擦セル後ニ用ユベ	レゾルチン	一五〇、〇
シ)	酒精	四五〇、〇
肉荳蔻花油	蓖麻子油	〇、五
カレーフ油	ペルーパーサルサム	
右調和毎日二回塗擦	右調和フラネル片ヲ用キテ毎日	
白降汞	頭皮ニ塗擦ス可シ	

### 頭髮脫落

### 酒客譫妄症

Delirium tremens.

デリリウム、  
トレメンズ

**原因** 飲酒ノ經久過度(酒客重傷ヲ負ヒ或ハ重病ニ罹リ習慣性ノ飲酒ヲ止メタルトキ發スルコト多シ)

**診候** 不眠、神經恍惚、手指開派、震顫及譫語幻視(鼠ノ如キ小動物)等

**療法** 藥石ヲ要セズシテ治スルコト屢々之アレドモ普通ニハ室ノ一部ヲ暗クシテ此處ニ居ラシメ數日間淡白食餌ヲ給シ多量ノ酒類ヲ與ヘ經過久シキニ亘ルモノニハ多量ノ催眠劑ヲ與フ可シ但シ心臟作用不良ノ際ハ「クロラール」ヲ禁ス

- 抱水クロラール 二、〇
- 橙皮舎 各一五、〇
- 右調和頓服 各一五、〇
- 抱水クロラール 三、〇
- ゴム漿 各七五、〇
- 右半量頓服殘量毎二時一食匙宛
- 阿片末 〇、三
- 白糖 三、〇
- 右十包ニ分チ毎夕不眠時二乃至三包宛
- 臭剝 各一〇、〇
- ブロームアンモニウム 各一〇、〇
- 餹水 五〇、〇
- 右調和毎時一茶匙

ブルフオナール

一、〇

覆盆子舎

二〇、〇

右一包ニ分チ六包ヲ與ヘ(每包

右毎夕一食匙

オブラートニ包ム)(催眠藥)

心臟衰弱アルトキハ左方

トリオナール 〇、五乃至一、〇

樟腦 〇、一

右爲一包頓用

白糖 〇、五

ゾムナール 一〇、〇

右爲一包與十包毎一時或ハ二時

餹水 四五、〇

一包宛(蠟紙ニ包ム)

慢性アルゴホル中毒ノ重症ニ在リテハ之ヲ治シ全ク「アルゴホル」ヲ嗜ムノ習慣ヲ脱セシムルニ至ルハ甚ダ稀ナリト雖此目的ヲ達センニハ之ヲ養生院ニ監守スルヲ最良ノ法トス○飲食物其他褻裨及鹽水等悉ク燒酎ヲ注ギ患者ヲ「アルゴホル」ヲ嫌厭スルノ念ヲ發セシムルノ法ハ時トメ大効アリ(ベルゼリウス氏法)○其他慢性胃加答兒ヲ治癒シテ全身ノ營養ヲ善クス可シ

硝酸ストリキニーチ 〇、〇六  
餹水 一五、〇

十六回注射ヲ行フ  
硝酸ストリキニーチ

右毎日一回乃至二回注射ス始メ  
〇、五後〇、二五(都合十回乃至

稀燐酸 〇、〇五乃至一、〇  
一五、〇

### 酒客譫妄症

右毎日三回十滴  
蕃木鼈越  
酒精

〇、五  
五、〇  
稀磷酸  
右毎日三回十滴

一〇、〇

### 單純性尿崩

Diabetes insipidus.

イデアベータス  
インジビータス

**原因** 不明ナルモノ多シ時トシテ腦、脊髓ノ損傷、疾患、黴毒、飲酒過度、  
遺傳ニ原因ヲ歸スルコトアリ

**診候** 尿量ノ著明ナル増加煩渴ヲ主徴トス尿色透明水様ニシテ糖及蛋白  
ヲ含有セズ比重ハ一〇〇五乃至一〇〇一、一日ノ尿量三乃至十リーテ  
ル或ハ其以上ヲ算ス

**豫後** 併發症ナキトキハ十年以上ヲ經過シ直接生命ヲ失フコト少ナキモ  
全治セシムルコト難キカ故ニ不良ナリ

**療法** 原因ト思料スベキモノ明カナレバ之レヲ療ス例令ハ黴毒ヲ治スル  
ガ如シ

其他一般ニハ左方

甘草羔  
緬苗越

三、〇  
適宜

緬草丁  
四丸

二〇、〇

右三十丸ニ作り毎日三回二乃至

右毎日三回三十滴宛

阿片  
重曹

〇、三  
三、〇

甘草羔及末

適宜

右十二包ニ分チ毎日二乃至三回

一包宛  
麥角越

一、〇

撒曹

右六包ニ分チ一日三回一包宛二  
日分

### 糖尿病(蜜尿病)

Diabetes Mellitus.

ヂャベータス  
メリツトス

**原因** 遺傳、肥胖病、麥酒過飲、粉食或ハ甘味食物ノ座食、喫煙或ハ精神勞  
働ノ過度、黴毒、頭部外傷、腦疾患、膝臟ノ疾患等ナリ

**診候** 飢渴共ニ甚ダシク咽頭乾燥、排尿過多及頻次(三千乃至一萬瓦)殊  
ニ夜間ニ甚シク清澄水ノ如キ尿中多量ノ糖分(殆ンド毎常葡萄糖)ヲ含  
ム(比重ハ一〇二五乃至一〇四五及其以上)果實様香氣等其主タルモノ

ナリ其他倦怠、頭痛、不眠、皮膚乾燥、瘙痒症、癩腫、癰、(壞疽ヲ發スルコ  
ト多シ)色慾消失、白內障、網膜炎、視神經消耗症、神經痛、屢膝蓋腱反射  
消失、約半數)昏睡(糖尿病昏睡)等ヲ發スルコトアリ又唾液ハ時ニ酸性  
ニシテ齶齒ヲ生ズ又便秘ス、男子ニアリテハ陰萎婦人ニアリテハ流産



ヲ起ス、又頑固ナル陰門瘙痒アリ、男子ニハ淋疾様疼痛アルコトアリ  
肺結核ヲ合併スルコトアリ、呼氣ニ林檎様芳香アリ、又患者發熱時ハ  
糖ナキコトアリ

豫後 不良、概テ昏睡、肺癆、癰疽、心臟衰弱等ニヨリテ死ス經過ハ一年乃  
至十年以上

療法 試ミニ魚、貝、肉、脂肪等ノミヲ食用ニ供シ總テ米、麵包ノ類及ビ砂  
糖菓子ヲ禁ジ二三日ヲ經テ尿中ニ糖ヲ見ザルトキハ輕症ナリ、即チ如  
何ナル程度迄含水炭素ヲ用井ルモ尿中ニ糖ヲ檢出セザルカヲ試驗シ以  
テ日常ノ飲食ヲ規定スベシ、但シ毎週一日丈ハ必ズ含水炭素質ヲ取ラ  
ザルヲ可トス、○重症即チ含水炭素質ヲ與ヘザルコト久シキニ至ルモ  
尙ホ糖分ノ存スルモノニ在リテモ含水炭素質ハ全ク之レヲ禁ゼズ其少  
量ヲ與フ可シ○食物ニハ魚、貝、鳥、卵、肉、豆腐、綠色ノ野菜、菌類ヲ用  
井飯、麵包、馬鈴薯、豆類、甘味アル果實ヲ禁ズ○飲料ニハ水、礦泉、茶、  
珈琲(砂糖ヲ加エザルモノ)弱キ酒類、少量ノ牛乳ヲ用井、麥酒、リキウ  
酒、「チョコレート」ヲ禁ズ、甘味ヲ望ムモノニハ、「サツカリン」ヲ以テ砂  
糖ニ代フベシ、○其他適宜ノ運動、按摩法ヲ賞用ス、微毒患者及ヒ其疑

アルモノニハ驅微法ヲ施スベシ  
燐酸コティン ○、〇二  
乳糖 右爲一包與六包一日三回一包宛  
二日分 ○、三  
阿片末 一、〇  
甘草羔 適宜  
右爲二十九一日二回一丸宛ヨリ  
漸々増量シテ一日八回一丸宛ニ  
至リ漸次減シテ一日二回一丸宛  
ニ復ス  
阿片越 ○、〇五  
荳蔻越 ○、〇三  
乳糖 〇、三  
右爲一包與六包一日三回一包宛  
二日分  
阿片 ○、〇五乃至〇、一  
重曹 ○、五

右爲一包與六包一日三回二日分  
阿片末 ○、六  
甘草末 二、〇  
甘草羔 一、〇  
右三十九ニ作り毎日四乃至五丸  
宛  
アンチピリン ○、五  
重曹 ○、六  
右爲一包與六包一日三回每食前  
一包宛アルカリ性ノ水ニテ用ユ  
ピラミドン ○、三  
阿片越 ○、〇七  
右爲一包與十二包毎日三乃至四  
回一包宛  
撒曹 一、〇  
服 右爲一包與六包一日三回二日分

撒曹  
臭曹  
重曹

各一五、〇

右三十包ニ分チ毎日三回一包宛  
水ニ溶解シテ用ユ

六、〇

撒曹

二〇〇、〇

右調和一日三回二分服

サツカリ

三、〇

乾性炭酸ナトリウム

二、〇

マンニツト

五〇、〇

右研和百粒ニ作り其一粒ヲ飲料  
中ニ加ヘテ甘味ヲ添フル爲メニ  
用ユ

昏睡ノ虞アルトキハ多量ノ「アルカリ」  
ヲ用ユ即チ左ノ如シ（スターデルマン  
氏）

枸橼酸

一六、〇

炭酸ナトリウム

三六、〇

サツカリ

〇、三

餛水

五〇〇、〇

薄荷精

六滴

右一日數回分服

重曹

五〇、〇

右一日内ニ分服スベシ

醋酸ナトリウム或ハ酒石酸 二〇、〇

炭酸水 二〇〇、〇

サツカリ 〇、三

橙皮油 〇、五

右調和一日三回ニ用ユ

既ニシテ昏睡ニ陥リタル時ハ食鹽液ヲ  
皮下若シクハ靜脈内ニ注入尿ノ反應ヲ  
シテ「アルカリ」性トナスニ至ル可ク同  
時ニ蓖麻子油ノ下劑ヲ投ズ

食鹽

六、〇

炭酸ナトリウム

三、〇

餛水

一〇〇〇、〇

右攝氏卅九度ニ温メ注入

### 胃擴張

Dilatatio ventriculi

デラタチチ、  
ウエントリクリー

**原因** 暴食或ハ慢性胃加答兒ニ來ル胃壁筋ノ衰弱弛緩及癌腫或ハ癥痕ニ

因ル幽門狹窄隣接内臓ノ腫瘍ノ壓迫

**診候** 胃部ノ壓重擴張食思缺乏或ハ煩渴、空腹時ノ胃痛、嘈雜、吞酸、噎

氣、食後一頓ノ大嘔吐、其他胃部ノ振盪音、羸瘦、便秘等ナリ又頻々飢餓

ヲ訴フル者有リ直立位ニ於テ患者ヲ打診スレバ胃ノ内容物ハ其下部ニ

集マリアルヲ以テ上縁ハ水平線ヲナシ下縁ハ弓狀ヲナス濁音部ト該部

ノ上縁ニ接スル廣キ鼓音部ヲ檢出スベシ而シテ臥位ニ於テハ濁音消失

ス其他胃「カテーテル」ノ尖端ヲ臍下ニ觸知シ又々胃「カテーテル」ニ由

テ空氣ヲ胃中ニ吹入シ或ハ酒石酸及重曹ヲ以テ胃中ニ瓦斯ヲ發生スル

トキハ判明ニ胃ノ境界ヲ知ルベシ

**豫後** 萎縮性及癥痕性ハ良、癌腫性ハ不良

**療法** 其原因ニ注意シ幽門ノ狹窄ニハ手術ヲ行フベシ輕度ノ者ニハ滋養

攝生法即食餌ハ少量ナルモノヲ數回ニトラシメ飲料ヲ減シ且ツ消化物

ヲ擇ミ香料或ハ多量鹽ヲ含有セル食物ヲ斥ケ食後ニハ身體ヲ安靜ニス  
 ベシ其他止渴ニハ少許ノ氷片或ハ氷牛乳ヲ投ス或ハ生理的食鹽水ヲ皮  
 下ニ注入スルモ可ナルモ實地上ニハ灌腸ヲ施スヲ最モ便ナリトス、飲  
 用スル液體ハ一日一、五「リール」ヲ超ユベカラズ食物モ水分少  
 キ「パン」ノ如キヲ薄ク切りテ燒キテ用フベシ軟ナル米飯ハ可ナレハ粥  
 ハ不可ナリ、蔬菜モ然リ、牛酪ノ如キ脂肪善良ナル酒ハ少量ニ使用スル  
 モ可ナリ水治法ヲ行ヒ及ビ「カル、ス」泉鹽ヲ用井テ効アリ高度ノ者  
 ニハ胃唧筒洗滌法ヲ要ス而シテ多量ノ飲料ヲ戒メ唯唧筒ヲ用井ルニ先  
 ダチテ充分ノ飲料ヲ與フルノミ常ニ彈力性腹帶ヲ用ユベシ尙ホ電氣療  
 法効アルコトアリ後治法トシテ「カル、ス」泉療法、冷水療法ヲ行ヒ同  
 時ニ按摩法ヲ施ス

磷酸コティン 〇、〇六  
 白糖 二、〇  
 番木鱧越 〇、〇六 右散分六包一日一乃至三包  
 ザリチール酸岩鉛 一、五 石炭酸 二、〇  
 右分三包一日三回食後ニ用ユ アルテア根末 適宜  
 嘔吐ノ際ニハ左方ヲ用ユ 右丸二十四粒ニ製シ一日三回一  
 番木鱧越 〇、一 丸宛

稀鹽酸 一〇、〇  
 覆盆子舎 二〇、〇  
 右每食後一時間ヲ經テ十滴チ一  
 蓋ノ温湯ニ和シ用ユ  
 サリチール酸 三、〇  
 白糖 三、〇  
 右分六包一日三回每食前一時間  
 ナ隔テ「オプラート」ニ包ミテ  
 内服スベシ

鹽酸コティン 〇、三  
 硫酸アトロピン 〇、〇〇三  
 餹水 一〇、〇  
 右半筒乃至一筒皮下注射料  
 其他クロ、フォルム三一五滴ヲ氷水ニ  
 加ヘテ服用セシメ或ハ薄荷水一、〇酒  
 精及單舎二〇、〇ヲ一時間毎ニ一茶匙  
 宛服用セシムルモ可ナリ

本症ニ胃加答兒ヲ合併スルコト多キヲ以テ之ヲ認メタル時ハ慢性胃加答  
 兒ノ處置ヲ應用スベシ

**赤痢** Dysenterie. チゼンテリー 痢病

**原因** 明治三十年醫學博士志賀潔氏赤痢菌ヲ發見セリ是レ本症ノ原因ナ  
 リ熱帶地方ニハレッシ氏大腸「アメーバ」ニ因ス  
**診候** 全身違和、食思缺損、發熱、下行結腸部或ハ下腹全部ノ疝痛様疼痛、  
 混血膠ノ如キ少量糞便ノ頻發下痢裏急後重等ナリトス

豫後 概子良ナルモ其流行時ノ性質ニヨリテ異ナリ我四國九州地方等ニ於ケル流行ハ死亡比例二十乃至二十五%ナリ

療法 對症療法其主タル者ニシテ安臥靜息ヲ命ジ飲食ヲ慎ミ(食物ハ牛乳スーブ、ヲモ湯、卵等、無刺戟性流動性温キモノヲ與フ)病室内空氣ノ通暢ヲ能クシ患者ノ周圍ヲ務メテ清潔ニシ消毒法ヲ嚴ニシ下劑ヲ投ズ十分ナル便通後タンニン劑ヲ與フ裏急後重及ビ疝痛疼痛ニハ腹部ニ温罨法ヲ行ヒ粘性賦形藥ト共ニ阿片ヲ與フ「サレップ」或ハ澱粉灌腸ヲ施シ少量ノラム酒ニ濃厚ナル茶ヲ加ヘテ與フルコト有リ凡テ病室ニハ他人ノ出入ヲ禁ジテ其傳染ヲ防キ一般ニ可及的下痢ニ注意ス而シテ病期ニ相應シ左方ヲ處ス可シ

- 甘汞 〇、五
- 乳糖 〇、三
- 右四包ニ分チ一包服用後蓖麻子油二〇、〇ヲ頓服シ後毎三時一包内服
- 蓖麻子油 五〇、〇
- 右與二食匙(三時間ヲ經尙快通
- ヲ得ザルトキハ更ニ一食匙ヲ與フヘシ而シテ第三日、第五日、第七日目ニ反覆斯ノ如クスルヲ要スルナリ)
- 硫苦 三〇、〇
- 苦丁 二〇、〇
- 餹水 二〇〇、〇

- 右一日三回二日分服
- 大黃根末 六、〇
- 吐根末 二、〇
- 右混和適宜ノ熱湯ニ浸出シテ之ヲ濾過シ全量一二〇、〇ノ液ニ作り更ニ「アラビアゴム」四、〇蜀葵舍三〇、〇ヲ加ヘ毎一時一食匙
- 〇、五%タンニン水 三〇〇、〇
- 阿片丁 十滴
- アラビアゴム 七、〇
- 右灌腸料トス
- タンナルビン 一、〇
- 右爲一包與六包一日三回一包宛
- サリチール酸蒼鉛 六、〇
- タンナルビン 三、〇
- 右分六包二日分服
- タンニゲン 〇、五
- 右爲一包與六包一日三回一包宛
- タンナルビン 一、〇
- 阿片 〇、〇一
- 阿片丁 一〇、〇
- 右毎日三回十滴宛水ニテ用ユ
- 〇、五%タンニン水 二〇〇、〇
- 右二分シ微温(三十四度)トナシ徐々ニ直腸内ニ注入ス十五分ヲ經テ排出セシム一日二回(カンタニー氏法)
- 〇、五%硝酸銀液 一〇〇、〇
- 右灌腸料
- 頑固ノ裏急後重ニハ左方ヲ處ス
- 苳若越 〇、二五
- カ、オ脂 五、〇
- 右坐藥四個ニ作り肛門ニ挿入
- キニー子 二、〇乃至四、〇

留水

四〇〇、〇

或ハ二回微温トナシ用ユ

右二回分灌腸料トナス一日一回 其他ハ腸加答兒ノ條下ヲ参照スベシ

### 月經困難

Dysmenorrhoe. デスメノー

**原因** 子宮頸管狹窄(器械的月經困難)子宮前屈、子宮頸腫瘍(充血性月經困難)子宮外膜炎、卵巢炎(卵巢性月經困難)子宮內膜炎(內膜性月經困難)

**診候** 骨盤充盈、薦部掣牽、尿意頻數ノ感アリテ發作性ノ疼痛腰及腹部ニ波及シ、嘔氣、嘔吐、偏頭痛等ヲ發スルコトアリ

**豫後** 其原因ヲ除キ得ルトキハ良

**療法** 原因ヲ深究シ(器械的原因、即チ子宮的或ハ卵巢的原因)而ノ大抵下腹部ノ温卷法ヲ賞用ス安靜ヲ命ジ便秘ノ傾向アル時ハ下劑ヲ投ズ可シ限局性ニ疼痛アルトキハ該部ニ芥子泥ヲ貼用シ又ハ十倍イヒチオール軟膏ヲ用井テ効アリ、興奮ヲ避ケシメ鎮痙藥鹽酸モルヒ子殊ニ其皮下注射ヲ用ユ可カラズ若シ已ムテ得ザル時ハ阿片丁幾鹽酸「コデイン」ヲ與フ)或ハ酒精劑ヲ與フヘシ〇月經困難ニハ腔部粘膜炎ニ四五條ノ水

蛭ヲ放チ或ハ深亂刺法ニ依テ局處瀉血ヲ行フ内服ニハ左方ヲ處シテ効アリ

アンチピリン 〇、五

右爲一包與六包一日三回一包宛

フェナセチン 〇、五

右爲一包與四包一日二回一包宛

ピラミドン 〇、二五

右爲一包與六包一日三回一包宛

鹽莫 〇、〇五

白糖 三、〇

右研和散五包ニ分チ二乃至三時

間每一包

磷酸コデイン 一、〇

乳糖 二、〇

右分五包一日三回一包宛

杏仁水 一〇、〇

鹽莫 〇、一

右一時間毎十滴砂糖ニ加ヘ用ユ

印度大麻越 〇、二

白糖 五、〇

右研和散十包ニ分チ每三時一包

カミレル花浸 一五〇、〇

阿片丁 十五滴

薄荷舎 一五、〇

右調和每時一食匙

ヒドラスチス流動越 二〇、〇

マラセンス酒 二〇、〇

桂皮舎 一〇、〇

右調和每二時乃至四時一茶匙

海狸丁 一〇、〇

蕃木鼈丁 三、〇

右每日三回十滴宛

海狸丁 各五〇、〇

蕃木鼈丁

右毎日四回二十滴（月経前八日  
ニ用キ始メ月経ノ終ルマテ持續  
ス可シ）

阿片丁

蕒蓉丁

ヒヨス丁

纈草丁

蔓陀羅華丁

各一〇、〇

右毎日三四回二十滴（フリツチ

氏）

ウキプルヌムプルニポリウム越

單舎 各二〇、〇

右一日二乃至四回一茶匙

クロ、フォルム

一、五

樟腦

〇、二五

エーテル

ミルラ丁

ゴム漿

餾水

右每十五分一食匙

臭剝

アンチピリン

餾水

ウキプルヌム流動越

コンニヤク酒

橙皮舎

右毎日二乃至四食匙

麥角越

白糖

右研和散五包二分チ一日ニ用ユ

各一、五

一、〇

五〇、〇

各五、〇

六〇、〇

一〇、〇

各一五、〇

〇、一乃至〇、二

三、〇

三、〇

### 酸性消化不良

Dyspepsia acida

ヂスペプシア、  
アチーダ

### 鹽酸過多症

Hyperchlorhydrie.

ヒールクロー  
ルヒドリ

**原因** 胃潰瘍、ヒステリー、神經衰弱反復シタル胃ノ刺戟、早食習慣、齒牙  
不良ノ爲メ咀嚼不充分ナルコト及香料、並ニ酒類ノ濫用モ亦之ヲ誘起  
スルコトアリ、本邦人ノ如ク主食トシテ澱粉性食物ヲトルモノニ發シ  
易ク、中年男子ニ多シ

**診候** 胃部壓重、痞滿、呑酸嘈雜ヲ訴フ食後一時間ノ胃液ハ酸鹽分含量  
二、五%以上ヲ算ス

**療法** 原因ヲ除去スルコトヲ勉メ食物中鹹キ物酸キ物及香竄料ヲ多ク加  
ヘタル物ヲ禁ズ食事ハ一日五六回ニ分食スベシ

重曹

六、〇

次硝蒼

二、〇

蕒蓉エキス

〇、一二

右二日量一日三回食後三十分

一時間ニ服用

便秘ノ徵アル場合ニハ

假性マガ子シア

三、〇

重曹

六、〇

蕒蓉エキス

〇、一二

右二日量一日三回食後三十分

一時間ニ服用

重曹

三、〇

次硝蒼

〇、六

右三包ニ分チ一日三回毎食後一

酸性消化不良 鹽酸過多症

時間一包宛  
人工カル、ス泉鹽

三〇、〇

右六包ニ分チ一日三回毎食後一  
時間一包宛

### 小兒急性消化不良

*Dyspepsia acuta infantum.*

アスベプシア、アクータ、インファンツム

**原因** 不適當ナル榮養法（乳汁及食物ノ不良過度ノ飲食、飲食ノ用器不潔）授乳婦ノ精神劇動、身體ノ過勞、衰弱等

**診候** 乳兒ノ胃消化不良ニハ顔面蒼白、心身不安、食欲不振、吐乳、綠色ヲ帶ブル惡臭ヲ放ツ大便、啼泣スルコト平日ヨリ甚ダ屢々ナリ熱ハ高キコトアリ全ク平温ノ一アリテ一定セス○乳兒ノ腸消化不良ニハ下痢ヲ發スルコト一日五乃至二十回ニシテ便ハ綠色ヲ帶ビ惡臭ヲ放チ粘稠ナル粘液ヲ混シ黃色ノ小絮片ヲ有ス食欲不振時々啼泣ス時トシテ痙攣ヲ發スルコトアリ○小兒ノ消化不良ハ心身違和、食欲不振、頭痛、胃部壓重及疼痛、舌苔、口臭、嘔氣便秘、若クハ下痢、體温ハ其始メ高ク四十度ニ達スルコトアリ通常速カニ解熱ス

**療法** 其原因ヲ除去スルニ在リ故ニ其生活法ヲ整理スヘシ虛弱或ハ人工榮養ノ小兒ニハ良性ノ母乳ヲ與ヘ且ツ哺乳時間ヲ制限シテ大約毎二時

或ハ三時間一回トナシ決シテ過分ニ飲マシムヘカラス○良性ノ母乳ヲ供給スルコト能ハサル場合ニ於テハ之ヲ補給スルカ爲メ牛乳ト燕麥粘汁、犢糞汁或ハ膠質液（即チ膠質一〇、〇ヲ半「リーテル」ノ水中ニ溶カセル者）及ヒ蛋白水（鶏卵白一箇ヲ半「リーテル」ノ沸騰後冷却シタル水ニ加ヘ之レニ白糖少量ヲ混ス之レニ「コンニヤック」酒一二滴ヲ更ニ加フレハ可ナリ）トノ混合液ヲ與ヘ肛圍ヲ清潔ニシ濕爛或ハ濕疹ヲ生セサル様注意スヘシ

嘔吐ニ對シテハ胃ノ洗滌法ヲ行フテ大ニ効ヲ奏ス○成長シタル小兒ニ在リテハ其始メ一兩日間ハ下劑ヲ與ヘ攝生ヲ嚴ニスヘシ食物ハ數日間流動性ノ食物（稀粥汁、肉羹汁、牛乳等）ノ他ハ之ヲ禁スヘシ

甘朮 〇、〇一〇、〇三  
乳糖 〇、三

右爲一包與三包毎二時一包宛

（乳兒ノ初期ニ用キ三包ヲ用キ終レバ後服ヲ止ムヘシ）

甘朮 〇、〇三一〇、〇五  
乳糖 〇、三

右爲一包與三包毎二時一包（成長シタル小兒ノ初期ニ用キル同上）

稀鹽酸 一、〇一、二、〇  
アラビアゴム 一、〇  
アルテア舍利別 二〇、〇  
餾水 一〇〇、〇

小兒急性消化不良

右毎二時一小兒匙宛  
 稀鹽酸 一、〇—二、〇  
 アラビアゴム 一、〇  
 阿片丁 三滴  
 アルテア舍利別 二〇、〇  
 餾水 一〇〇、〇  
 右毎二時一小兒匙宛  
 ペプシン 一、〇  
 稀鹽酸 〇、五  
 覆盆子舍利別 二〇、〇  
 餾水 一〇〇、〇  
 右一日三回毎食後一茶匙宛  
 重曹 五、〇

單舎 二〇、〇  
 餾水 一〇〇、〇  
 右一日三回毎食後一茶匙宛  
 重曹 一〇、〇  
 茴香油糖 五、〇  
 右一日三回毎食後一茶匙宛  
 タンナルビン 〇、五  
 右爲一包與六包一日三回二分  
 服(下痢ニ用ユ)  
 タンニーゲン 〇、五  
 右爲一包與六包一日三回二分  
 服(下痢ニ用ユ)

### 小兒慢性消化不良

Dyspepsia chronica

infantum.

チスハブシア、クロニカ  
インフアンツーム

#### 原因

腺病、結核、貧血ニ因シ或ハ急性症ヨリ轉ス

診候 心身倦怠、食慾不振、胃部ノ痞滿、噯氣、便秘等ヲ以テ其主徴トナス  
 療法 原因ニ注意シ急性症ノ如ク攝生ヲ嚴ニシ便通ヲ整フベシ而シテ藥劑ニハ大黃其他稀鹽酸等急性消化不良ト同一ノ藥劑ヲ用ユベシ  
 大黃根浸 (二、〇)八〇、〇  
 重曹 三、〇  
 單舎 二〇、〇  
 右毎日三回一小兒匙宛

### 神經性消化不良

Dyspepsia nervosa.

チスハブシア  
ネルツオーザ

原因 神經衰弱症、ヒステリー、ヒポコンデル、貧血、萎黃病、肺癆、武氏病、手淫、過房、授乳經久、酒烟過度、腸蟲、麻拉里亞病等  
 診候 精神鬱閉、倦怠、頭痛、眩暈不眠心悸亢進ヲ伴ヒ、胃部痞滿、吞酸噯氣、嘈雜、便秘或ハ下痢、食思欠損、臨食惡心、嘔氣、等ニシテ本病ノ固有ナル點ハ他ノ器質的胃疾患ニ反シテ是等ノ症狀ノ食物ノ性質及量ニ關係セサルナリ、而シテ胃ノ分泌及運動關係短時日間ニ反覆變化ス殊ニ肉食嫌忌等ナリ

療法 其原因ヲ除去スルニ在リ故ニ其生活法ヲ整理スベシ即チ水治法、按摩法、電氣療法、食料療法ヲ用井海濱或ハ山上ノ住居ヲ可トス而シテ

小兒慢性消化不良 神經性消化不良



藥劑ハ精神ヲ安ンセンカ爲メ時々臭剝、磷酸「コデイン」ヲ與ヘ食思缺  
亡ニハ苦味、不眠症ニ苦ムトキハ催眠劑ヲ與フベシ

臭剝 三、〇  
餾水 二〇〇、〇

右一日三回二日分服  
磷酸コデイン 〇、〇一五  
白糖 〇、三

右爲一包與六包一日三回一包宛  
プロームナトリウム 各一、〇  
プロームアムモニウム 各一、〇

右爲末一包與四包朝夕一包繙草  
茶劑ニテ用ユ

蕃木鼈丁  
酒製大黃丁 各一〇、〇  
エーテル製繙草丁 各一〇、〇  
右毎日三回毎食前三十滴宛

コンヅランゴ煎

單舎 (一五、〇)、一八〇、〇  
二〇、〇

右每二時一食匙宛  
不眠症ヲ訴フル者ニハ左方

トリオナール 一、〇  
右爲一包頓服(毎二日夕刻一回)

ブルホナール 一、〇  
右爲一包頓服(毎二日夕刻一回)

抱水クロラール 一〇、〇  
餾水 一五〇、〇  
右每夕一乃至二食匙宛ヲ赤葡萄  
酒ニテ用ユ

呼吸困難

Dyspnoe.

チヌブチー

原因 頭蓋腔内ノ疾患(出血、腫瘍、炎症)ヒステリー、酸素缺亡、血液變

性(貧血、白血病、萎黃病、熱性病、尿毒症、糖尿病性昏睡)脊椎ノ  
彎曲症、呼吸筋ノ麻痺或ハ痙攣、咽頭、喉頭、氣管及ヒ氣管支ノ疾病、

肺ノ疾病、心臟病  
診候 非常ノ呼吸困難、胸部ノ笛聲雜音等ナリ呼吸數ノ増スヲ常トスル  
モ亦減スルコトアリ

療法 原因ヲ搜リテ之ヲ除去スベシ殊ニ肺氣腫ニ於テハ「ケブラツチヨ」

ヲ賞用ス

水製ケブラツチヨ越 五、〇  
餾水 二五、〇

右調和三時一茶匙

ケブラツチヨ越幾ストハ「ケブラツチ  
ヨ根末一〇、〇ヲ酒精一〇〇、〇ニ溶解  
濾過シタル後之レヲ蒸發シ二〇、〇ノ  
水ニ溶解シタル者ナリ

ケプラヒー子

甘草越

曼陀羅華越

ヂキ丁

繙草水

右發作時一茶匙

〇、五

適宜

右丸十粒ニ作り毎日四乃至五粒

〇、一

四、〇

三〇、〇

ロベリア丁  
阿片安息香丁

一五、〇  
三〇、〇

右三十滴砂糖水ニテ用ユ

### 小兒急癇

*Eklampsia infantum.*

エクランプシマ  
インフアンツム

**原因** 小兒特異ノ反射的疾患ニシテ蛔蟲或ハ胃腸鼻耳内ノ異物ヨリ來リ又生齒困難、精神感動等ヨリ起ルヲ常トス其他腦病、胃腸加答兒、便秘、下痢急性熱性病、急性發疹ノ前驅期ニ來ルモノナリ二年以下ノ小兒ニ多ク五年以上ニ稀ナリ

**診候** 不眠、咬牙、號叫、強直、痙攣、顔面蒼白、直視、噴泡、厥冷、仰倒、人事不省

**豫後** 原因ノ異ナルニ從ヒ一定ナラズ

**療法** 腦病、胃及腸加答兒、便秘、下痢、急性發疹病ノ前驅期異物等凡テ原病ニ注意シ發作時ニハ灌腸ヲ施シ腦ノ充血及貧血ニ注意シ發作間歇時ニハ安靜ヲ主トシ藥劑ニハ左ニ掲グル者ノ他尙鐵劑及キニーチ等ヲ處シテ効アリ

磷酸  
覆盆子舎

二、〇  
一〇、〇

鹽水

右調和每半時一食匙

一〇〇、〇

抱水クロラール

鹽水

右調和灌腸料

〇、二五  
五〇、〇

抱水クロラール

鹽水

右調和灌腸料

〇、五乃至一、〇  
一、〇

單舎

右調和半時一小兒匙

ウレタン

一〇〇、〇  
二〇、〇

單舎

右調和每時一小兒匙

砂糖水ニ溶解シテ用ユ

〇、一乃至〇、三

甘汞

白糖

大便不利ナルモノニハ左方ヲ處スヘシ

〇、五  
五、〇

發作ノ頻數ナルモノニハ左方

アロームカリウム

鹽水

右研和十包ニ分チ每時一包  
二、〇  
一〇〇、〇

覆盆子舎

右調和每時一小兒匙

二〇、〇

アロームカリウム

鹽水

アロームアムモニウム

二、〇  
一、〇

單舎

右一日三四回一小兒匙乃至食匙

一〇〇、〇  
三〇、〇

沃剝

鹽水

右調和每一時一小兒匙

一、〇  
八〇、〇

覆盆子

右調和每一時一小兒匙

クロ、フォルム

二〇、〇  
一〇、〇

硫酸アトロピン

稀硫酸

右吸入料

〇、〇一  
〇、〇五  
一〇、〇

鹽水

右毎日一乃至三回十滴

虛脫ノ傾向アルモノニハ

麝香 〇、三  
ゴム漿 六〇、〇

又鹽酸ピロカルピン、ヤボランゲ浸チ  
用ユ

右每十五分乃至三十分一小兒匙

### 妊婦產婦及褥婦急癇 Eklampsia gravidarum

et parturientum. エグランプシア、ケラウキダールム、エト  
バルチリエンチユム

**原因** 妊娠末期若クハ分娩中ニ起ル或ハ產褥中ニ起ル癲癇様發作ナリ  
**診候** 頭痛、眩暈、耳鳴、眼火閃發、瞳孔散大、呼吸困難若クハ中絶、  
心窩痞硬、嘔吐、顔面潮紅、直視、搐搦、痙攣、噴泡、人事不省ナリ  
發作ノ持續ハ十秒乃至六十秒或ハ其以上ナリ數分或ハ數時ヲ隔テ發作  
反覆シ遂ニ死亡スルコトアリ發作回數ハ二十回乃至三十回重キハ其以  
上ヲ常トス三四回反覆スル時ハ體温上昇シ時ニ四十度以上トナルコト  
アリ脈搏ハ發作ノ際ニハ殆ンド觸診シ難ク、間歇時ニ在テハ硬クシテ  
甚ダシク緊張ス、  
一般ニ蛋白尿アル時ハ尿量著シク減少ス

**豫後** 母體ニ於テハ二十乃至三十%ノ死亡、胎兒ニ於テハ五十%ノ死亡  
ヲ算ス

**療法** 頭部ノ氷罨法、冷水或ハ醋水洗滌、被包法（武雷篤氏病ニ於ケル  
如ク）發汗法（熱浴ハ攝氏三十八度乃至四十度ヨリ始メ漸々四十二度  
乃至四十五度ニ高メ斯ノ如クニシテ浴中ニ在ルコト半時間而後毛布ヲ  
用井テ全身ヲ被包シ二三時間褥中ニ温臥ス可シ）食鹽水注入下劑、冷  
水灌腸等一般ノ處方ナリ○發作前其前驅期ニ於テ麻醉藥ヲ用井ルノ猶  
豫アルトキハ「クロ、フォルム」ヲ嗅入セシメテ多クハ良効ヲ奏スルモ  
ノトス其他麻醉藥ニハ莫比ノ皮下注射、阿片ノ灌腸、抱水クロラール  
ノ内服或ハ灌腸等又用井テ効アルベシ○重症ニハ刺絡ノ力能ク起死ノ  
効ヲ奏スルコトアリ○當時既ニシテ分娩ノ傾向ヲ呈スルモノニハ分娩  
ヲ催進スルコトヲ務メ其他舌ヲ傷ケザル様注意スヘシ

- |                |       |                           |       |
|----------------|-------|---------------------------|-------|
| ゼニエツト鹽         | 二〇、〇  | ゴム合劑                      | 一〇〇、〇 |
| 溜水             | 一五〇、〇 | 右灌腸料（患者不安ナルトキハ<br>之レヲ反覆ス） |       |
| マンナ舍           | 二〇、〇  | 阿片丁                       | 一〇、〇  |
| 右調和每半時一食匙（下劑）  |       | 右二十滴ヲ一回ノ灌腸料ニ加ヘ            |       |
| クロ、フォルム        | 五〇、〇  | 每一時用ユベシ                   |       |
| 右嗅入料（醫親ヲ使用スベシ） |       | 亞硝酸アミール                   | 五、〇   |
| 抱水クロラール        | 二、〇   |                           |       |

### 妊婦產婦及褥婦急癇

茴香油 一〇、〇  
 右二乃至五滴布片ニ滴シ嗅入  
 鹽莫 〇、一  
 杏仁水 一〇、〇

阿片 右調和十五分時十五滴 〇、二  
 白糖 五、〇  
 右研和散十包ニ分チ每半時一包

**濕疹** Ekzema. エクゼマ

**原因** 化學的、温熱的、器械的刺戟、寄生菌、不潔、血行障礙、腺病性惡液、貧血、萎黃病、密尿病、等ニシテ頭皮、顔面、股間、臀部、乳房陰部、ニ來ルコト多シ

**診候** 急性慢性ノ別アレドモ皮膚ノ瘙痒灼熱腫起ニ始マリ次テ發生シタル帽針頭大ノ丘疹水泡ニ變ジ或ハ破潰シ或ハ軟痂ヲ結ビ後鱗屑ヲ生ジ終ニ治ス

**豫後** 良

**療法** 濕疹ヲ療スルニ當リテハ注意シテ局所療法ヲ行ヒ又々兼テ全身ノ状態ヲ診シ營養ノ障害、神經性症狀等アルトキハ又兼テ之ヲ治療セシコトヲ要ス、而シテ其局所療法ハ其部分ノ如何患部ノ大小炎症ノ状態等ニ從ヒ各異ナリ今其療法ノ大要ヲ舉ゲン○酒精劑ハ表皮ノ剝離ア

ル部ニハ用ユベカラス是レ疼痛ヲ發スレバ也○紅斑丘疹期ニ至リテハ撒布劑、酒精劑、塗布劑、卷法及冷却軟膏ヲ用井濕潤期ニ在リテハ撒布劑、卷法、バスタ及軟膏繃帶ヲ用井結痂期ニ在リテハ先ツ油劑ヲ以テ痂皮ヲ除キテ後藥劑ヲ用ユベシ鱗屑期ニ在リテハ「タール」劑ヲ用ユベシ

(一)急性濕疹ニハ

亞鉛華	五、〇	泥莖根末	各五、〇
澱粉	五、〇	滑石	二〇、〇
右撒布料		澱粉	一〇〇、〇
酸化亞鉛	五、〇	右撒布料	
滑石	五、〇	サリチール酸	一〇、〇
右撒布料		滑石	一〇、〇
酸化亞鉛	二、〇	右撒布料	
炭酸苦土	三、〇	次硝蒼	一〇、〇
白陶土	三、〇	滑石	一〇〇、〇
赤陶土	二、〇	右撒布料	
米澱粉	一〇、〇	テルマトール	一〇、〇
右撒布料		滑石	一〇〇、〇

濕疹

右外用	米澱粉	一〇、〇
	明礬末	二、〇
	亞鉛華	〇、五
	イリス根末	〇、五
右撒布料	炭酸マグネシウム	
	酸化亞鉛	各二、〇
	滑石	二、〇
小麥澱粉		二、〇
右撒布料	酸化亞鉛	二、〇
	炭酸マグネシウム	各三、〇
	白陶土	二、〇
	赤陶土	二、〇
米澱粉		一〇、〇
右撒布料		一〇、〇
薄荷腦		一、〇
イリス根末		一、〇
右撒布料		〇、二五
チモール		一〇、〇
酒精		一〇、〇
右塗布料(瘰癧甚ダシキトキニ用ユ)		
	石炭酸	一、〇
	酒精	一〇、〇
右塗布料(瘰癧甚ダシキモノニ用ユ)		
	石炭酸	一、〇
	酒精	一五〇、〇
	ラヘンデル精	一、〇
	ケルン香水	各二五、〇
	グリセリン	二、五
右塗布料(塗布後撒布劑ヲ用ユ)		
	亞鉛華	二、五
	澱粉或ハ滑石	各二五、〇
	グリセリン	二、五

酒精	一〇〇、〇
右塗布料(瘰癧甚ダシキモノニ用ユ、但シ顔面及陰囊ニハ用ユベカラズ)	
サリチール酸	一、〇
酒精	一〇〇、〇
右塗布料(瘰癧甚ダシキモノニ用ユ)	
サリチール酸	一、〇
酒精	一五〇、〇
ラヘンデル精	各二五、〇
ケルン精	二、五
グリセリン	二、五
右塗布料(塗布後撒布劑ヲ用ユ)	
硼酸	一、〇
酒精	一五〇、〇
ラヘンデル精	各二五、〇
ケルン精	各二五、〇
グリセリン	二、五
右塗布料(塗布後撒布劑ヲ用ユ)	
グリセリン	二、五
亞鉛華	各五、〇
稀薄醋酸鉛液	各五、〇
右一日二乃至三回塗布料	
二五%亞鉛華オリーブ油	一九、〇
イヒチカール	一、〇
右數回外用	
亞鉛華	各二五、〇
滑石	各二五、〇
グリセリン	各二五、〇
餾水	各二五、〇
右振盪シテ後塗布スベシ	
ツメノール	一〇、〇
酒精	一〇、〇
エーテル	一〇、〇

グリセリン	各三〇、〇	グリセリン	各一、〇
右塗布料	六、〇	酒精	二〇〇、〇
硼酸	二〇〇、〇	右塗布料	各二五、〇
餾水	四〇〇、〇	酸化亞鉛	五〇、〇
右鞣法料	四〇〇、〇	澱粉	一、〇
鉛水	四〇〇、〇	ワゼリン	一、〇
右鞣法料	四〇〇、〇	サリチール酸	一、〇
ブロー氏液	二〇〇、〇	右爲パスタ(ラッサル氏パスタ)	各一〇〇、〇
右鞣法料	二〇〇、〇	單鉛硬膏	各一〇〇、〇
レゾルチン	一、〇	亞麻仁油	各一〇〇、〇
餾水	一五〇、〇	右爲軟膏(ヘブラ氏軟膏)	各一〇〇、〇
右鞣法料	各二五、〇	單鉛硬膏	各一〇〇、〇
石炭酸	一、〇	ワゼリン	各一〇〇、〇
酒精	一五〇、〇	右爲軟膏(カボツ一氏單鉛ワゼリン軟膏)	各一〇〇、〇
ラベンデル精	各二五、〇	單鉛硬膏	三〇、〇
ケルン香水	各二五、〇	アラブリン	七〇、〇
右調和塗布料		右爲軟膏外用	
石炭酸			

酸化亞鉛	各五、〇	デルマトール	各五、〇
次硝蒼	各五、〇	亞鉛華	各五、〇
緩和軟膏	各四、五、〇	メラチン	各五、〇
單鉛膏	各四、五、〇	グリセリン	各三〇、〇
右爲軟膏外用		餾水	各三〇、〇
硼酸	三、〇	右爲膠劑外用(ローゼンタール)	五〇、〇
黄色ワゼリン(若クハ「ラノリン」)	三〇、〇	酸化亞鉛	五〇、〇
右爲軟膏外用(硼酸軟膏)		サリチール酸	各一五、〇
次硝蒼膏	三、〇	米澱粉	各一五、〇
黄色ワゼリン(若クハ「ラノリン」)	三〇、〇	グリセリン	七五、〇
右爲軟膏外用(次硝蒼軟膏)		餾水	各一〇、〇
デルマトール	各二四、〇	右調和煮沸シテ糊劑トシテ貼用	一、〇乃至三、〇
亞鉛華	二〇、〇	イヒチオール	一、〇乃至三、〇
澱粉	二〇、〇	グリセリン	各一〇、〇
黄色ワゼリン	二〇、〇	デキストリン	各一〇、〇
右爲パスタ外用		餾水	各一〇、〇
		右熱シテ軟膏ニ作ル	一〇、〇
		亞鉛華	一〇、〇

白膠 各三〇〇、〇  
 グリセリン  
 餾水 右爲膠劑外用(ウンナ氏亞鉛膠) 三、五  
 醋酸鉛 粗製明礬 一〇、〇  
 右調和濾過シテ水一〇〇〇、〇  
 ナ加ヘ鞣法料トス(ブロー氏液)  
 澱粉 一〇、〇  
 グリセリン 四〇、〇  
 右調和煮沸シテ「クレーム」トナ  
 シ外用(グリセリン、クレーム)  
 白降汞 〇、五  
 ラノリン 一〇、〇  
 右爲軟膏外用  
 酸化亞鉛 二、〇  
 豚脂 八、〇  
 右爲軟膏外用

酸化亞鉛 五、〇  
 安息香末 一、〇  
 豚脂 三〇、〇  
 (右調和軟膏ウキルソン氏軟膏)  
 木タール 各一〇、〇  
 綠石鹼 酒精 各一〇、〇  
 右外用  
 木タール 各一五、〇  
 酒精 右外用  
 木タール 各一五、〇  
 肝油(若クハ「オレフ」油各二〇、〇)  
 右外用  
 木タール 三、〇  
 トラウマチチン 三〇、〇  
 右外用  
 木タール

酒精 各二五、〇  
 エーテル  
 迷迭香油  
 丁香油 各一、〇  
 ヘルガモツト油 右調和外用(ヘブラ氏タール丁  
 幾)  
 木タール 三、〇  
 ビック氏擦劑 三〇、〇  
 右調和擦劑外用  
 木タール 〇、三乃至三、〇  
 亞鉛華バスタ 三〇、〇  
 右調和爲軟膏外用  
 (二)慢性濕疹ニハ  
 サリチール酸 一〇、〇乃至二〇、〇  
 石鹼硬膏 一〇〇、〇  
 右調和爲硬膏外用(ビック氏サ  
 リチール酸石鹼硬膏)

綠石鹼 一〇〇、〇  
 酒精 二〇〇、〇  
 ラヘンデル油 各三、〇  
 ヘルガモツト油 右混和濾過シ洗滌料(ヘブラ氏  
 カリ石鹼精)  
 朱 一、〇  
 昇華硫黃 二四、〇  
 ヘルガモツト油 二十五滴  
 黃色ワゼリン 七五、〇  
 右爲軟膏一日二回塗布料  
 赤降汞 〇、一五  
 緩和軟膏 一〇、〇  
 右爲軟膏外用  
 硫酸亞鉛 〇、一五  
 カリセリン 各一〇、〇  
 餾水 右栓塞ニ浸シ患部貼用

亞鉛華	〇、一五	右混和塗布料	三、〇
水製阿片越	〇、〇二	サリチール酸	五、〇
(或ハ「ベラドンナ越幾斯〇、〇		精製硫黃	六、〇
二若クハ「コカイン」〇、〇一五)		カリ石鹼	三、〇
カ、カ酪	一、五	右爲石鹼劑洗滌用	
寄生濕疹ニハ		サリチール酸	三、〇
昇汞	〇、二	木タール	
ケルン香水	五〇、〇	酒精	
酒精	一五〇、〇	エーテル	各五〇、〇
右混和塗布料		右調和一日數回塗布料	
レゾルチン	五、〇	シゾルチン	各二、〇
薄荷腦	二、〇	サリチール酸	五〇、〇
ベルガモット油	二、五	酒精	
酒精	二〇〇、〇	右塗布料	

頑癬

Eczeema marginatum.

エクトン、エマールギナツム

原因 「トリヒヨヒートン、トンスランズ」ト名クル寄性菌ノ傳染ニ因ス生

殖器、臀部等ニ來ルコト多シ

診候 赤褐色ノ丘疹若クハ水泡ニシテ多ク輪形ヲナシ中央ハ漸々剝屑スルニ從ヒ次第ニ周圍ニ蔓延シ癢痒甚タシク極メテ頑固ナルモノニシテ陰囊、股間、臀部、生殖器、腋窩等ニ來ルコト多シ

豫後 良

療法 癢痒ニハ綠石鹼或ハ「カリ」石鹼精或ハ流動グリセリン石鹼ヲ以テ洗滌スルカ或ハ左ニ掲グル藥劑中何レカ其一ヲ用ユベシ

苛性カリ	一、〇	ヲノリン	三〇、〇
餾水	二〇〇、〇	ワゼリン	二〇、〇
右毎日二回塗擦料		右調和軟膏ニ作ル	
石炭酸	五、〇	クロ、フアルム、グツタベルカ溶液	三〇、〇
オレフ油	一〇〇、〇	クリサロビン	三、〇
右調和塗擦料		右調和塗擦料	
石炭酸	五、〇	沒食子酸	三、〇
濃厚酒精	一〇〇、〇	單軟膏	一〇、〇
右調和塗擦料		右調和軟膏ニ作ル	
クリサロビン	五、〇		



没食子酸 二、〇  
 グリセリン 五、〇  
 酒精 一〇〇、〇  
 右調和塗布料  
 ヒドロナキシユルアミン、 各〇、三  
 ヒドロクロラール 各〇、三  
 アルコホル 一〇〇、〇  
 右調和炭酸石灰適宜ヲ加ヘテ中  
 性トナシ塗布料  
 硫黃乳 五、〇  
 ナフトール 一、〇  
 カリ石鹼精 二〇、〇  
 アルコホル 一〇〇、〇  
 グリセリン 二、五  
 右調和塗擦料  
 昇汞 一、〇  
 再留酒精 二〇〇、〇  
 右調和塗擦料(注意スベシ)

サリチール酸 一、〇  
 酒精 三〇、〇  
 右塗布料  
 ナフトール 一、〇  
 酒精 一〇〇、〇  
 グリセリン 五、〇  
 右調和塗擦料  
 昇華硫黃 各二〇、〇  
 山毛櫟油 各二〇、〇  
 白堊 各二〇、〇  
 綠石鹼 各四〇、〇  
 豚脂 各四〇、〇  
 右調和粗毛筆ヲ用キテ塗擦ス  
 (是即チ改良ウイルクソン氏  
 軟膏ニシテ六日間朝夕塗擦後綿  
 花或ハ毛布ヲ以テ患部ヲ被フベ  
 シ)

### 腦動脈血塞及血栓

Thrombose und Embolie  
der Hirnarterien. トロンボーズ  
エンボリー

**原因** 徽毒、腎臓炎、アルコホル中毒、鉛中毒ハ腦動脈ノ血塞ヲ生ス多  
 クハ高齢ナリ血栓ハ大動脈瓣或ハ僧帽瓣ノ瓣膜ニ生シタル血塞或ハ大  
 動脈硬化部或ハ大動脈瘤内ノ血塞ノ小片其部ヲ離レテ腦動脈内ニ流入  
 シテ侵入スルニ由リテ生ス  
**診候** 腦溢血ノ症候ニ類シ血塞ニ於テハ徐々ニ發シ血栓ニ於テハ俄カニ  
 發ス腦溢血ノ條ヲ参照スベシ  
**豫後** 不良  
**療法** 徽毒ニ因スルモノハ有力ナル驅徽法ヲ行フベシ其他腦溢血ノ療法  
 ニ同シ

### 肺氣腫

Emphysema pulmonum.

エンファイゼマ  
プルモヌーム

**原因** 慢性氣管支加答兒、喘息、麻疹、百日咳、經久咳嗽、肺ノ使用過  
 度ニ係ル氣胞ノ病的膨脹ニシテ四十年以上ノ人ニ多シ  
**診候** 呼吸困難(殊ニ呼氣)、心濁音部ノ清音、肺下界延長、肺前縁呼吸

腦動脈血塞及血栓 肺氣腫

音ノ減少若シクハ消滅、慢性氣管支加答兒ノ症候及ヒ胸部ノ西洋樽形ノ擴張

豫後 合併症ナキトキハ豫後良但シ全治スルコト難シ

療法 氣管支加答兒療法ヲ主トシテ有害ノ物體ハ盡ク之ヲ避ケ飲食ノ攝生ヲ專ニスベシ○喘息發作中ハ胸部ノ摩擦法或ハ氣管誘導法ヲ行フ○空氣療法器ヲ用井テ濃厚ナル空氣ノ吸入及ビ空氣中ニ其排出ヲ爲サシムルノ法アリ○夏季ニハ杉松等ノ樹林中ニ居セシメテ可ナリ

吐根浸 (〇、五)一八〇、〇

杏仁水 八、〇

單舍 二〇、〇

右一日六回二日分服

チオニン 〇、三

杏仁水 一五、〇

右一日三回十五滴宛

ケブラツチヨ丁 三〇、〇

右毎日二乃至三回一茶匙

黃岩越 〇、一

吐根末 〇、三

白糖 五、〇

右十五包ニ分チ一日三回每一包

ヒヨス越 各〇、二

金硫黃 三、〇

重曹 〇、〇五

右十二包ニ分チ一日三回每一包

鹽酸アポモルヒ子 〇、〇五

甘草末及越 適宜

右丸五十粒ニ作り一乃至三粒

氣管支加答兒ノ劇甚ナラザルトキハ

礫砂 二、〇 適宜

甘草越及末 〇、〇一

右五十丸ニ作り朝夕每五丸

硝酸ストリキニー子 一〇〇、〇

單舍 一〇〇、〇

右調和一日二乃至四回每一食匙

法水 〇、五

法水 二五〇、〇

右調和吸入料

沃剝 二、〇

苦丁 三、〇

餹水 二〇〇、〇

右調和一日三回二日分

便秘ヲ兼ヌル症ニハ「センナ」、苦水、大

黄チ與フ

心臟ノ侵サレタル時ハ「チギタリス、

カフエイン及、ストロファンツス」等チ

用ヒ老衰性ノモノニハ酒類チ與ヘ時ト

シテ鐵劑チ與フ乾性氣管支加答兒ニハ

蒸氣吸入、濕性ニシテ多量ノ分泌物ア

ルモノニハ「テレピンチン」油チ吸入

セシム咳嗽ニ對シテハ麻酔藥チ與フ

下肢ニ水腫チ來タセルトキハ左ノ「ピ

ロカルピン」皮下注射等實用スル所ナ

リ然レトモ心臟衰弱ノ兆アルトキハ最

モ使用ニ注意スヘシ

ピロカルピン 〇、二

餹水 一〇、〇

右調和其半筒皮下注射

ヤボランヂ葉浸(五、〇)一〇〇、〇

右一回ニ服用

水腫チ排斥スル細少套管針ノ用法ニ就

テハ腹水ノ條下ヲ見ヨ○衰弱シタルモ

ノニハ左ノ緩性鐵劑チ與ヘテ効アリ

水素還元鐵

硫規 蒲公英越

右四十粒ニ作り晝夕食後每一二

各二、〇 適宜

又横隔膜神經ニ感傳電氣ヲ通ズルコトアリ其他尙ホ呼吸困難ノ條下參酌

### 急性心臟内膜炎

Endocarditis acuta.

エンドカルヂチス、アクト

**原因** 潰瘍性心内膜炎及疣贅性心内膜炎ノ二種ハ急性關節癱瘓質斯、外傷性傳染(産褥熱、化膿セル創傷等)急性傳染病(急性關節癱瘓質斯、猩紅熱稀ニハ淋疾等)ヨリ發ス牽縮性心内膜炎ハ又々慢性内膜炎ト稱ス疣贅性ノモノニ續發シ或ハ飲酒過度、梅毒、慢性腎臟病、痛風、糖尿病ニ併發ス

**診候** 潰瘍性心内膜炎ハ或ハ窒扶斯狀ニシテ稽留性熱、無慾狀態、舌乾燥被苔、脾腫薔薇疹ヲ發シ或ハ間歇熱ノ發作ノ如キ狀ヲナシ又々諸臟器ニ轉移性膿瘍ヲ發ス其他皮膚、粘膜ニ栓塞ヲ來タシ溢血ヲ呈ス瓣膜ノ障害アレバ雜音ヲ聽取ス○疣贅性ノモノハ其初メ其發生ヲ知ラザルコト尠カラズ體温ハ間々上昇シ心悸亢進、心尖ニ於ケル收縮期吹聲音ニ心濁部ノ擴張、第二肺動脈音ノ強盛、諸臟器ノ栓塞等豫後 疑、潰瘍性ハ不良、疣贅性ハ良ナルコトアリ

**療法** 對症的ノ者ニ外ナラズ即チ解熱藥ノ内服、心部ノ氷罨法又脈搏頻數ナル者ニ「ヂキタリス、硝酸カリウム、心臟麻痺ノ虞アルトキニ興奮劑、肺水腫ノ虞アルトキハ刺絡ヲ施ス等此類ナリ且ツ可及的原病療法ニ注意シテ即チ心内膜面ノ纖維性滲出物ヲ溶解スルガ爲メ百倍或ハ五十倍ノ重碳酸「ナトリウム」水吸入法等ヲ行フガ如キコトヲ怠ル可ラズ其他バンベルゲル氏ハ血液ノ「アルカリ」性ナルト纖維素ニ有効ナルトヲ以テ近來頻リニ左方ヲ賞用ス

サリチール酸ナトリウム	一、〇	カムフル	二、〇
右爲一包「オプラート」ニ包ミ		オレーフ油	二〇、〇
日三回一包宛		右皮下注射料一筒宛	
炭酸ナトリウム	一、五	ヂキ浸	(〇、五—一、〇)二〇〇、〇
溜水	二〇〇、〇	ストロファンツス丁	一、〇
右吸入料一日三四回毎回十五分		單舍	一〇、〇
時間		右一日三乃至六回分服	
カムフル	〇、二	ヂキ浸	(一、〇)二五〇、〇
白糖	〇、五	醋剝	一、〇
右爲一包與六包一日三回一包宛		單舍	一五、〇

急性心臟内膜炎

右毎二時一食匙

ザキ末 一、〇  
白糖 二、〇  
右散分六包毎日三包  
ストロファンツス丁 二〇、〇  
右毎日三回十乃至二十滴  
卵黄 二個  
フランデー酒 三〇、〇  
單舎 二〇、〇  
餉水 一、二〇、〇

右一日六回二分服

キナ煎 (一〇、〇) 一八〇、〇  
フランデー酒 四〇、〇  
單舎 二〇、〇  
右一日六回二分服  
潰瘍性心臓内膜炎ニハ左方  
鹽規 五、〇  
昇汞 〇、二  
蜀葵根末 適宜  
右爲二十九日三回食後一粒宛

### 子宮内膜炎

Endometritis. エンドメトリチス

**原因** 淋毒、妊娠、分娩、産褥、子宮疾患殊ニ轉位、變形及新生物殊ニ筋腫ニ來ル又ペッサリユーム消息子ノ不潔ナルモノ其他窒扶斯、痘瘡、虎列拉、燐中毒、慢性心臓疾患、手淫、感冒、月經時ノ不攝生等ナリ  
**診候** 急性症ハ惡寒、發熱ヲ以テ初マリ骨盤内壓重ノ感アリ稀薄漿液性、後ニハ膿性ノ液ヲ漏泄ス、消息子ヲ挿入スレバ劇甚ノ疼痛ヲ發ス、慢

性症ノ主徴ハ月經時血量增加月經時外出血及分泌ノ變化(硝子様粘液或ハ膿汁ヲ有スル硝子様粘液或ハ膿汁)下腹部ノ疼痛ナリ消息子ヲ通スルニ疼痛ヲ發ス其他頭痛、食意缺損、消化不良、神經性胃痛ヲ兼ヌルコトアリ精神鬱憂ヒステリーヲ併發スルコトアリ

**豫後** 合併症ナキ時ハ良 **治療法** 急性非産褥性ノ者ニハ交接ヲ禁ジ、安臥、緩下劑、温坐浴、腹部ノ「プリスニッツ」氏巻法、微温消毒液ヲ以テ腔灌注法ヲ行ヒ腔坐藥ヲ與フ

鹽莫(荳蔻越) 〇、一  
カ、カ脂 三〇、〇  
右腔球十個ニ作り二十四時内ニ二乃至四個ヲ用ユ  
荳蔻越幾斯 一、〇  
阿片越幾斯 二、〇  
灰白軟膏 一〇、〇  
ワゼリン 二〇、〇  
右爲軟膏下腹部ニ塗擦スヘシ

慢性内膜炎ニ在テハ石炭酸水リゾール水昇永水(五千倍)等ヲ以テ子宮ヲ洗滌シ「タンニン」酸、硼酸、石炭酸、昇永、沃丁、過クロール鐵液ヲ子宮消息子及ビ腔「タンボン」ニ由テ塗布ス  
頑固ナル症ニ在テハ子宮内腔ヲ搔爬シヨードフォルム綿紗或ハ十%ノ「エーテル」、アリストール綿紗ヲ以テ子宮腔ヲ閉塞ス但子宮周圍ノ膿竈、子宮外膜

或ハ子宮周圍炎性滲出物等有ルモノニ  
ハ搔爬術ヲ禁ズ又八日ヲ經テ六乃至十  
二回反覆スルトコロノ「クロール亞鉛  
(ウキンケル氏ハ五%ラインステッテル  
氏ハ五十%ノ液ヲ用ユ)腐蝕法モ亦甚  
ク有力ナリ子宮頸内膜炎ニ於テハ其糜  
爛面ニ「イヒチオール」ヲ塗布ス又初  
メ搔爬ヲ行ヒ後「イヒチオール」ヲ塗布  
ス

鹽酸ヒドラスチニン 一、〇  
餛水 一〇、〇

右半筒乃至一筒皮下注射(内膜  
炎性子宮出血)  
鹽酸ヒドラスチニン 〇、五  
甘草末及甘草羔 適宜

右十九ニ作り毎日一乃至二粒  
(出血アルノ際二粒宛出血ヲ豫  
期スル場合ニハ一粒宛

クロール亞鉛 各二〇、〇  
餛水 右調和(プーレフェール氏消息  
子塗布用)

ピンクス氏蒸氣腐蝕法ハ同氏ノ腐蝕器  
ヲ用ユ槽内ノ温度ハ列氏百〇五度以上  
百十五度ヲ以テ充分ナリトス其ノ腐蝕  
時間ハ十秒乃至三十秒ニテ足ル此ノ時  
間ヲ經過セバ器ノ活栓ヲ廻轉シテ槽内  
ノ蒸氣ヲ子宮内ニ進入スルヲ遮斷ス以  
テ該器ヲ除去シ冷水ヲ以テ腔部ヲ洗滌  
ス術後患婦ヲシテ兩三日間靜臥セシム

### 遺尿症

Enuresis nocturna. エスレシス、ノクツルナ

#### 原因

全身虛弱、包莖、咽頭腔ノ疾病、消化器病、腸蟲

#### 診候

夜間睡眠中褥内放尿

#### 豫後

良

#### 療法

原因ヲ探查シテ之レヲ除クベシ其他患兒ニ夕刻飲料ヲ制限シ就眠  
前必ス放尿セシメ貰蓉劑等ヲ内服セシメ寢臺ノ足ニ當ル部分ヲ少シク  
高クシテ骨盤ノ高位ヲ生セシメ仰臥ヲ禁シ可及的夜間一回起床放尿ヲ  
ナサシムベシ其他一盤強壯療法ヲ行ヒ冷水摩擦、冷水澆注、海水浴ヲ  
行ハシメ又電氣療法(二個ノ中導子即チ二十平方仙迷ノモノ或ハ大導  
子即チ幅五乃至六仙迷長サ十乃至十二仙迷ノモノヲ取り積極導子ヲ腰  
若クハ會陰ニ貼シ消極導子ヲ恥骨縫際ノ上方下腹部ニ壓入スベシ而シ  
テ中等度ノ電流ヲ通スルコト二三分間ヲ要ス感傳電氣ヲ用ユルトキモ  
導子ノ貼用平流電氣ニ同シ)按摩法(示指ヲ直腸内ニ挿入シ膀胱頸部ヲ  
壓迫スベシ)ヲ用ユ

貰蓉越 〇、〇〇四  
白糖 〇、三

右爲一包毎夜就褥前一包(四歲  
ノ小兒)年齢ニ從ヒ増量ス

臭曹 各二、五  
アロームアムモニウム 一〇〇、〇  
餛水 右毎夕一食匙牛乳ニテ用ユ

臭剝 三、〇  
 苦丁 一、五  
 單舍 一〇、〇  
 餾水 一〇〇、〇  
 右一日六回二日分服

臭剝 四、〇  
 餾水 五〇、〇  
 單舍 二〇、〇  
 右毎日三回一小兒匙宛（六歳ノ小兒）

臭剝 三、〇  
 苦丁 一、五  
 單舍 一〇、〇  
 餾水 一〇〇、〇  
 右一日六回二日分服

忽布腺 〇、五

夏日斑

Ephelides.

エフェリデス

白糖 五、〇  
 右研和散十包ニ分チ朝夕每一包

エルゴチン 一、〇  
 餾水 八〇、〇  
 單舍 二〇、〇  
 右每三時一小兒匙

忽布腺  
 含糖炭酸鐵  
 白糖 各六、〇  
 右毎日三回一刀尖宛

硝酸ストリキニーチ 〇、〇二  
 蒸餾水 一〇、〇  
 右薦骨部ニ四分一筒乃至壹筒注射但シ小兒ニハ二滴ヨリ始ムベシ

原因 遺傳

診候 顔面及ヒ手背ニ發スル褐色ノ小班ナリ夏日著明ナルモ冬日ハ脱色ス

豫後 良

療法 顔面ニ瀰蔓セル夏日斑ニ在テハ患部ニ昇汞〇、五餾水五〇、〇ヲ布片ニ浸セル者ヲ以テ四時間濕潤セシムベシ之ニ併發スル炎症ハ冷罨法ニヨリ緩解ス又水泡ハ側壁ヲ穿刺シテ内容ヲ漏ラシ局部ニ米澱粉ヲ撒布スベシ此強劇ナル療法ニ代フルニ一%昇汞石鹼ヲ以テ皮膚ヲ日々數回洗滌シ而シテ毎夕左方ヲ患部ニ塗擦スベシ

サリチール酸 二、〇  
 綠石鹼 三、〇  
 シゼリン 二〇、〇  
 右調和軟膏ニ作ル

持續性使用ニハ左ノ方ヲ可トス

昇汞 〇、五  
 扁桃乳劑 三〇、〇

安息香丁 一、五  
 右混和顔面ニ毎夕塗擦スベシ

硼砂 一五、〇  
 ケルン香水 二〇、〇  
 餾水 一三〇、〇  
 右同上

硼砂 一五、〇

夏日斑

- 炭酸カリ 五、〇
  - 薔薇水 各八〇、〇
  - ケルン香水 右調和毎夕塗擦シ翌朝拭去ス
  - 酸化亞鉛 各三、〇
  - 次硝蒼 各三、〇
  - 白降汞 三五、〇
  - ワゼリン 右調和軟膏ニ作り毎夕塗擦
  - 白降汞 各五、〇
  - 硼砂 五〇、〇
  - 緩和軟膏 各五滴
  - 薔薇油 右調和軟膏ニ作ル
  - 橙花水 一五、〇
  - 硼砂
- 
- 炭酸カリ 五、〇
  - 橙花水 各七五、〇
  - ケルン香水 右調和外用
  - 滑石 各三、〇
  - 酸化亞鉛 一五、〇
  - 沈降硫黃 一、〇
  - 精製龍腦 五、〇
  - アラビアゴム末 各一〇〇、〇
  - 石灰水 二、〇
  - 薔薇水 一、〇
  - 右調和外用 五〇、〇
  - ナフトール
  - グリセリン
  - カリ石鹼精
  - 右調和外用

### 副睪丸炎

Epididymitis.

エビチヂミチス

**原因** 専ラ淋毒稀ニ結核、外傷、膿毒症、痘瘡、梅毒

**診候** 淋性ニ在テハ腫起疼痛急劇ナレドモ結核性ニハ大抵疼痛ナク慢性ニシテ頑固ノ膿瘍ニ陥ルコト少ナカラズ其他發熱輸精管炎精系部及ビ鼠蹊線ノ腫起劇痛ヲ合併スルコトアリ

**豫後** 淋毒性ハ良、結核性ハ不定、剔出ニヨリ治シ或ハ不良ナリ

**療法** 淋毒性副睪丸炎ニ於テハ直ニ靜臥ヲ命シナイセル氏提翠帶等適宜ノ方法ニ由テ睪丸ヲ高舉温罨法或ハ琶布ヲ用ユ温熱ヲ不快ニ感ズルトキハ冷罨法トス下劑及ビ酸性飲料ヲ投ジ且ツ飲食ノ攝生ヲ嚴ニシ劇痛ニハ鎮痛軟膏ノ塗布或ハ「モルヒ子」ノ内服若クハ皮下注射ヲ試ミ或ハ淋疾ニ對スル尿道注射ヲ停止シ而シテ第二日或ハ第三日ヲ經ルノ後ヨード劑ヲ外用ニ供シテ効アリ、結核性ノモノハ速ニ剔出ス可シ〇外傷性ニハ安靜提翠帶罨法〇梅毒性ニハ驅梅毒法(汞劑及ヨード劑)

**撒曹** 一、〇

右爲一包與六包一日三回一包宛

ザロール 〇、五乃至一、〇

右爲一包與六包一日二回一包宛

ブロー氏液 三〇〇、〇

右鞞法料

次醋酸鉛液 五、〇

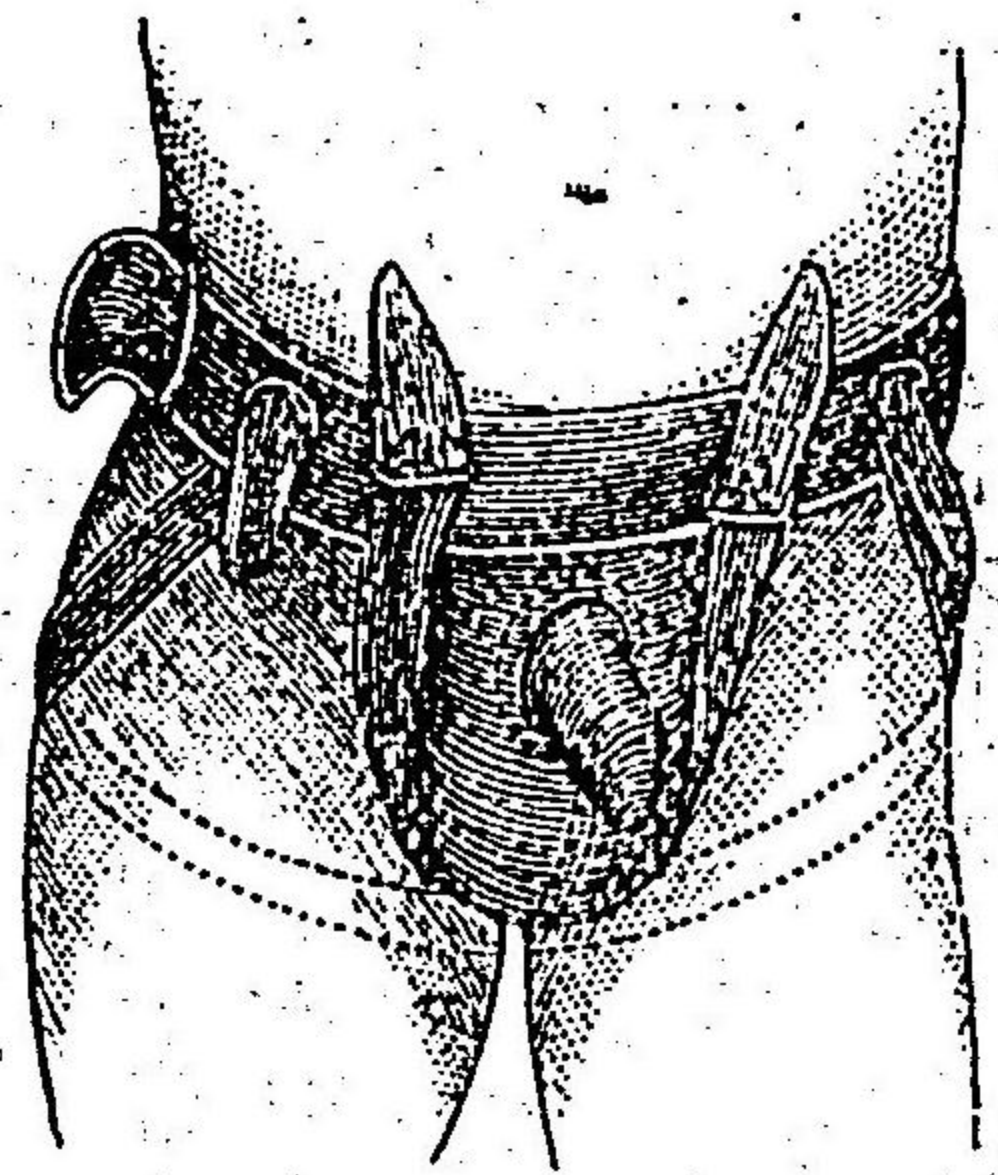
餽水 二〇〇、〇

右調和鞞法料

鹽酸ヘロイン 〇、〇一

### 副睪丸炎

乳糖 〇、五  
 右爲一包與六包一日三回二分  
 鹽莫 〇、〇一  
 乳糖 〇、五  
 右爲一包與三包一日乃至三包  
 鹽莫 〇、〇二  
 カ、オ脂 二、〇  
 オレーフ油 適宜



ナセイル氏提翠帶

右坐藥一個トナシ二個ヲ與フ毎  
 夕一個  
 副寧丸及ビ精系ノ部ニ發スル放腺狀ノ  
 劇痛ニハ 荳若越確實ノ効アリ  
 荳若越 二、〇  
 フゼリン 二、〇  
 右調和軟膏ニ作り陰囊塗擦  
 荳若越 五、〇  
 ヘブラ氏軟膏 三、〇  
 右調和軟膏ニ作り陰囊塗擦  
 ガアヤコール 二、〇  
 フゼリン 二、〇  
 右外用  
 イヒチオール 二、〇  
 グリセリン 二、〇  
 右混和外用  
 ヨードフォルム 一、〇  
 フゼリン 三、〇

第二十五圖

右調和軟膏ニ作り陰囊塗擦  
 ヨードフォルム 一、〇  
 純ヨード 〇、一  
 フノリン 二五、〇  
 右調和軟膏ニ作ル  
 沃度丁幾 各一〇、〇  
 五倍子丁幾  
 右塗布料  
 荳若越

阿片越 各一、〇  
 單軟膏 二〇、〇  
 右外用  
 ヨードワゾーゲン 二〇、〇  
 右外用  
 沃剝 二、〇  
 苦丁 三、〇  
 留水 二〇〇、〇  
 右一日三回二分服

癲癇 Epilepsie. エピレプシー

**原因** 腦脊髓ノ疾患、神經癒着部癍痕ノ刺衝機旺盛、遺傳、心身過勞、  
 勞働、恐怖、手淫、房事過度、腸蟲、便秘、腺病、暴飲、梅毒、鉛中  
 毒等ナリ  
**診候** 發作間歇性ノ全身痙攣、卒倒、人事不省、口内泡沫、顔面暗赤、  
 瞳孔散大等  
**豫後** 發作中死スルコト稀ナリト雖凡全治スルコト甚ダ稀ナルガ故ニ不



良

療法 凡テ其發作ノ誘因トナル可キ事項ヲ避クルコト必要ナルガ故ニ精神及ビ身體ノ過勞ヲ慎ミ常ニ全身症狀ニ注意ス可シ○發作時ニハ全身ニ損傷セザル様注意ヲ加ヘ被服ヲ除キ舌ノ嚙傷ヲ防護スルガ爲メニハ齒列間ニ布片ヲ以テ纏絡セル長キ物體ヲ挿入シ發作時及ビ發作後ニハ凡テ患者ヲ煩ハス可キ事物ヲ避ケザル可カス若シ其原因梅毒或ハ鉛中毒ニ在ルヲ認ムルニ於テハ其療法ヲ施ス可シ

プロームカリウム

一〇、〇

右分十包毎日二乃至八包

餽水

一八〇、〇

臭剝無効ナルトキハ左方

橙皮舎

二〇、〇

硫酸アトロピン

〇、〇〇〇五

右一日三回毎食後二日分服

プロームナトリウム

餽水

各一〇、〇

右甘草越及ビ同末適宜ヲ以テ丸

餽水

三〇〇、〇

亞鉛華

五十粒ニ作り毎日一粒

茶劑ニテ用ユ

一〇、〇

白糖

右研和散四包ニ分チ朝夕每一包

酸化亞鉛

各五、〇

緬草越

二、〇

右一日三回二日分服

岩薺越

適宜

硝酸銀

〇、五

緬草根末

各〇、〇六

泥莖根末及同越

各適宜

右百丸トシテ毎日一乃至三丸

酸化亞鉛

各〇、〇六

發作頻數ナルニ於テハ抱水クローラル

ヒヨス越

二、〇

シテ用ユベシ

緬草根末

一滴

癩癩ノ前兆ヲ現ハセルニ臨テハ直ニ食

緬草油

四、〇

鹽一茶匙ヲ投シ以テ其發作ヲ防遏スル

硃砂

二〇、〇

コト有リ又亞硝酸アミール(五滴乃至

橙皮舎

二〇、〇

八滴)ヲ吸入セシメテ其發作ヲ防遏ス

餽水

二〇〇、〇

ルコトヲ得ル者多シ(顔面蒼白トナル

モ)

### 衄血

Epistaxis

ヒヨスタキシス

原因 常習、鼻梁打撲、鼻加答兒、頭部鬱血、或ハ結核初期、經閉、白血病、血友病、紫斑病、壞血病、左心肥大、窒扶斯、麻疹、痘瘡、猩紅熱及傳染病ノ初期

衄血

療法

出血スル鼻腔ハ氷水或ハ醋水ヲ注入スルヲ宜トス（温湯ノ注入ハ  
輒今大ニ賞用スル所ナリ）然レドモ出血劇甚ニシテ普通ノ方法ヲ以テ  
能ク之ヲ防止スルコト難キニ於テハベロツク氏管ヲ用井テ鼻腔ノ栓塞  
止血法ヲ施ス

粗製明礬末

二〇、〇

繭水

一〇〇、〇

繭水

五〇、〇

右棉花球ニ浸シ鼻粘膜ニ塗布ス

右調和嗅入料（屢々尋常ノ白血

ニ罹ル者ニ用キテ効アリ）

硫酸亞鉛

一、〇

コロホニーム末

各一〇、〇

粗製明礬

二、〇

アラビアゴム末

各一〇、〇

繭水

五〇、〇

明礬

各五、〇

右調和嗅入料

阿仙藥

各五、〇

過クロール鐵液

一、〇

右同上

繭水

一〇〇、〇

五倍子丁

各五、〇

右調和鼻腔内注入料

阿仙藥丁

各五、〇

フェリピリン 一八、〇乃至二〇、〇

右鼻粘膜塗布料

齒齦息肉

Epulis.

エプリス 一名齦贅

原因

齦齒等ノ刺戟ヲ專ラナリトス

診候

齒齦ヨリ生ズルモノニシテ其部ノ齒牙脱落ヲ來ス多クハ有莖ニシ  
テ菌狀ナリ

療法

鈹或ハ刀ヲ用井テ其息肉ヲ切除シ或ハ硝酸銀ノ腐蝕法ヲ行ヒ或ハ  
「ヨード」丁幾ヲ塗布シ含嗽水ヲ用ユ〇出血或ハ潰瘍ニハ濃厚ナル腐蝕  
藥ヲ塗布ス

ヨード丁

各一〇、〇

繭水

一〇、〇

酒精

各一〇、〇

右調和塗布料

石炭酸

〇、一

過クロール鐵液

五、〇

酒精

二〇、〇

右調和塗布料

右調和塗布料

一、〇

沃丁

各五、〇

右調和塗布料

五倍子丁

各五、〇

結晶硝酸銀

一、〇

右塗布料

丹毒

Erysipelas. エリシペラス

原因

醗膿連鎖狀球菌ノ損傷部ヨリ侵入スルニ因ル

診候

卒然寒戰ヲ發シ體温暴騰シ而テ四十度内外ニ達シ頭痛、倦怠、

食慾不振、悪心、嘔吐等ヲ發シ重症ニハ謔語而シテ皮膚創傷部ノ近圍ニ紅斑灼熱疼痛、腫脹往々水疱ヲ形成スルコトアリ該斑ハ益々蔓延ス其早キハ一日二十仙迷ノ外ニ蔓延ス經過六日乃至十日重症ハ合併症ニ由テ死ス

豫後 概テ良ナルモ諸種ノ危険症ヲ續發スル虞アルヲ以テ注意ス可シ  
療法 其狀態ニ注意シ靜臥ヲ命ズ其中度ニ於テハ冷罨法又高度ニハ氷罨法ヲ行フ温罨法ハ病勢減退後始メテ之ヲ行フ其他酸性飲料ヲ投シ必要ナル場合ニハ又下劑ヲ用ユ或ハ油劑若クハ脂肪ノ塗布ヲ行フ虚脱ニハ濃厚咖啡煎、葡萄酒、樟腦、麝香等ヲ與フ或ハ五十倍乃至三十倍ノ石炭酸溶液ヲ各六「センチメートル」ノ距離ニ限界スル健康皮膚部ニ皮下注射スルコト有リ又ウエルフレル氏ハ病毒ノ蔓延ヲ防カンカ爲メ患部近圍ノ健康ナル皮膚ニ一拵幅許ノ絆創膏ヲ輪形ニ貼シテ其効アリト云フクラスケ氏ハ局部ノ亂刺及ヒ五%石炭酸ノ壓定巾ヲ使用セリ又其ノ他近年血清療法及ビ「デシンヘクトール」ヲ稱揚スルモノアリ  
イヒチカール 各一〇、〇  
ワセリン 各一〇、〇  
右塗擦料一日二乃至四回  
イヒチカール

エーテル	各五、〇	右調和皮下注射料	二、〇
コロザウム	一〇、〇	麥角越	八、〇
右塗布料		グリセリン	
イヒチカール	各八〇、〇	右調和皮下注射料(二乃至四箇)	五〇、〇
澱粉	二、〇	チゲノール(純)	五〇、〇
蛋白	四〇、〇	右塗布料	
留水		ザケール	
右塗布料(ウンナ氏劑)	一〇、〇	エーテル精	各一〇、〇
レゾルチン	三〇、〇	コロザウム	二〇、〇
豚脂	五、〇	右塗布料	
右爲軟膏一日四回塗擦料	一〇、〇	次醋酸鉛液	一〇、〇
レゾルチン	各二五、〇	留水	二〇、〇
酒精		右罨法料	
留水		石炭酸	各一、〇
グリセリン		酒精	二、〇
右一日五回塗布料(頭髮部丹毒)		テレピン油	五、〇
石炭酸		グリセリン	
留水		右調和塗布料(毎二時一回)	

遊走性丹毒或ハ體力衰脱ノ者ニハ左方

硫規 一、〇  
白糖 二、〇

右研和散五包ニ分チ毎日三包

樟腦 〇、二  
白糖 二、〇

右研和散五包ニ分チ毎三時一包

### 紅斑 Erythema. エリテマ

**原因** 放射熱或ハ尿汗等分解物ノ刺戟、中毒、創傷、火傷、凍傷、小兒熱、腸蟲、齒牙發生、痘瘡、又タ流行性ニ發スルコトアリ

**診候** 皮膚表層ノ充血斑ニメ多クハ腹部、内股、手足ノ背面部等ニ發ス

指壓ニ依テ退消スル灼熱ノ感アリ間々發熱スルコトアリ

**療法** 單純或ハ複合ノ撒布藥ノミヲ用ユルヲ常トス冷罨法及ヒ塗布ハ唯往々之ヲ用ユルコトアルノミ而シテ當時若シ熱候アル者ニ逢ヘバ「キニ」子「」ヲ處スベシ

アロー氏液 三〇〇、〇 右罨法料(上皮缺損ノ者ニ用ユ)

鉛醋 五、〇 石炭酸 〇、五

繭水 二〇〇、〇 再繭酒精 一〇、〇

右調和塗布料

明礬末 三〇、〇 澱粉 三〇、〇

右細研撒布料 右調和撒布料

酸化亞鉛 五〇 其他濕爛症ノ條下ニ掲グル者ヲ宜トス

### 顔面神經麻痺 Facialislaehmung. フェチアーリス レームンゲ

**原因** 感冒、癩麻質斯、外傷、耳下腺、耳、顳顬骨、腦及延髓ノ疾病、急性傳染病(實扶的里、腸空扶斯、痘瘡等) 慢性傳染病(梅毒、癩病、結核)及鉛中毒

**診候** 多クハ顔面偏側ノ麻痺ニシテ患側ノ額上ニ皺ヲ認メズ又タ皺ヲ形成スルコト不能、閉眼不全(兔眼)、鼻唇溝消失シ口角下斜、口唇ヲ尖起シテ笛聲ヲ發スルコト能ハザル等其主徴ナリ其他咀嚼談話ニ多少ノ障害ヲ伴フコトアリ味覺ヲ害スルコトアリ反射的運動廢絶ス(末梢性顔面神經麻痺) ○中樞性ノモノハ以上又末梢神經麻痺ノ如ク前額枝ヲ侵カスコトナキヲ以テ前額及眼ノ閉鎖ニ變化ナク又タ反射的運動ヲ存ス病原處在部ト其症候ヲ列記セバ

- (1) 全顔面筋麻痺……………病原乳嚙孔ノ下方
- (2) (1)ノ症候及唾液減少味覺障害……………鼓索ノ起始ノ上方

- (3) (2)ノ症候及聽覺過敏症……………馬鈴神經ノ起始ノ上方
- (4) (3)ノ症候及口蓋弓麻痺……………小膝狀神經節及淺大岩樣部神經ノ起始

- (5) (4)ノ症候アルモ味覺ノ變ナシ……………小膝狀神經ノ上方
- (6) 患側顔面神經麻痺及他側肢節麻痺……………ウァロル氏橋及延髓
- (7) 同時ニ動眼神經ヲ侵ス……………大脳脚足
- (8) 他側ノ顔面ニ於ケル口部顔面神經ノ麻痺症……………内囊或ハ前中  
央回轉

**豫後** 原因ニヨリ、異ナリ電氣ノ反應常態ニアルトキハ二三週ニシテ治ス(輕症)局部的變性反應ヲ呈スルトキハ四乃至六週(中等症)完全的變性反應ヲ呈スルトキハ半年ノ後治ニ向フ(重症)然レトモ原因ヲ除クコト能ハザルモノハ不治

**療法** 原因微毒ニ在ル者ニハ驅微療法、又腫瘍或ハ膿腫等ノ壓迫ニ在ル者ニハ其ノ切除又癩麻質斯性ノ者ニハ發汗劑ノ内服或ハ皮膚ノ刺戟或ハ乳頭突起部ノ放蛭或ハ按摩等ヲ用井後ハ電氣療法其効ヲ奏スベシ即チ華良臺氏電氣ヲ用井テ顔面筋ヲ各個ニ刺戟シ瓦爾華尼氏電氣ヲ用井

テ其積極導子ヲ病側ノ乳頭突起部其消極導子ヲ健康側ノ同各部ニ通スルヲ宜トス

沃剝 二、〇 アスピリン 三、〇  
 苦丁 三、〇 右六包ニ分チ一日三回ニ日分服  
 留水 二〇〇、〇 (同上)

撒曹 右一日六回ニ日分服(微毒性) 硝酸ストリキニーチ 〇、〇五  
 六、〇 右六包ニ作り一日三回ニ包宛ニ 留水 一〇、〇  
 日分「オプラート」ニ包ミ用ユ 右調和毎日プラツツ氏注射器  
 (癩麻質斯性) 半乃至一筒皮下注射料  
 (陳舊症)

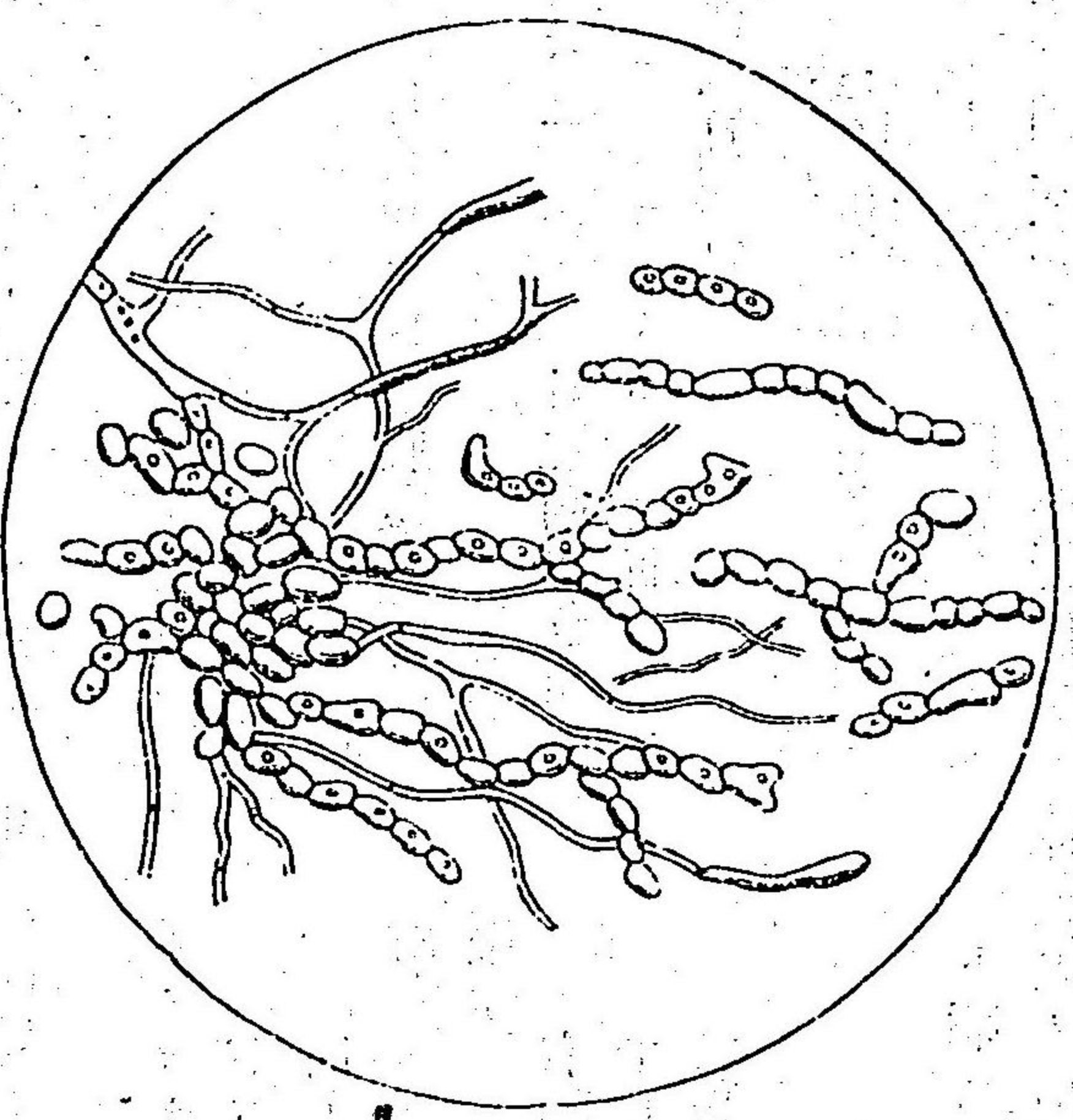
### 黃癬

Favus. ファーヴス

**原因** シエーンライン氏「アヒョリオン」ト稱スル寄生菌ノ傳染ナリ  
**診候** 専ラ頭髮部ニ生ジ毛囊周圍ニ硫黃色ノ小體ヲ形成シ其形圓板ノ如クニシテ中央陷凹ス而シテ毛髮ハ折レ易ク又々拔ケ易クシテ光澤ナシ久シク持續スルトキハ禿頭ヲ生ズ○黃色ノ小體二十%カリ滲汁ヲ加ヘテ鏡檢スレバ「アヒョリオン」ヲ發見ス

豫後 治癒難ク且ツ再發ノ虞アリ  
 療法 先ヅ毛ヲ短ク切り油(汗油)ヲ黃癬ニ注ギテ反覆濕潤シ後「ピンセ  
 ット」ニテ拔毛シ石鹼或ハ石鹼精ヲ用井テ洗滌シ「タール」或ハ「サリチ

圖 六 十 二 第



シエーンライン  
 氏アヒョリオン  
 (黃癬ノ原因)四  
 百倍

「ル」酸石炭酸「レゾルチン」溶液或ハ石油合劑ノ塗擦ヲ行フベシ	五〇、〇	ベタナフトール	一、〇
綠石鹼 右洗滌用	五〇、〇	ワゼリン	二〇、〇
カリ石鹼精 右洗滌用	五〇〇、〇	右外用 カシヌム油	各五〇、〇
昇汞	〇、一乃至〇、二	綠石鹼	一〇〇、〇
酒精	一〇〇、〇	右外用 イヒチオール	五、〇
右フランネル布片ニテ塗擦ス	五、〇	サリチール酸	三、〇
サリチール酸	五、〇	カリセリン	各五〇、〇
グリセリン	各五〇、〇	酒精	各五〇、〇
右調和其中ニ壓抵巾ヲ浸シテ之 ヲ黃癬癩ノ除去シタル部ニ貼用		右外用 又石炭酸二十倍ノ者或ハ(カヂヌーム 油ヲ塗擦シテ効アリ	〇、五
石炭酸(或ハ「サリチール酸」) 二〇		チモール	五、〇
グリセリン	各二〇、〇	クロ、フォルム	一五、〇
酒精	一〇〇、〇	オレーフ油	〇、五
留水	一〇〇、〇		
右調和塗布料			

黃癬

右調和塗布料	一〇〇、〇	サリチール酸	二、五
石油	一〇〇、〇	コロヂウム	三〇、〇
ペルバルサム	一〇、〇	右外用	
右調和塗擦料	〇、二	レゾルチン	五、〇
昇汞	〇、二	ワセリン	一〇〇、〇
ペラントー酒	一〇〇、〇	右外用	
右調和洗滌料或ハ審法料		爪甲ノ黄癬ニハ左方	
毛髮存セザル部ノ黄癬ニハ石鹼ヲ用キ		昇汞	一、〇
テ之ヲ洗滌シタル後先ヅ油次テ「ター		彈力コロヂウム	二〇、〇
ル」軟膏ヲ貼スルヲ宜トス		右塗布料(爪甲ニ)	
クリサロビン	五、〇		

### 肛門輝裂

肛門裂傷

Fissura ani.

フヒフウラ、アニー

原因 痔疾及ビ婦人ノ骨盤内充血ニ由テ粘膜弛緩トナリ硬便通利誘因ヲ

ナス

診候 肛門括約筋ノ部分ニ於テ粘膜ノ皸裂潰瘍アリ便通ノ際劇痛ヲ發シ

神經憂鬱

**療法** 先ツ下劑或ハ浣腸劑ヲ與ヘテ便通ヲ整ヘ便意ヲ催フシタルトキハ  
 靜カニ十%コカイン水ヲ浸シタル綿花ヲ肛門ニ挿入シテ便通時ノ疼痛  
 ヲ防キ便通後阿片坐藥等ヲ用井疼痛ノ甚タシキモノニハ臭剝鹽莫比ヲ  
 内服セシム坐浴及ヒ温罨法モ大ニ効アリ○以上ノ方ニテ無効ナルトキ  
 ハ「コカイン」液ヲ塗布シテ麻醉ヲ行ヒ棒硝酸銀ニテ潰瘍面ヲ輕觸シ二  
 三日ヲ隔テ二三回之レヲ行フヘシ○右ノ諸方ヲ用井ルコト貳週以上ナ  
 ルモ奏効ナキハ手術的療法ヲ用ユ即チ局處若クハ全身麻醉ヲ施シ肛  
 門鏡ヲ以テ患部ヲ露出シ刀若クハ烙白金ノ刀狀ナルモノヲ用井テ縱切  
 開ヲ粘膜ニ行フ其切開ノ兩端ハ健康ノ粘膜ニ達スベシ(淺切開法)而シ  
 テ「ヨードフォルムガーゼ」ヲ充塞ス三四日後蓖麻子油及灌腸ヲ以テ便  
 通ヲナサシム大多數ハ此法ニテ治ス此法奏効ナキトキハ深切開法ヲ行  
 ヒ粘膜及括約筋ヲ切離「ヨードフォルムガーゼ」ヲ充塞シ「ゴム管ヲ挿  
 入シテ放屁ニ便ス第四日ニ蓖麻子油ヲ與ヘテ便通ヲ整ヘ坐浴ヲ命ス爾  
 後毎日坐浴ヲ行ヒ「ヨードフォルムガーゼ」ヲ創面ニ貼ス○淺切開法ニ  
 代フルニ麻醉中ニ兩示指ヲ肛門ニ入レ強度ニ括約筋ヲ延長シテ一週間  
 其不全麻痺ヲ生ゼシメ術後ノ疼痛ニハ「モルチ」ヲ處スルノ方法アリ

### 肛門輝裂

人工カル、ス泉鹽	三〇、〇	阿片	〇、〇二
右每朝空腹時一茶匙ヲ二碗ノ湯ニ溶解シ温キ中ニ内服スベシ		カ、カ脂	二、〇
硫苦	二〇、〇	右爲坐藥便通後挿入スベシ	
餽水	二〇〇、〇	鹽酸コカイン	〇、〇五
右一日六回二日分服		カ、カ脂	一、〇
オレノフ油	三〇〇、〇	右坐藥トナシ肛門ニ挿入ス	
右温メテ一回ノ浣腸料トス		ナルトフガラム	二、〇
鹽酸コカイン	一、〇	ラノリン	二〇、〇
硃酸	三、〇	右爲軟膏外用	
ワゼリン	三〇、〇	硝酸銀	二、〇
右外用		ワゼリン	二〇、〇
		右爲軟膏外用	

### 痔瘻 或ハ直腸瘻

Fistula. ani. フヒスツラ(アニー)

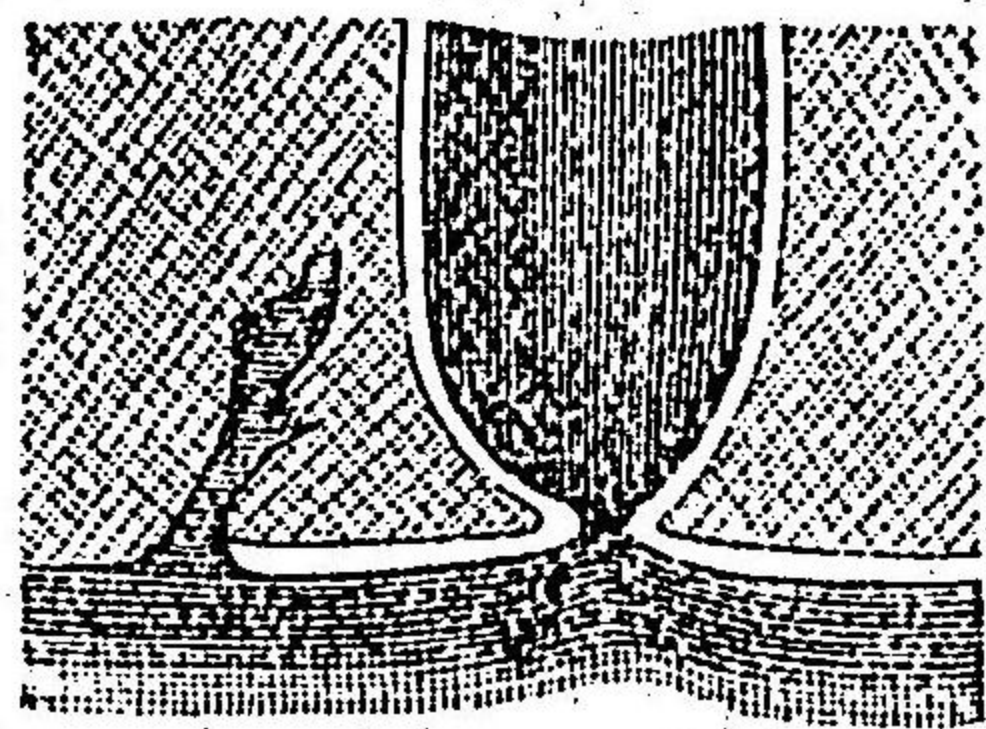
**原因** 肛門周圍ノ創傷、膿瘍、直腸炎、腸潰瘍、特ニ腸結核、直腸周圍  
**診候** 肛門周圍ノ皮膚ニ瘻孔ヲ認メ膿ヲ排出ス消息子ヲ送入スルニ或ハ  
 炎等ナリ

不全外痔瘻

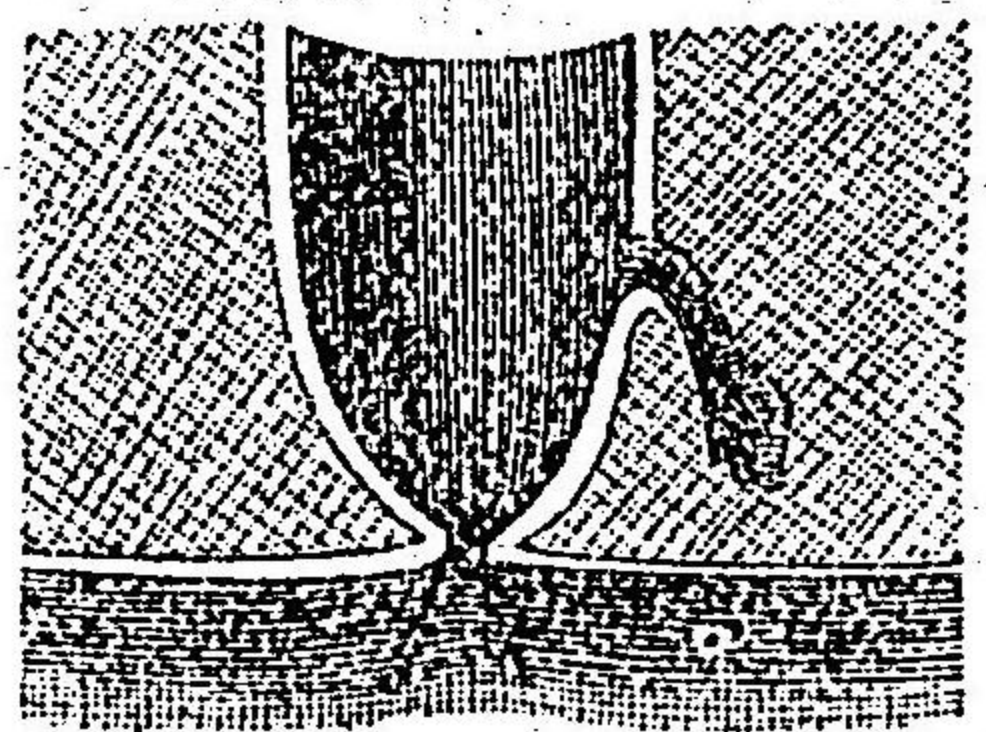
不全内痔瘻

全痔瘻

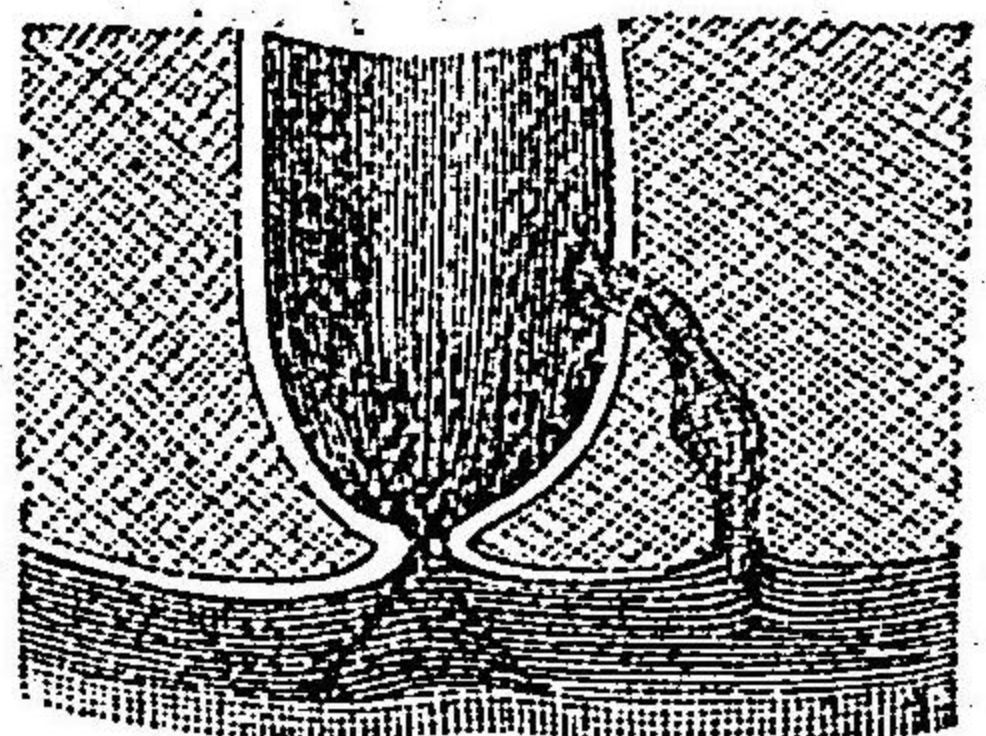
圖七十二第



圖八十二第



圖九十二第



直腸内ニ達シ(全痔瘻)或ハ直腸ニ至ラズ(不全外痔瘻)又直腸ヨリシテ瘻管ヲ發生シ外皮ニ穿通セザルモノアリ(不全内痔瘻)

**療法** 手術ノ前日下劑ヲ與ヘ手術前ニ更ラニ灌腸ヲ行ヒ全身麻醉或ハ局處麻醉ヲ施シ全痔瘻ニアリテハ有溝消息子ヲ孔ヨリ瘻管ノ全長ニ送入シ有溝消息子頭ヲ直腸内ニ挿入セル指頭ニテ肛門外ニ牽キ出ダシ球刀ニテ瘻管全部ヲ切開シ銳匙ニテ瘻管ノ面ヲ爬除シ「ヨード」フオルムガ「ゼ」ヲ充填シ而シテ結核性ナルトキハ患部ノ切除若クハ燒灼ヲ施シ



防腐ヲ嚴守ス可シ肉芽發生ヲ促スニハ硝酸銀桿ノ腐蝕法ヲ用ユ  
不全痔瘻ナルトキハ消息子ニテ先ヅ組織ヲ破リ全痔瘻ニ變化セシメテ  
後全痔瘻ト同様ノ處置ヲナス可シ不全内痔瘻ナルトキハジモン氏鏡ヲ  
送入シ其瘻孔ヲ露出セシメンガ爲メ先ヅ括約筋ノ皮下延長術或ハ後方  
括約筋切開術ヲ要スルコトアリ

### 白帶下、腔膿漏、腔加答兒 Fluor albus,

Blenorhoea vagina, Catarrhus vagina.

フルタル、アルナス、ブレノレア、ウアキナ、カタルス、ウアキナ

**原因** 淋毒傳染不潔ナル異物例之腐敗シタル「タンボン」不良ナル「ベッサ  
リエン」又手淫及手淫ノ目的ニテ挿入シタル異物、子宮内膜炎ノ帶下、  
膀胱腔癭ノ淋瀝尿、又悪性腫瘍ノ分解物、又蟻蟲、腺病、萎黃病、過  
房、感冒

**診候** 腔粘膜ノ炎症充血、壓感、疼痛ヲ初メトシ惡寒發熱尿意頻數、交  
接、脱糞ノ障害ニシテ次テ白色粘液若クハ膿性ノ分泌物ノ增多ヲ來シ  
二三週日ヲ經過スレバ慢性症ニ移行シ多量ノ帶下及之ニ因スル續發症  
トス又貧血、食慾不振、便秘等アリ交接時不快ノ感ヲナスヲ以テ之レ

ヲ避ケ從テ受孕ヲ障害セラル

**療法** 急性ニハ冷罨法或ハ冷水注入法ヲ行ヒ熱候アルトキハ兼テ酸性飲  
料ヲ與フ可シ凡テ安息靜止ヲ專ラニスルコト肝要ナリ○慢性症ニハ其  
原因或ハ近傍器官疾患蔓延ノ有無ヲ搜索シ且其特發ナルヤ將々續發ナ  
ルヤニ注意シ而シテ局處療法ニハ注入法ヲ主トシテ又成シ得ベキ場合  
ニハ腐蝕法ヲ行フ可シ

小兒ニハ洗滌或ハ浴湯ニ由テ陰部ヲ清潔ニシ局處收斂藥或ハ「ヨード  
フォルム」坐藥或ハ綿花填入法ヲ施シ而シテ全身療法ニハ肝油キニ  
子等ヲ處シテ効アリ

鉛水 一〇〇、〇

右一食匙ヲ半「リーテル」ノ水ニ

加フ(注入用)

クロールカリウム 五、〇

鉛水 五〇〇、〇

右注入料

粗製明礬 一〇、〇

鉛水 五〇〇、〇

右注入料

硫酸亞鉛

鉛水

右注入料

石炭酸

鉛水

右注入料

クレオリン

各五、〇

五、〇

五〇〇、〇

二、五

白帶下 腔膿漏 腔加答兒

三〇七

留水	右注入料	五〇〇、〇
リゾール		二、〇
留水	右注入料	五〇〇、〇
フホルマリン		二五、〇
留水	右一食匙ヲ一〇〇〇、〇ノ水ニ 加ヘ注入料トス	七五、〇
留水	サリチール酸	五、〇
留水	右注入料	五〇〇、〇
クロール石灰		五、〇
留水	右注入料	五〇〇、〇
過マンガン酸カリウム		二、〇
留水	右注入料	五〇、〇

患婦自己ヲシテ洗滌法ヲ行ハシムルコト醫士ノ濃厚ナル藥液ヲ用キテ之ヲ注入スルニ比ブレバ其効力甚ダ少ナシ故ニ可成醫士其勞ヲ取ル可シ其法陰鏡ヲ用キテ子宮ノ患部ヲ露ハシ先ツ綿ヲ以テ患部ニ附着セル分泌液ヲ拭去シ而後二三分間濃厚ナル藥液ヲ注入シ次ニ絲ニ繫キタル綿花栓塞ヲ送入ス可シ但シ該栓塞ハ一二時間ノ後患婦ヲシテ自ラ此ヲ除去セシムルナリ

昇汞		二、〇
留水	右注入料(醫師用)	二〇〇、〇
硫酸銅		一〇、〇
留水	右注入料(醫師用)	一〇〇、〇

病期尙ホ初發ニシテ特ニ其原因傳染ニ在ル者ニハ左方ヲ宜トス

結晶硝酸銀		一〇、〇
留水	右注入料	一〇〇、〇
腔部ニ潰瘍ヲ生シタル者ニハ左方		
結晶硝酸銀		一、〇
留水	右潰瘍面塗布料	二〇、〇
ヨード丁		各五〇、〇
五倍子丁		四、〇
純ヨード	右調和用法同上	二、〇
タンニン酸		二、〇
グリセリン	右調和用法同上	二〇、〇
クローム酸		各五、〇
留水	右腐蝕藥用法同上(但シ硝子桿 ヲ用キテ患部ニ滴ス可シ)	各五、〇

ヨードフォルム		一、〇
グリセリン		一〇、〇
薄荷油		二滴
腔ノ栓塞ハ綿花ヲ用キテ之ヲ作り而シテ左ノ藥物ヲ含飽セシムヘシ		
ヨードカリウム		一、〇
ヨード		〇、一
グリセリン	右調和栓塞飽充用	三〇、〇
タンニン酸		一、〇
グリセリン	右調和同上	三〇、〇
イヒチオール		二、五
グリセリン	右同上	五〇、〇
粗製明礬		一、〇乃至三、〇
カ、オ脂		

緩和軟膏

各適宜

右調和坐藥(即チ腫球)十個ニ作

リ毎日一二個腔内へ挿入スヘシ

硫酸亞鉛

一、〇

カ、オ脂

緩和軟膏

各適宜

右調和坐藥(即チ腫球)十個ニ作

リ毎日一二個腔内ニ挿入ス

子宮ノ周圍ニ疼痛ヲ存スルトキハ左方

鹽莫

〇、一

カ、オ脂

緩和軟膏

各適宜

癬瘍

Furunkel. フルンケル

原因

皮膚ノ不潔ニ當リ毛囊孔ヨリ醗膿菌ノ深ク侵入スルニ因ル顔、頸、

項、四肢、臀部等ニ多シ

診候

皮膚焮赤、起腫、疼痛シテ圓錐形ニ隆起ス其頂ニ膿栓頭ヲ見ルベシ

豫後

貼良但シ顔面癬瘍ハ危險ナルコトアリ速カニ切開テ勉ムベシ

療法

初期ノ者ニハ三%石炭酸水ノ罨法或ハ石炭酸水銀硬膏、「ムル」チ  
シ適應ノ時期ニ當リテハ之ヲ切開シテ膿栓ヲ排出シ或ハ温器布ヲ貼シ  
テ破潰セシム可シ○屢々再發スルトキハ飲食ノ攝生ニ注意シ住居ヲ清  
潔ニシ氣流ヲ善良ナラシメ又必要アル際ニハ下劑ヲ投ス可シ○但シ其  
顔面ニアルモノハ速カニ切開テ要ス劇痛ニハ左方ヲ處ス○外聽道ノ  
フルンケルニハ綿花ニ石炭酸「グリセリン」或ハプロー氏液ヲ浸シタ  
ルモノヲ挿入スベシ輕症ニハ濕器法劇症ニハ温器法及切開○近年ビー  
ル氏ノ吸引療法ヲ賞用ス

鹽莫

〇、〇五

石鹼硬膏

六〇、〇

白糖

二、〇

ヘブラ氏軟膏

三〇、〇

右研和散五包ニ分チ毎夕一二包

右調和布片ニ攤シテ貼用ス

サリチール酸

八、〇

泌乳過多

Galactorrhoea.

ガラクトレア

原因

授乳經久過度其他一種不明ノ原因ヨリ來ルコト有リ

診候

離乳後ノ持續性稀乳汁分泌過多ニシテ終ニ衰弱、食慾缺損、神身

癬瘍 泌乳過多

違和、弱視、卒倒、精神異常等ノ諸症ヲ來タスコト有リ  
療法 飲食ヲ節シ下劑ヲ投ジ又乳部ニ反覆シテ冷水洗滌ヲ行ヒ非常ニ充  
滿シタル乳房ハ提帶ヲ以テ之ヲ保護シ且ツ脂肪或ハ軟脂ヲ乳房面ニ塗  
布シ或ハ温罨法ヲ施シ又吸乳器ヲ應用スルコトアリ

### 肺壞疽

Gangraena pulmonum.

ガングレナ、  
プルモヌール

原因 嚥下肺炎、腐敗性氣管支炎、クロフ性肺炎（殊ニ衰弱者或ハ酒客  
ノ）、肺栓塞或ハ外傷等ニ由テ肺部動脈血行ノ遮斷肺膿瘍等ナリ  
診候 急激ノ衰弱、窒扶斯様ノ諸現症、呼氣及咯痰ノ惡臭、咯痰中肺組  
織ノ混在、肺ノ濁音部新空洞ノ發生等  
豫後 概テ不良ナリ、體格強壯ナルモノハ良ナルコトアリ  
療法 本病ハ主トシテ患者ノ脱力ヲ防ギ腐敗ヲ抑止スルニアリ病室ハ大  
ニシテ空氣ノ流通佳良ナラザル可カラズ惡臭ヲ減ズル爲ニ熱湯ヲ盛レ  
ル皿中ニ「テレピン」油又ハ「クレオソート」ヲ投ジテ之ヲ蒸發セシム  
可シ患者ハ安靜ニ横臥セシムルヲ要ス外科手術ヲ行フコトヲ得ルモノ  
ハ之レヲ施スベシ

キナ皮

二〇、〇

右アランデー酒一八〇、〇中ニ

テレピン油

一〇、〇

六時間浸出シ濾過シタル後其液

右一日三回十滴宛牛乳ニ和シテ

ニベスツセア氏神經強壯丁幾

用ユ

〇、〇三—〇、〇五

二、〇ト桂皮水、橙皮舍各二〇、

白糖

〇、五

〇ヲ加ヘ毎二時間一食匙

鉛糖

〇、五

咯痰ノ臭氣ヲ除クカ爲メニ左方

薄荷腦

一、五

再留テレピン油

五〇、〇

右膠囊ニ入レ十個ヲ製ス毎日二

乃至四囊

右吸入料

一、〇

乃至四囊

石炭酸

一、〇

右吸入料

一、五

再留酒精

各一五、〇

乃至四囊

カリセリン

各一五、〇

右膠囊ニ入レ十個ヲ製ス毎日二

乃至四囊

右調和吸入料

〇、一五

乃至四囊

ミルトール

〇、一五

乃至四囊

### 胃瘕

Gastralgie.

ガストラルギー

胃痛條下ヲ見ヨ

肺壞疽 胃瘕

### 齒齦炎

Gingivitis.

ギンギウキチス

#### 原因

口内病、壞血病、水銀中毒等

#### 診候

齦肉ノ腫起、疼痛、粘液及唾液ノ分泌増加放臭等

#### 豫後

口内ノ攝生ニ注意シ齒刷或ハ布片ヲ用井テ齒齦ヲ清潔ニナシ又含嗽水ヲ用井テ屢々洗滌ス可シ

硼砂

薔薇蜜

右調和塗布料

各五、〇

薄荷油

各〇、五

鹽剝

餹水

右調和含嗽料

五、〇

右一茶匙ヲ一盞ノ水ニ和シ含嗽料

ラタニア丁

各一〇、〇

阿仙藥丁

ミルラ丁

芳香丁

稀酒精

各五、〇

一〇〇、〇

右調和齒齦塗布料

其他ノ含嗽水劑ニ於テハ口峽炎、亞布答、水銀中毒性口内炎等ノ條下ヲ見ヨ

### 綠内障

Glaukom.

グラウコーム

#### 原因

原發性ハ高齢、遠視、血行障害、散瞳藥點眼、營養不良、衰弱、血管アテロム變性、三叉神經痛、遺傳等續發性ハ鞏膜炎、漿液性虹彩

毛様體炎、虹彩前後癒着、水晶體ノ外傷、眼内腫瘍、網膜出血、脈絡膜炎等ヨリ來ルコトアリ

#### 診候

急性炎症性綠内障ノ症候經過

前驅期(七十五%)ハ本期ヲ有スハ數月數年來大抵二三時間ヲ以テ消散スル發作ヲ有ス飽食、精神感動、足部冷却、睡眠不足等ノ後ニ起リ發作ト間歇時ト有ス、發作ハ通常數時間ニシテ睡眠後消失スルヲ常トス發作ノ症候ハ(一)燈火ノ周圍ニ虹霓(外方ニ赤色)ヲ觀而シテ虹霓ト燈火ノ間ニハ常ニ暗黒ノ輪ヲ存シ虹霓ノ色必ズ燦然タリ(二)萬物朦朧トシテ霧中ニ在ルガ如シ(三)毛様神經(四)眼球硬固(五)瞳孔散大及反應遲鈍其色綠色(六)前房水及角膜輕度ノ濁濁等發生期ハ前驅症ニ續キテ暴起シ頭痛顔面痛劇甚、嘔吐、發熱、食氣不振等ヲ發シ視力俄カニ減少ス而シテ眼瞼潮紅腫脹、眼球結膜充血浮腫、

角膜ノ濁濁及知覺鈍麻、前房淺ク且前房水濁濁、虹彩變色、瞳孔散大不動不正其色綠、眼球硬固如石、眼底ヲ檢シ得ル(濁濁未ダ輕クシテ)際ニハ靜脈ノ怒張迂廻、脈搏出血(出血性綠內障)乳頭充血ヲ認ム然レドモ第一回綠內障發作ニハ乳頭陷凹ヲ發セス○第一回綠內障發作後兩三日乃至一週ニシテ炎症消失シ視力殆ンド舊ニ復スルモ是レ全治ニ非ズシテ發作ハ爾來反覆シテ乳頭陷凹シ漸次視力減少視野狹少トナリ遂ニ全ク失明シ完全綠內障トナル○極メテ稀ニハ一回ノ發作一二時ニシテ全ク失明ニ陥ルモノアリ(電擊性綠內障)

慢性炎症綠內障ハ諸症急性ノ如キモ炎症著シカラズシテ其度輕ク數月ニシテ完全綠內障トナル單性綠內障ハ眼ノ外貌、角膜鞏膜瞳孔等變化少ク又前驅症及炎症發作ナシ只乳頭ハ陷凹シテ消耗ヲ呈シ視力漸次減少、視野規定狹縮(多クハ鼻側ヨリス)ヲ呈シ歲月ヲ經テ失明ス、○眼壓亢進ハ微弱ナリ○續發性綠內障ハ原發性眼病ニ綠內障ノ症候ヲ發ス豫後 治療セザレバ早晚必ズ失明スト雖モ速カニ治療ヲ加フレバ概テ良但シ出血性、電擊性及其他ニ於テ失明ヲ免レザルコトアリ

療法 診斷確實ナル者ニ於テハ直ニ「エゼリン」或ハ「ピロカルピン」ヲ點

眼シ速カニ虹彩切除術或ハ鞏膜切開術等ヲ施シ假令綠內障ノ疑ヲ存スル時ト雖モ「アトロピン、コカイン」等凡テ瞳孔ヲ散大スル藥劑ハ之ヲ嚴禁ス可シ

撒酸エゼリン	〇、〇二乃至〇、〇五	サリチール酸エゼリン	〇、〇五
鹽酸ピロカルピン	〇、二	鹽莫	〇、一
右調和毎日二回點眼料		鹽水	〇、〇
鹽水	一〇、〇	右調和毎日二回點眼料	〇、五
右調和毎日二回點眼料		チオニン	〇、五
線內障性疼痛ノ強劇ナル者ニハ		鹽水	一〇、〇
		右點眼料	

### 舌炎

Glossitis. グロッシシス

原因 水銀中毒、温熱的、器械的、化學的ノ刺戟其他窒扶斯、猩紅熱、丹毒、痘瘡等

診候 舌全部若クハ半部ノ腫大、口外脫出邊緣ノ潰瘍、膿腫、劇痛、流涎、咀嚼及嚥下困難、頸腺顎下腺ノ腫脹、發熱、下痢等ナリ

療法 頸及顎下ノ周圍ニ氷罨法ヲ行ヒ又氷片ヲ含マシム○其重症ニハ刀

線內障 舌炎

ヲ以テ舌背ニ深キ縦切ヲ行フ○窒息ノ危険アルトキニハ氣管切開術ヲ  
施ス○膿腫ハ可及的早ク之ヲ切開ス其他含嗽劑及ヒ下劑等

鹽剝

五、〇

鹽水

二〇〇、〇

鹽水

二〇〇、〇

薄荷油

一滴

右含嗽料

鹽剝

五、〇

右含嗽料

### 膝關節炎

Gonitis. ゴニチス

原因 外傷、癩麻質斯、結核、淋毒等ナリ

診候 腫起、疼痛、波動、屈伸不隨、強直、畸形等其主タルモノトス

豫後 漿液性膝關節炎ハ概テ良、化膿性膝關節炎及結核性膝關節炎ハ療

法其時期ヲ失シ或ハ其治方宜シキヲ得サレバ不良

療法 急性ナル者ハ靜臥セシメテ患肢ヲ地平位ニ置キ氷罨法ヲ行フ可シ

而シテ疼痛ノ緩解セル後ニハ有窓固定繃帶(大轉子ヨリ足ノ上方)若ク

ハ「フランチル」ノ壓抵繃帶ヲ施スベシ○慢性滑液膜炎ニ在テハ「ヨード

カリウム、ヨード軟膏」ノ貼用若クハ穿刺術ヲ行ヒ或ハ按摩ヲ施ス可シ

結核性ニハ可及的速カニ十%殺菌ヨードフォルム、グリセリン」ヲ關節

圖 十三 第



健康膝關節ノ外形

圖 一十三 第



多量ノ滲出液ヲ含メルモノノ外形

膝關節炎

内ニ注入スベシ其用量ハ年齢ニ從ヒ毎二週乃至四週二、〇乃至一〇、〇ナリトス○諸法無効ナルトキハ關節切除術、切斷術ヲ施ス(殊ニ大人ニ)

- ヨード丁 各一〇、〇
- 右爲軟膏外用
- 五倍子丁 各一〇、〇
- 右調和塗布料
- ヨード 〇、五
- 沃剝 五、〇
- イヒチカール 五、〇
- 單軟膏 右爲軟膏外用
- ワセリン 各二五、〇
- ラノリン 各二五、〇

### 吐血

Haematemesis. ヘマテメシス

**原因** 胃潰瘍、胃癌、或ハ月經閉止、心肺肝等ノ疾病ニ關スル胃粘膜ノ鬱血、或ハ腐蝕藥ノ嚥下等ナリ

**診候** 胃部ノ壓重、疼痛、痞滿、嘔吐及ビ吐血ニシテ其色黒シ中ニ食物ノ残渣ヲ含ムヲ常トス便中血液ヲ混ズレバ診斷愈々正確、此血液ハ酸性

胃出血

- (1) 血液嘔吐ニヨリ排泄セララル
- (2) 豫テ胃病或ハ肝臟病ノ既往症アリ出血前ニ嘔氣及上腹ノ壓感ヲ起ス
- (3) 胃又ハ肝臟病ノ徵アリ且門脈鬱血ニ因スル症狀アリ
- (4) 血液暗色ヲ呈シ往々殆ド黒色ヲ呈ス空氣ヲ含マズ凝固シテ塊團ヲナス
- (5) 酸性ノ反應アリ
- (6) 往々食物ノ成分ヲ混ズ
- (7) 胃出血ハ俄然トシテ發シ其持續短ク出血後初メテノ便ハ往々テール様ニ着色ス

肺出血

- (1) 血液咳嗽ニヨリ排泄セララル
- (2) 患者肺臟又ハ心臟病ノ既往症アリ出血ニ先チテ胸内ヨリ温液ノ上昇スルヲ覺ユルコトアリ
- (3) 肺若クハ心臟病ノ徵アリ
- (4) 血液鮮紅色ニシテ泡沫ヲ含ミ凝固セズ

吐血



(5) アルカリ性ノ反應アリ  
6 往々粘液及膿ヲ混ズ

(7) 肺出血ハ久シク持續シテ徐々ニ消失ス

**療法** 原病ニ注意シ而シテ安靜ニ地平位ノ仰臥ヲナサシメ可及的運動ヲ戒メ又始メ二十四時間ハ凡テ飲食ヲ禁ジ此時間ヲ經テ始メテ牛乳ヲ煮沸シテ後冷却氷水ノ如クナレル者ヲ食匙ニテ少量宛與ヘ數日後ニ他ノ流動性滋養食ヲ取ラシム、氷水或ハ氷片ヲ嚙飲セシメ兼テ胃部ニ氷罨法ヲ行フテ効アリ○失神ニハ顔面ノ冷水灌漑ヲ行ヒ或ハ醋酸エーテル若クハ「エーテル」ノ塗擦或ハ「エーテル」樟腦精ノ(三倍ノ者)皮下注射ヲ行フ○脈搏強實ナルハ「モルヒネ」ノ皮下注射ニ由テ嘔吐ヲ鎮靜スベシ○口ヨリ滋養物ヲ取ラシムルコト能ハザル者ニハ滋養灌腸ヲ施スベシ

- 鉛糖 二、〇
- 鹽莫 〇、一
- 白糖 二、〇
- 白膠 一、〇乃至二、〇
- 食鹽 一〇〇、〇
- 鹽水 〇、六
- 右十五分間煮沸殺菌シテ後其溫液ヲ腹部皮下ニ注入ス
- 二%ゲラチン食鹽水 一八〇、〇

- メンタ水 一〇、〇
- 單舍 二〇、〇
- 右一日三回二日分服
- 麥角越 各一〇、〇
- 芳香硫酸 各一〇、〇
- 右調和十乃至三十滴チ一酒盞ノ水ニ加ヘテ頻々飲用
- 過クロール鐵液 一〇、〇
- 右一回毎五滴糖水ニテ用ユ
- 其他エルゴチン〇、〇三乃至〇、〇五或ハ〇、一ノ皮下注射ヲ行フテ効アリ
- 急激ノ失血ニ由テ虚脱ニ陥ラントスル者ハ温食鹽溶液ノ注入ヲ行フ
- 食鹽 四、〇

- 炭酸ナトリウム 五、〇
- 鹽水 五〇〇、〇
- 右調和攝氏三十九度ニ温メ靜脈内或ハ皮下注入料但シ空氣ノ竄入セザル様注意スベシ
- 小兒ノ吐血ニハ左ノ内服藥ヲ處ス
- 明礬 〇、五
- 單舍 一〇、〇
- 鹽水 五〇、〇
- 右調和毎五分時一茶匙
- 過クロール鐵液 一、〇
- 橙皮舍 一五、〇
- 鹽水 五〇、〇
- 右調和毎半時一小兒匙

### 血尿 Haematurie, ヘマトウリー

**原因** 腎臟出血(打撲、創傷、楔狀硬塞、腎臟炎、猩紅熱、窒扶斯、痘)

血尿

瘡、血友病、壞血病、癌腫、結核、腎臟結石、膀胱出血（膀胱粘膜炎、損傷膀胱結石、膀胱ノ癌腫結核、莖膏、レビン油等ノ刺戟性藥品ノ濫用、出血性體質ニ發スル諸病）尿道出血（外傷、劇甚ナル淋毒性尿道炎等）

療法 原因ヲ明ニスルコト肝要ナリ而シテ出血ノ尿道、膀胱、腎臟等其何レヨリ來レルヤヲ檢ス可シ凡テ安息靜臥ヲ守ラシメ飲食ヲ節シ冷卷法ヲ施シ又淋病ニハ其注射ヲ止ム○白膠ノ内服及注入モ亦タ効アリ（吐血ノ條ヲ參照）

- 膀胱出血ニハ左ノ處方ヲ處ス可シ
- 麥角浸 右二乃至五時毎ニ一乃至二茶匙
- 過クロール鐵液 二、〇
- 桂皮水 二〇〇、〇
- 桂皮舍 二〇、〇
- 麥角越 右調和毎二時一食匙
- 白糖 一、〇
- 右研和散五包ニ分チ毎三時一包
- 麥角越 一、〇
- 阿片末 〇、一
- 白糖 二、〇
- 右研和散五包ニ分チ毎三時一包
- 水製麥角越 各五、〇
- 餾水 右調和濾過シテ其液ヲ皮下注射

- ニ用ユ（一日三回毎三分一筒）
- ヒドラスチス流動越 各三〇、〇
- マラセン酒 一五、〇
- 桂皮舍 右二乃至五時毎ニ一乃至二茶匙
- 赤色キナ煎 一〇〇、〇
- 蘇越木 一、〇
- 桂皮舍 右調和毎二時一食匙
- 腎出血ニハ左方ヲ處ス
- 麥角越 各〇、五
- タンニン酸 二、〇
- 白糖 右研和散五包ニ分チ毎三時一包

### 咯血 Haemoptoe. ヘモプトエ

**原因** 概テ肺結核、其他肺壞疽、肺チストマ、肺腫瘍、急性氣管支加答兒、肺炎、肺ノ鬱血、肺出血性硬塞等ナリ

**診候** 出血ハ咳嗽ニ伴フ胸内温液涌湧ノ感ヲ前驅シ其血液ハ鮮紅色ニシテ泡沫ヲ含ミ「アルカリ」性ナリ但シ出血性硬塞即チ楔狀出血ニ在テハ咳嗽ニ呼吸困難ヲ伴ヒ煤色痰ヲ血中ニ混ズ且熱候ナシ其血液多クハ黒塊ヲナスモノナリ

**療法** 患者ヲシテ地平位ノ仰臥ニ於テ安息靜止セシムルコト殊ニ緊要ナリ故ニ談話モ尙ホ之ヲ禁シ胸部ニ氷罨法或ハライテル氏冷却器ヲ置キ

氷片或ハ「アイスクリーム」等ヲ與ヘ温食物ヲ禁ジ適宜ノ攝生ヲ命シ酒色ヲ戒メ興奮ヲ慎マシメ而シテ新鮮空氣中ニ滋養物ヲ與フ○打診ヲ施スベカラズ聽診スル際モ深呼吸ヲ命ズルハ不可ナリ

右一日三回二日分服

桂皮丁

五、〇

鹽莫

〇、〇五

明礬末

白糖

各二、〇

右研和散五包ニ分チ每二時一包

白膠

一、〇乃至二、五

食鹽

〇、六

餾水

一〇〇、〇

右十五分間煮沸殺菌シテ後其温液ヲ腹部皮下ニ注入ス

二%ゲラチン食鹽水

一八〇、〇

メシタ水

一〇、〇

單舍

二〇、〇

阿片

〇、一

鉛糖

〇、二

白糖

二、〇

右研和散十包ニ分チ每二時一包

鹽莫

〇、〇三

杏仁水

一〇、〇

右咳嗽發作時十乃至十五滴チ一蓋ノ水ニ和シ用ユ

鹽酸ヘロイン

〇、〇一

杏仁水

一〇、〇

右咳嗽發作時十乃至十五滴水ニテ用ユ

鹽莫

〇、〇五

タンニン酸

〇、〇五

白糖

各二、〇

右研和散五包ニ分チ每二時一包

ストロファンツス丁

杏仁水

各一〇、〇

右毎日二回二十滴(心悸亢進ニ)

ヂギタリス葉末

〇、二

鹽莫

〇、〇五

明礬末

各二、〇

白糖

各二、〇

右研和散五包ニ分チ每二時一包

(脈搏頻數ナルトキ)

麥角越

各一、五

タンニン酸

〇、〇五

水製阿片越

適宜

甘草越

適宜

右丸二十粒ニ作り每三時一粒

過クロール鐵液

一、〇

餾水

一〇〇、〇

阿片丁

十滴

桂皮舍

二〇、〇

右調和每半時一食匙

荳蔻越

一、〇

鹽莫

〇、一

茴香油糖

二、〇

右研和散十包ニ分チ每二時一包

過クロール鐵液

一、〇

餾水

二〇〇、〇

右調和吸入料

麥角越

一、〇

餾水

一〇、〇

右調和皮下注射料

麥角越

一、〇

カリセリン

一〇、〇

右調和皮下注射料

鹽莫

〇、一

硫酸アトロピン

〇、〇〇五

餾水 一〇、〇  
 扁桃油 各五、〇  
 アラビヤゴム漿 各二〇、〇  
 單舎 各二〇、〇  
 餾水 二〇〇、〇  
 右調和毎時二食匙  
 テレピン油 八滴  
 右膠囊ニ入レ毎三時二囊  
 テレピン油

痔核 Haemorrhoiden. (ヘモロイデン)

**原因** 肛門及直腸内靜脈ノ還流ヲ妨グル諸件即チ常習便秘、直腸加答兒、子宮、卵巢、膀胱、攝護腺腫瘍、子宮轉位、妊娠、肺、肝、心諸病ニ因スル血行障碍等

**診候** 痔核ハ痔靜脈叢ノ過度ノ發育及擴張ニシテ内痔核(粘膜下、上痔靜脈叢ニ發ス)外痔核(皮下靜脈叢ニ發ス)ノ別アリ

内痔核ハモルガニー氏柱下縁ノ部ニ生シ結節狀ヲ呈ス其色暗青赤色ヲ常トスルモ亦タ毛細血管ノ擴張ニ因リテ紅色ニシテ肉芽狀ナルコトアリ内括約筋上ニ移動ス初期ニ在リテハ肛門内ニ不快ノ閉塞ノ感、便通時ノ微痛アルノミナルモ後ニハ便通時ニ於ケル出血痔核ノ脫出直腸加

答兒ヲ發ス脫出痔核若シ括約筋痙攣ノ爲メニ箝頓スレバ則チ豌豆大乃至榛實大或ハ輪狀ノ赤紫色ノ隆起ヲ露出シテ疼痛、裏急後重、尿閉、嘔吐、發熱等ノ諸症ヲ呈ス還納不能ナルトキハ一週間ニシテ痔核壞疽トナリテ脱落シ潰瘍ニ變シテ遂ニ治ス然レドモ大出血、膿瘍形成、瘻管ヲ惹起スルコトアリ甚タシキハ膿毒症ヲ發スルコトアリ内痔核ノ脫出セシモノ若クハ脫出セシメ得ルモノハ明カニ之レヲ視ルベシト雖トモ其然ラザルモノニ在リテハ肛門鏡ヲ以テ之レヲ診スベシ

外痔核ハ肛門皮下ノ結節ニシテ豌豆大乃至榛實大ニシテ青色ヲ呈ス腹壓ヲ加フレハ膨大シ指壓ヲ加フレバ縮小ス平時癢痒症、灼熱ヲ覺ユルノミニシテ殆ンド出血スルコトナシ然レドモ一たび炎症ヲ生スレバ腫脹、疼痛、搏動及異物ノ感、裏急後重ヲ惹起ス此ノ痔核發作ハ約一週持續シテ消散ス其轉歸ノ佳良ナラザルモノハ瘻ヲ生シ或ハ潰瘍ヲ形成ス

**療法** 下劑ヲ用井テ便通ヲ整然且ツ容易ナラシムルコトニ注意シ而シテ飲酒及ビ身體ノ勞働ヲ禁シ唯整然タル一定ノ散步ヲナサシムベシ○脫痔ハ可及的之ヲ復位スルヲ宜トス○炎症狀ヲ發シタルモノニハ氷嚢ヲ

痔核

敷カシメ又直腸出血ニハ安臥ヲ命ジテ氷罌法ヲ行ヒ或ハ坐藥浴等ヲ施シテ効アリ○近時ハ直腸内温湯注射ヲ有効ナルモノトシテ賞用ス又々温罌法及罌布ヲ用井テ良効ヲ奏スルヲアリ○輕度ノ痔核ヲ除去スルニハ「コカイン」液ヲ塗布シ結節周圍ニ「ワゼリン」ヲ塗リ「プラワツ」注射器ヲ以テ石炭酸グリセリン（二倍乃至三倍）ヲ痔核ニ注入シ内容ノ凝固ヲ待チテ後ニ針ヲ抜キ凡テ其周圍ノ粘膜ヲ腐蝕セザル様注意ス可シ石炭酸グリセリン量ハ痔核ノ大小ニ從ヒ二乃至五滴ヲ用井若シ一回ニテ治セザルトキハ二三週ノ後ニ注射ヲ行フモ通常一回ノ注射ヲ以テ足ルモノトス而シテ注射後ハ流動性食物ヲ與ヘ阿片ハ之レヲ用井却テ灌腸ヲ行フ○通常二三日下劑ヲ與ヘテ手術ヲ準備シ局處麻醉或ハ全身麻醉中ジモン氏鏡ニテ結節ヲ露出セシメ痔核鉗子ヲ以テ核ヲ撮ミランゲンベツク氏翼狀鉗子ヲ以テ之ヲ鉗シ後燒灼器ニテ徐々ニ結節ヲ炭化ス可シ而シテ「ヨードフォルムガーゼ」ヲ貼シ丁字帶ヲ施シ一週ノ後蓖麻子油ノ下劑ヲ與ヘ或ハ灌腸シ二週間就褥安靜ヲ命ズ○切除法ハ肛門ヲ鈍ニ開キ皮膚ト粘膜トノ界ニ四個ノ把握鉗子ヲ置キ次ニ肛門ヲ周截シ痔核ヲ有スル粘膜ハ癩ノ終末迄鈍ニ剝離シテ之レヲ切除シ次ニ

止血シ次ニ連續縫合ヲ以テ外皮ニ接合ス

複方大黃散 〇、〇五

右每夕一乃至二茶匙

重曹 一〇、〇

大黃末 五、〇

茴香油 三滴

白糖 三〇、〇

右每夕一茶匙宛水ニテ用ユ

精製硫黃 一〇、〇

重酒石酸カリウム 一〇、〇

薑根舍利別 一五、〇

橙皮舍 一五、〇

右爲砥劑一茶匙宛

沈降硫黃

煨製マカ子シア 各一五、〇

純精酒石 各一五、〇

茴香油糖 二〇、〇

右一日一回乃至三回一茶匙宛

硫酸鐵

蘆薈末 各二、〇

葛蒲越 適宜

明礬 右調和丸二十粒ニ作り朝夕二粒

タンニン酸 各一〇、〇

カ、カ脂 適宜

右調和坐藥十個ニ作り肛門挿入

阿片越 (出血ノ際)

ラノリン 一六、〇

ワゼリン 四、〇

右調和軟膏ニ作り貼用

十倍アルトホルム軟膏 二〇、〇

右外用(鎮痛)

イチヒオール 〇、一

ヨードフォルム 〇、三

痔核

カ、オ脂	二、〇	右爲坐藥與三個一日一個
荳蔻越	〇、五	
ヨードフォルム	各〇、一	
醋酸鉛	一〇、〇	
ワセリン	右爲軟膏外用	
ナルトフルム	〇、二	
カ、オ脂	二、〇	
鹽莫	〇、〇一	右爲坐藥與三個一日一乃至三箇
カ、オ脂	二、〇	
甘汞	〇、二	右爲坐藥與三個一日一個
ペラドンナ越	各〇、〇二	
阿片越	二〇、〇	
單軟膏	右爲軟膏(坐浴後塗擦ス)	
荳蔻越	〇、〇二	
カ、オ脂	二、〇	右爲坐藥與三個一日一個
タンノホルム	〇、二	
荳蔻越	〇、〇一	
カ、オ脂	二、〇	
麥角越	一、〇	右爲坐藥與四個每日二回一個宛
餾水	一〇〇、〇	
右調和糞法料(脫出痔核ニ用キテ効アリ)	〇、八	
クリサロピン	〇、三	
ヨードフォルム(或ハアイロール)	〇、六	
荳蔻越	二五、〇	
ワセリン	右調和軟膏ニ作り先ツ五十倍ノ石炭酸水ヲ用キ痔核ヲ洗滌拭乾	

沃剝	ノ後布片ヲ用キテ塗擦ス(注意)	二、〇
ヨード	〇、二	
グリセリン	三五、〇	
右綿花ニ浸シ患部ニ貼用ス毎二時乃至三時ニ交換スベシ		
鹽酸コカイン	〇、三乃至〇、五	
ラノリン	各〇、〇五	
ワセリン		
右軟膏ニ作り先ツ石鹼ヲ以テ患部ヲ擦拭シタル後塗布ス		
カイカインベ	一、〇	
薄荷腦	〇、二	
オレーフ油	二、〇	
ラノリン	一〇、〇	
右爲軟膏外用		
其他牛乳療法カル、ス泉鹽等		

### 夜盲症

(網膜不敏症)

Hemeralopic. ヘルラロピー

**原因** 眼底ニ變狀ナクシテ來ルモノハ營養不良(監獄貧院等ニ於テ多シ) 強烈ナル光線ニ基クモノアリ、分娩前後ニ發スルモノアリ夏期幼者ニ發スルコト多シ

**診候** 黄昏ニ至レバ視力忽チ減ジ殆ンド盲人ノ如シ然レトモ一タビ燈光ニ對スレバ又俄ニ視力増加ス眼底ヲ檢スルニ著明ノ變化ヲ認メズ

**豫後** 概チ良但シ角膜軟化症ヲ續發スレバ不良

夜盲症

療法 肝油、最モ効アリ其他アンチピリン、キニーチ、鐵劑、沃剝ノ内服又々食餌的療法トシテ鷄肝、牛肝、鰻、鱈等ヲ與ヘテ効アリ

### 偏頭痛

Hemikranie.

ラヘミク

Migräne.

ミグレ

原因 遺傳、神經衰弱、過勞、月經異常、貧血、萎黃病、ヒステリー、悲哀、憤怒、麻拉里亞、儂麻質斯、便秘鼻扁桃腺ノ疾患等ニシテ女子ニ多シ

診候 不快、眩暈、耳鳴、眼火閃發、惡心、欠伸等ヲ前驅症トシテ偏側頭痛(左側ヲ多シトス)ヲ發シ音響光線ニ對スル知覺過敏、惡心嘔吐ヲ發ス而シテ瞳孔縮小、患側頭部ノ潮紅及ヒ温度上昇、顛顫動脈ノ怒脹スルモノト(脈管痙攣性偏頭痛)又ハ瞳孔散大、患側頭部ノ蒼白色トナリ其顛顫動脈ノ硬索狀ニ隆起スルモノ(脈管痙攣性偏頭痛)トノ二種アリ

豫後 生命上ノ豫後ハ良ナルモ根治シ難シ但シ高齡及月經閉止期ニ治スルコトアリ

療法 血液及ヒ消化器ニ關スル諸變常ヲ除キ精神ノ興奮ヲ避ケ殊ニ發作

中ハ可及的安息靜養ヲ命シ其室ヲ暗クシ頭部ニ熱キ琶布ヲ貼シ偏頭痛桿(メントール)ヲ以テ額ヲ摩擦スベシ○藥劑ニハ「ザリチール」酸劑、キニーチ、カフエイン、臭剝等ノ内用其他感傳電氣或ハ刺戟性脚湯或ハ「ケルン」水ノ頭部洗滌或ハ「エーテル」ノ頭部點滴及按摩法等ヲ用井テ効アリ○劇痛ニハ「モルヒチ」ノ皮下注射ヲ行フ本病ハ頑固ニシテ種々ノ藥劑ヲ試ムルモ効ナク患者ヲ絶望セシムルコトアリ反射性偏頭痛ノ場合ニハ鼻粘膜ノ燒灼扁桃腺ノ切除ニヨリ治スルコトアリ

ワリドール

二〇、〇

アスピリン

一、〇

每二時五滴

右同上

撒曹

一、〇

ロイマン

右爲一包與三包發作時一包

右塗擦料

サリピリン

一、〇

ピラミドン

〇、三乃至〇、六

右爲一包與三包發作時一包

右同上

ザロール

一、〇

ミグレニン

一、〇

右同上

ザロフェン

一、〇

バスタ、グアラナ

〇、八

右同上

白糖

〇、五

偏頭痛

三三五

右同上

カフエイン

〇、一

乳糖

〇、三

右爲一包與三包一日三回一包宛

鹽規

〇、五

白糖

二、〇

右三包ニ分子發作十五分前ニ用

臭素酸カフエイン

一、〇

白糖

二、〇

右研和散十包ニ分子朝夕每一包

拘櫟酸カフエイン

一、〇

フエナセチン

二、〇

白糖

一、〇

右研和散十包ニ分子澱粉糞ニ包

ミ

每二乃至三時一包

アロウカガリウム

五、〇

餾水

一八〇、〇

單舍

二〇、〇

右調和一日三回毎二食匙

アンチピリン

五、〇

右散五包ニ分子發作ノ始メニ當

ザロフェン

〇、五乃至一、〇

右爲一包與三包一日三回分服

ラクトフェニン

〇、五乃至一、〇

右爲一包同上

アンチネルゲン

白糖

各〇、五

右爲一包與十包毎二時一包

疼痛ノ初期ニハ撒曹一、〇ヲ用キ疼痛

止ムニ至ルマデ毎一時一、〇ヲ服用ス

但シ耳鳴ヲ發スレバ之ヲ止ム又一茶匙

ノ食鹽ヲ用ユルコトアリ

撒曹

各一〇、〇

薄荷油糖

各一〇、〇

右爲一包與三包發作時一包

薄荷腦

一、〇

オレオフル

〇、五

ラノリン

八、五

右爲軟膏額及顙額部ニ塗擦ス

顔面蒼白ニシテ脈少ナル者ニハ

亞硝酸アミール

五、〇

右一乃至五滴ヲ布片ニ滴下吸入

ニトログリセリン

〇、五

餾水

五〇、〇

右先ツ一二滴ヲ用キ三分ノ後更

ニ二三滴ヲ用ユ

### 歇兒尼亞

Hernia

ヘルニア

原因

先天性「ヘルニア」ハ先天性發育不全ニ基シ後天性「ヘルニア」ハ腹

腔内壓ヲ増加スルノ諸件即チ重物扛舉、劇甚ナル咳嗽、號叫努責等ニ

因ス男子ハ婦人ヨリ多キコト四倍ナリ而シテ鼠蹊「ヘルニア」ハ八十%

股「ヘルニア」ハ十%臍「ヘルニア」ハ五%ヲ算スル比例ナリ（陸軍省醫

務局年報ニ曰ク明治廿年ヨリ廿二年ニ至ル三年間ノ徵兵適齡者ニ就キ

テ算スルニ百四十四人中一人「ヘルニア」患者アル比例ナリ）

診候

還納性「ヘルニア」ニ在テハ起立、歩行、咳嗽等ノ際腹腔ヨリ一定

ノ部（臍ヘルニア腹壁ヘルニア外鼠蹊ヘルニア内蹊鼠ヘルニア股ヘル

ニア閉鎖ヘルニア坐骨ヘルニア會陰ヘルニアノ別アリ）ニ腫瘍ノ如キ

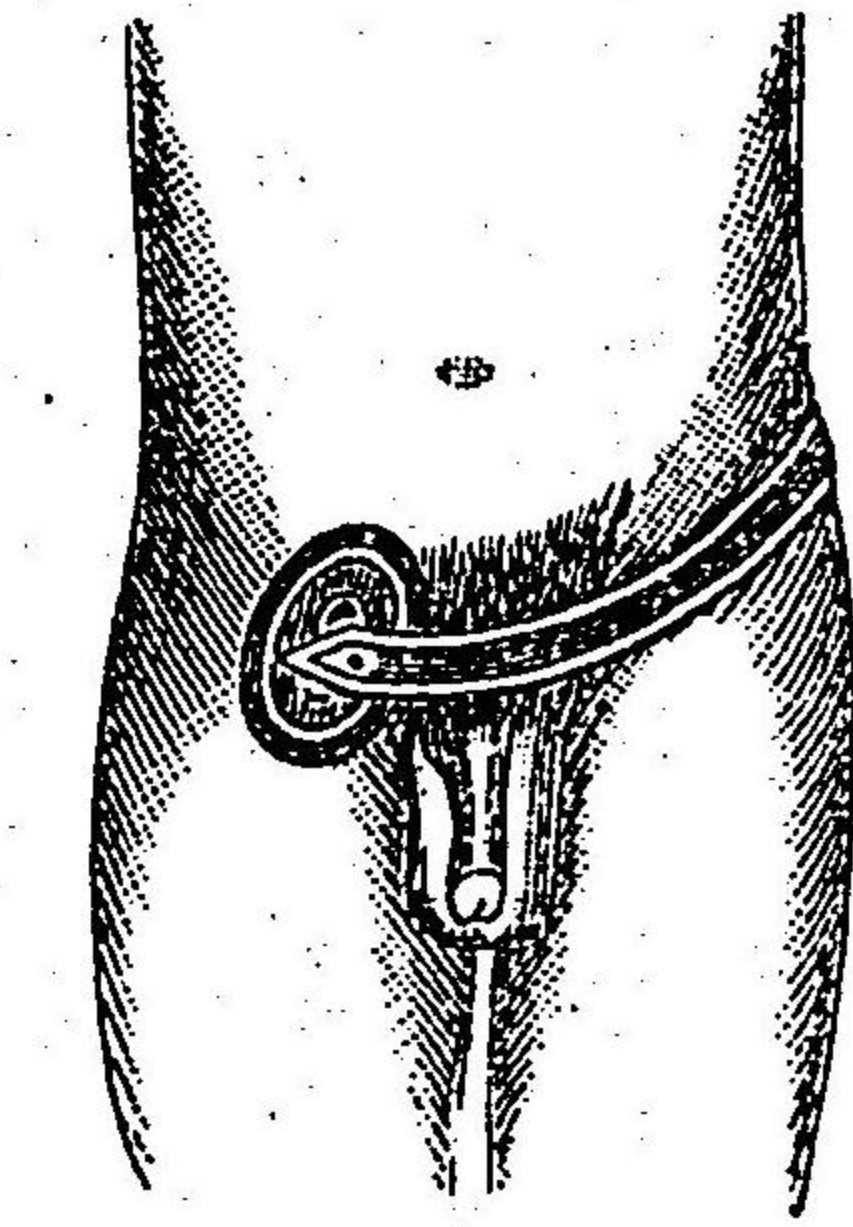


モノ現出シ（打診音ハ通常鼓音而シテ患者靜臥スル片ハ腹内ニ還納ス  
其際指頭ヲ共ニ送ル片ハ「ヘルニア」門ヲ觸知ス該門大ナルトキハ指頭  
ヲ腹内ニ達セシムルヲ得ベシ○不還納性「ヘルニア」ハ「ヘルニア」囊ト

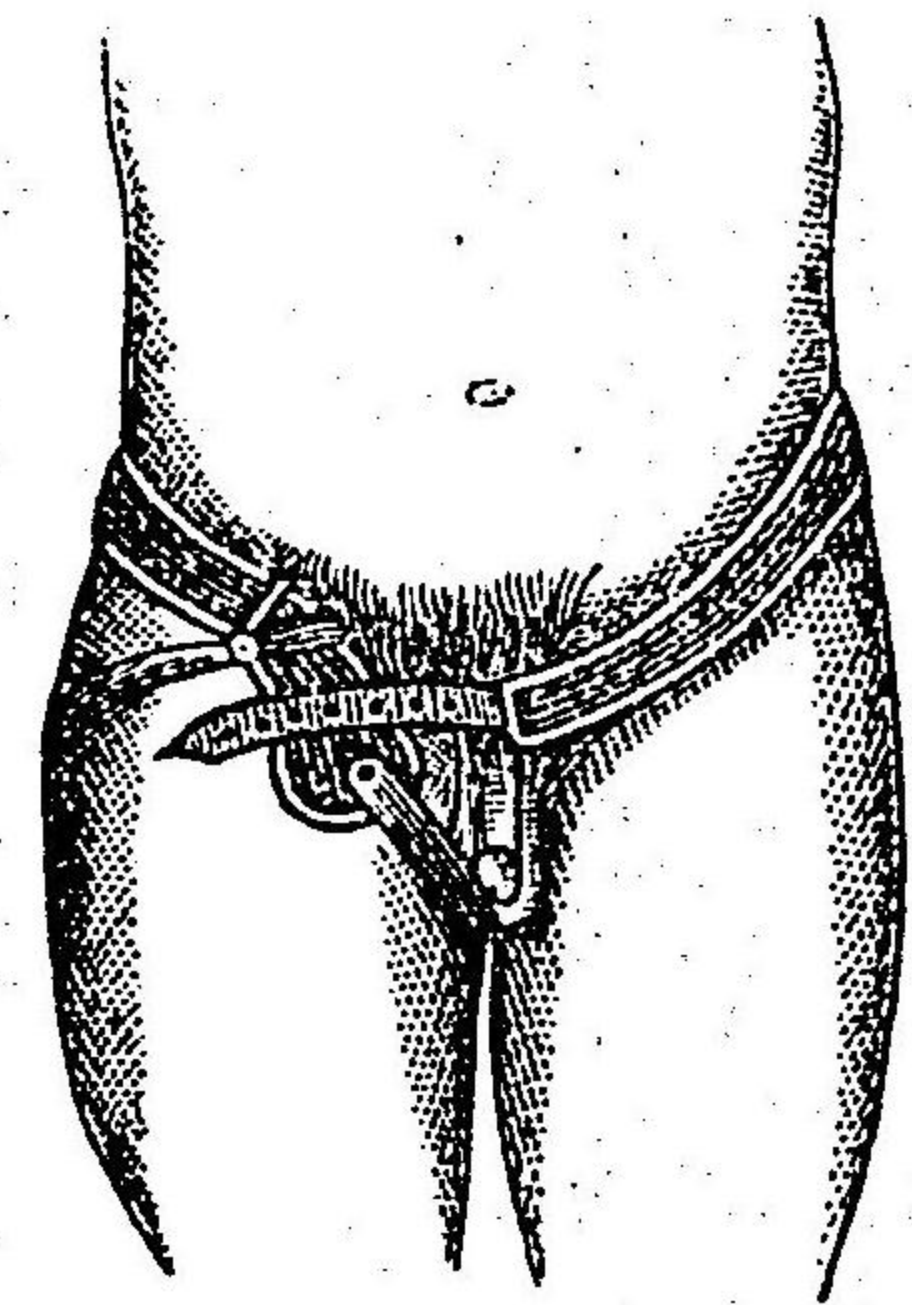
獨逸「ヘルニア」帶ニテ鼠蹊  
「ヘルニア」ヲ固定シタル圖

英吉利「ヘルニア」帶ニテ鼠蹊  
「ヘルニア」ヲ固定シタル圖

圖二十三第



圖三十三第



内容トノ癒着シタルトキ或ハ囊内網膜肥厚シタル片或ハ盲腸若クハS  
字狀部ノ其附屬腸間膜ト共ニ「ヘルニア」囊内ニ入りテ移動シ難キトキ  
或ハ「ヘルニア」門及囊頸部大ナルトキ或ハ嵌頓シタルトキニ生ズルモ  
ノニシテ腫瘍狀ノモノ腹腔内ニ退却スルコトナシ○嵌頓「ヘルニア」ニ

在テハ「ヘルニア」不還納性トナリ疼痛ヲ發シ皮膚モ亦潮紅腫脹シ便秘  
嘔吐、吐糞、發熱、脈搏甚ダ頻數等、若シ自然ニ還納シ或ハ糞瘻ヲ生  
ジテ自ラ治シ若クハ手術ニ由テ還納シ得タル場合ヲ除クトキハ卒然心  
臟麻痺ニ由テ死シ或ハ腸壞疽ヲ起シテ腐敗性腹膜炎ヲ發シテ死ス  
豫後 還納性ハ良、不還納性ハ嵌頓ヲ發スル虞多シ嵌頓「ヘルニア」ハ不  
良ニシテ死亡數二十四%

療法 還納性「ヘルニア」ニ在テハ「ヘルニア」ヲ完全ニ還納シタル後直チ  
ニ「ヘルニア」帶ヲ用ユベシ其「ヘルニア」帶ニシテ固定シ克ハザル者ニ

ハ根治手術ヲ施スベシ不還納性「ヘルニア」ニシテ小ナル者ニハ回窩壓  
定子ヲ有スル「ヘルニア」帶ヲ施シ或ハ根治手術ヲ用井大ナル者ニハ常  
ニ根治手術ヲ用ユ○嵌頓「ヘルニア」ニ在テハ先ツ還納法ヲ施ス（但壞疽  
ノ兆ナキ片ハ）即チ患者ヲ平臥セシメ骨盤ヲ高クセシメ股及膝關節ヲ  
屈シ（坐骨「ヘルニア」ニハ下肢伸展開鎖「ヘルニア」ニハ下肢屈曲外轉）  
腹壓ヲ減ジ先ヅ「ヘルニア」ノ根帶ヲ撮ミ輕ク之ヲ牽引移動シテ「ヘル  
ニア」門ヨリ疎解ヲ試ミ次ニ雙手ノ指ニテ平等ナル壓チ「ヘルニア」  
根帶ニ加ヘ嵌頓腸管内ノ内容ヲ腹腔内ニ壓送スベシ若シ瓦斯退却シテ

「ヘルニア」縮少スレバ還納法其効ヲ奏ス〇以上ノ方法ヲ取ルニ種々アリ即チ施術前ニ全身温浴或ハ琶布或ハ氷囊、或ハ「エーテル」滴下（陰囊、陰莖若クハ陰唇ニ先ヅ油ヲ塗り次ニ毎十五分間ヅ、ヲ隔テ反覆シテ四十五分乃至三時間ノ後ニ至レバ還納容易ナリ）是ナリ〇若シ以上ノ定式還納無効ナルトキハ「クロ、フオルム」麻醉ヲ行ヒ再ビ定式還納法ヲ行フ而シテ尙ホ無効ナルトキハ遂ニ「ヘルニア」切開術ヲ行フベシ〇嵌頓已ニ久シキヲ經タルモノハ壞疽ノ虞アルヲ以テ直チニ「ヘルニア」切開法ヲ用ユ

### 水疱疹 Herpes. ヘルペス

**原因** 肺炎、間歇熱等ノ熱性病、帶狀疱疹ハ神經節ノ疾病等  
**診候** 口圍、鼻邊、唇緣、龜頭包皮、小陰唇等ノ粘膜或ハ皮膚ノ軟弱ニシテ知覺過敏ナル部ニ搔痒及灼熱ノ感ヲ前驅シテ發スル水疱疹〇皮膚神經ノ分布區ニ應ジテ群生シ神經痛ヲ伴ヒ概チ偏側ニ生ズ  
**療法** 其自然良能ニ任せ唯水疱ノ存在スル間ハ澱粉ヲ撒布シ已ニ痂皮ヲ結ヘル者ニハ脂肪ヲ塗布シ以テ之レヲ軟化セシメ且ツ過當ノ保護繃帶ヲ施ス

酸化亞鉛	各五、〇	覆盆子舎	一五、〇
澱粉	右研和撒布用	右調和含嗽料	ラタニア丁
硼酸	二、〇	右塗布料	二〇、〇
ヲノリン	二〇、〇	帶狀疱疹ノ疼痛ニハ「モルヒネ」ノ皮下注射或ハ左方ヲ處ス可シ	アンチピリン
發熱性虹彩狀疱疹ニハ左方	〇、五		
鹽規	一、〇	右爲一包與六包一日三回一包宛	荳蔻越
白糖	二、〇		ワセリン
右調和散五包ニ分チ毎三時一包			右調和軟膏ニ作ル
口内ニ發スル虹彩狀疱疹ニハ左ノ處方			十倍オルトホルム軟膏
クロール酸カリウム	二、〇		右外用
餽水	二〇〇、〇		

### 寄生性匍行疹 Herpes tonsurans

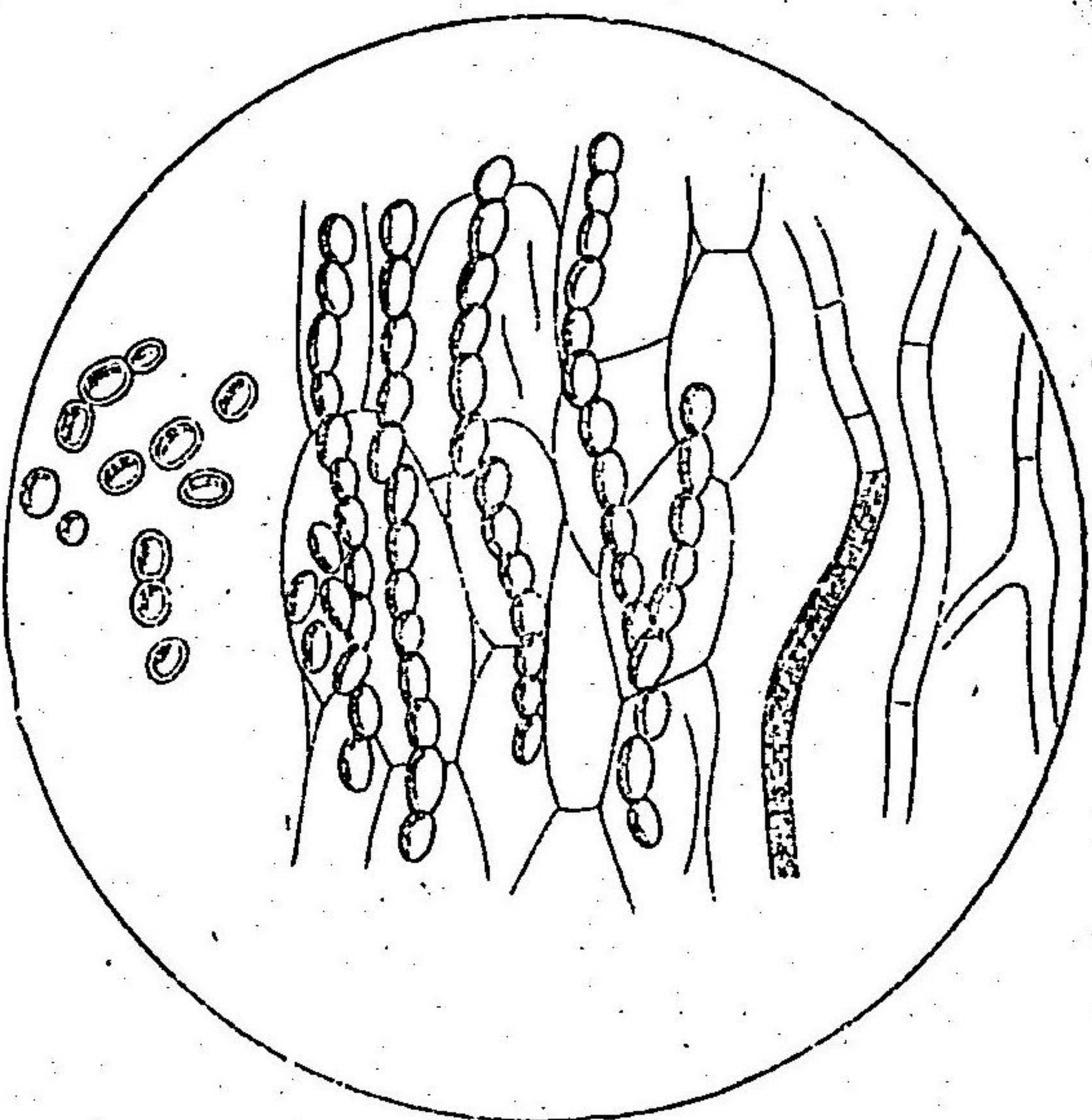
ヘルペス、トシメラス

**原因** 「トリヒョヒートン、トシメラス」ト名ヅクル寄生植物ニ因ス  
**診候** 表皮ノ剝脫ヲ伴フ赤色疹ニシテ周圍ニ蔓延シ其蒼痕白色ニ變ス多

水疱疹 寄生性匍行疹

クハ毛髮ノ有ル所ニ發生シテ其毛髮ヲ荒蕪ス  
療法 其蔓延尙ホ輕微ナル者ニハ塗擦石鹼軟膏撒布藥等ノ外用ニテ足レ

第三十四圖



トリヒョヒートン

トングラニス

(寄生性匱行疹  
ノ原因)四百倍

リト雖モ廣大ナル者ニハ先ヅ石鹼浴ヲ行ヒ而後石炭酸溶液或ハ「サリ  
チール」酸液ヲ塗擦次テ更ニ澱粉ヲ撒布ス○頭皮木症ニハ白癬ニ對ス  
ル處方ヲ以テス

エヒカリン 二、〇  
無水アルコホル 二〇、〇

其一日一回患部洗滌後塗布  
十%ナフトール酒精 二〇、〇

右外用  
五乃至十%サリチール酸酒精 二〇、〇

右外用

サリチール酸 一、〇  
精製硫黃 三、〇

綠石鹼 各五、〇  
ルスクス油 二〇、〇

豚脂 右爲軟膏外用

寄生性匱行疹

サリチール酸

ルスクス油

綠石鹼 右爲石鹼膏外用

硫黃

ベルガモツト油

豚脂 右爲軟膏外用

ルスクス油

カリ石鹼

硫黃乳

ラヘンデル精

ベルレーバルサム

ナフトール

五、〇

二五、〇

一五〇、〇

一〇、〇

二、〇

二〇〇、〇

一〇、〇

二五、〇

一〇、〇

五〇、〇

一五、〇

五、〇

右混和塗擦用	ナフトール	一、〇
カリ石鹼精	プランドール酒	一〇〇、〇
右塗擦用	右調和毎日二回塗布但二三日間持長	一〇〇、〇
石炭酸	苛性カリ	二、〇
ラヘンデル精	右炭酸	一、〇
プランドール酒	ラノリン	九〇、〇
右調和塗擦料	カ、オ脂	三〇、〇
サリチール酸	右調和軟膏ニ作ル	五、〇
ラヘンデル精	クリサロピン	二五、〇
プランドール酒	ラノリン	一〇、〇
右調和塗擦料	豚脂	一〇、〇
アントラロビン	右刷子ヲ以テ擦入ス(顔面ニハ用ユベカラズ)	二、〇
オレフ油	クリサロピン	二五、〇
ラノリン	トラウマチチン	一〇〇、〇
右外用	右塗布料(顔面ニハ禁ズ)	一〇〇、〇
アントラゾール	綠石鹼	一〇〇、〇
ワゼリン		

ナフトール	ワゼリン	五〇、〇
ラヘンデル精	右調和軟膏ニ作ル	五、〇
右調和二三日間毎夕塗擦	白降赤	四〇、〇
グリサール	ラノリン	一〇、〇
ワゼリン	ワゼリン	一〇、〇
ラノリン	右調和軟膏ニ作ル	
右外用	ウキルキンソン氏軟膏ヒロガル、ス軟膏ヲ用ユ就中軀幹ニ發スル斑狀截髮瘡疹ニ用キテ効有リ	
皮膚炎ヲ呈スルニ至テハ左方ヲ用ユ		
酸化亞鉛		

### 眼瞼麥粒腫

Hordeolum. ホルデテールム

**原因** 春季發動期ニ多シ

**診候** 睫毛脂腺ノ化膿性炎ニシテ睫毛ノ近傍ニ發生ス麥粒狀黄色ノ尖端ニ露ハレ周圍腫起潮紅シテ疼痛アリ

**療法** 温巻法ヲ行ヒ而シテ時期ノ適應シタルモノハ切開シ或ハ膿點上ノ睫毛ヲ拔去シ排膿スベシ○屢々再發スルモノハ其炎症ヲ呈セザル時間ニ於テ毎夕左ノ軟膏ヲ外用ニ供シ結膜ニ收斂劑ノ點眼必要ナリ

混性酸化汞 〇、一  
 ラノリン 五、〇  
 ガリセリン 適宜  
 右爲軟膏塗布料  
 黃降汞 〇、二  
 ワセリン 五、〇  
 右調和軟膏ニ作ル  
 白降汞 〇、二  
 ワセリン 五、〇  
 右爲軟膏外用  
 赤降汞 〇、二  
 五、〇  
 緩和軟膏

右調和軟膏ニ作ル  
 硫黃乳 一〇、〇  
 プランデー酒 五〇、〇  
 ラヘンデル精 一〇、〇  
 ガリセリン 一、〇  
 右調和硝子桿頭ヲ用キテ毎夕眼  
 瞼ニ塗布ス  
 收斂薬法ハ再發ヲ防グノ効アリ  
 タニン酸 一、〇  
 一〇〇、〇  
 一〇〇、〇  
 右每三四日薬法料トナス

### 角膜翳

Hornhauttrübung.

ホルンハウトトリウブング

原因 角膜炎、角膜潰瘍、角膜營養障碍、外傷、鉛製劑ノ誤用經久刺戟  
 等ナリトス  
 診候 脂肪變性、結締織新生、石灰鹽類ノ沈着等ニ由ル角膜ノ溷濁ナリ

其白色不透明ナルヲ白斑 (Leucoma ロイコーマ)、稍ヤ灰白色ヲ帯ビ  
 半透明ナルヲ斑翳 (macula マクラ)、殆ンド透明ナルヲ薄翳 (Nidecta  
 ヌベクラ)ト云フ又白斑ニ虹彩ノ癒着スルモノヲ癒着性白斑ト云フ其  
 位置及性状ニ依リテ視力障害アリ  
 療法 濃厚ナルモノハ除去シ難シ適當ノ部ニ虹彩切除ヲ行フベシ淺在性  
 角膜翳ニハ温卷法及左方ヲ處スベシ

甘汞 五、〇  
 右撒布料密閉シテ黑色瓶ニ貯フ  
 用法ハ毛筆ヲ用キテ角膜ニ撒布  
 シ其量小雲片狀ヲ呈スルヲ度ト  
 ス  
 黃降汞 〇、一乃至〇、五  
 ワセリン 一〇、〇  
 右結膜囊ニ點入ス(黃降汞軟膏)  
 沃剝 〇、一  
 重曹 〇、二五  
 一五、〇  
 一〇、〇

右點眼料  
 角膜翳ニ尙ホ透明トナルベキ望  
 アルモノニハ黃降汞軟膏ヲ點入  
 シ五分間ツ、眼瞼上ヨリ按摩法  
 ヲ行ヒ又一日二三回毎三十分時  
 間ノ温卷法ヲ行フモ可ナリ  
 不治症ニハ入墨法ヲ行ヒ然ル後チ可成  
 細狭ナル方式ニテ假瞳孔ヲ作ルベシ  
 ギオニン 〇、一—〇、五—一、〇  
 ワセリン 一〇、〇  
 右爲軟膏一日二回點眼後眼瞼上

ヨリ按摩スベシ

留水

一〇、〇

ヨザピン

一、〇

右毎回一筒結膜下注射

### 陰囊水腫

Hydrocele. 水腫

#### 原因

急性陰囊水腫(急性莢膜炎)ハ外傷、淋毒性副睪丸炎及睪丸炎ニ續發ス○慢性陰囊水腫(慢性莢膜水腫)ハ外傷、睪丸炎及ビ副睪丸炎ニ續發シ或ハ先天性ニ發シ或ハ急性ヨリ轉ズ

#### 診候

急性炎ニ於テハ潮紅、腫脹、疼痛ヲ發シ發熱ヲ伴フ○慢性症ハ陰囊ノ彈力性腫瘍性腫脹ヲ呈シ概テ光線ヲ透射ス

#### 豫後

良

#### 療法

急性症ニ於テハ安靜、氷罨法又ハ温罨法ヲ施シ提辜帶ヲ以テ固定ス可シ又イヒチオール軟膏ヲ塗布シテ効アリ○慢性陰囊水腫ニアリテハ根治的手術ヲ用ユベシ

### 水頭症

(腦水腫) Hydrocephalus. 水頭症

#### 原因

先天性及後天性ノ別アリ又唯腦室内ニノミ水ノ蓄積スル者アリ

第三十五圖



水頭症

(腦室水頭症)硬腦膜ト腦髓トノ間ニ水液ヲ含ムモノアリ(腦膜水頭症)佝僂病或ハ微毒ノ遺傳或ハ父母ノ暴酒等ニ因ス後天性ノモノハ多ク一年ノ頃發ス腦膜及腦室内膜ノ炎症

#### 診候

先天性ニハ頭部顛門及骨縫ノ開大、腦室ノ蓄水擴張等ニシテ後天性ニハ其他單純腦膜炎ノ徵候或ハ額大面小、痴鈍、健忘、搖擗等ノ諸症アリ其急性ニ來ル者ハ卒倒、麻痺、聾音等ノ卒中樣諸現症ヲ呈シ慢性ニ來ル者ハ嗜眠、失語五感鈍麻及謔語等ノ諸徵候ナリ

#### 豫後

不良

#### 療法

急性症ニハ腦膜炎或ハ腦充血ニ於ケルガ如ク氷罨法、冷水灌漑法、刺戟灌腸等ヲ行フ腰推部穿刺ハ一時的ナルモ腦ノ壓迫ヲ緩解ス即チ之ヲ施ス部位ハ第三ト第四ノ腰椎ノ椎弓間ニ施ス者アリ針ハ普通ノ皮下注射

陰囊水腫 水頭症

ニ用ユルモノヨリ少シク大ナルモノヲ用ヒ刺スニ大抵ニ仙迷ニシテ漏  
出セシムル液ハ三、五—一〇、〇立方仙迷トス〇小兒ノ慢性腦水腫ニハ  
佝僂病及ヒ腺病ノ治則ヲ要スルガ故ニ適當ノ滋養ヲ與ヘ市外ノ空氣ヲ  
呼吸セシメ良性ノ母乳、鐵、肝油等

ヨードフォルム 一、〇乃至二、〇  
ヨードナトリウム(或ハ沃剝) 三、〇  
コロザウム 一〇、〇  
單舎 一〇〇、〇  
一五、〇

右調和塗布料(前額、顛額及頭部  
ハ毎日數回)

含糖炭酸鐵 五、〇  
白糖 二、〇  
甘汞 一、〇  
白糖 五、〇

右研和散十包ニ分チ朝夕每一包  
右十包ニ分チ毎日三乃至四包

### 腦充血 Hyperaemia cerebri

ヒペレミア、チエレブリー

**原因** 實性虛性ノ別有リ實性充血即積血ハ心季亢盛、腦及軟腦膜ノ炎症、  
營養障礙或ハ卒中質ノ血族、暴酒、精神過勞、便秘、胃病、經閉、側  
枝血行障礙等ニ來リ虛性鬱血肺萎縮、肺氣腫、肺癆、強剩ノ咳嗽、咽  
喉狹窄、心瓣膜病、脂肪心、心臟麻痺、腦脈管交感神經麻痺等ナリ

**診候** 要スルニ積血ニ在テハ前頭及顔面灼熱潮紅、耳鳴、結膜充血、瞳孔  
縮小、眼火閃發、頸動脈及顛額動脈ノ搏動、脈搏疾速確實、頭痛、譫  
語、搖擲、痙攣其他腦卒中様ノ諸徵候ニシテ鬱血ニ在テハ頭痛、耳鳴、  
眼華閃發等ノ諸症ナレトモ結膜充血顔面潮紅等ナク皮膚冷蒼ナルヲ常  
トス

**豫後** 良ナルモ急性發作中ニ死スルコト無キニ非ラズ又慢性ハ原因ニ依  
テ異ナリ

**療法** 原因療法ヲ主トシ酒、茶、珈琲ヲ禁ジ房事ヲ慎マシメ便通ヲ整ヘ  
凡テ心身ノ過勞ヲ禁ズベシ而シテ重キ發作アルトキニハ頭部ヲ高ク安  
臥セシメ其病室ヲ暗クシ是ニ於テ瀉血或ハ頭部及心臟部ノ氷罨法ヲ行  
ヒ四肢ヲ温包シ峻下劑ヲ投ジ或ハ灌腸ヲ施ス

甘汞 各〇、五  
乳糖 各〇、五  
脚温ヲ施ス  
右三乃至四食匙チ脚湯ニ加ヘテ

水蛭 右爲一包頓用 五條  
芥子末 微温湯 等分

右頤顛部或ハ耳後ニ貼用スベシ  
右粥様トシテ布片ニ攤シ薄キ綿  
紗ニテ腓腸部ニ貼ス五分乃至十

五分間ノ後灼熱ヲ感スルニ至リテ之レヲ除去ス

### 結膜充血

*Hyperaemia conjunctivae.*

ヒペレミア  
コジエニクチーウエ

**原因** 塵埃、風煙結膜囊内異物、強光線ノ刺戟、屈折異常、不適當ノ眼鏡、眼ノ過勞等

**診候** 結膜血管充血、羞明異物、乾燥ノ感及頭痛ヲ訴ヘ久シク執務ヲ持續スルコト不能(結膜性眼精疲勞)流涙ヲ常トス但シ眼球結膜ヲ侵スニ至レバ分泌物多量ナリ

**療法** 原因ヲ除去センコトヲ要ス

一%コカイン水 一〇、〇

右點眼料

一%コカイン水

〇・六%明礬水

右一日三回點眼料

皓礬

茴香水

各五、〇

一日一乃至三回點眼スベシ

皓礬

阿片丁

溜水

右同上

〇・二五%硝酸銀水

右黑色瓶ニ貯ヘ一日一回點眼ス  
各五、〇

昇永

ワセリン

〇、〇〇三

一〇、〇

右點眼料

### 妊婦嘔吐

(惡阻) *Hyperemesis gravidarum.*

ヒペレメーシス、クラウキダールム

**原因** 妊婦ノ神經質、虛弱、萎黃病患者ニ來リ或ハ子宮收縮ニ關スル胃交感神經ノ反射的刺戟ヨリ來ル

**療法** 輕症ナル者ニハ「アルカリ」性礦泉(セルテル水等)ヲ飲用セシメ便通ヲ利シ勉メテ身體ノ運動ヲナサシム可シ〇其稍々重症ニシテ營養ノ不良ナル者ニハ氷片、コンニヤック酒シヤンパン酒等ヲ與フ可シ〇其重症ニシテ毫モ食物ヲ取ルコト能ハザル者ニ在テハ滋養灌腸ヲ行ハザル可ラス〇頑固ナル症ニハ子宮腔部ニ十倍ノ硝酸銀液ヲ塗布ス可シ〇諸法皆効ナク患者衰弱ニ陥井ラントスルトキハ最後ノ療法トシテ人工流産及早産ヲ促スニアルノミ、サレド其手術ニ適スル時期ノ撰定ハ甚々難事ナリ

乳糖

右分三包一日三回一包宛

〇、〇三

〇、五

半夏浸

乾薑

單舍

(一四、〇)一八〇、〇

二〇、〇

結膜充血 妊婦嘔吐

三五三



右一日六回二分

薄荷腦

一、〇

右爲三包一日三回一包宛

クロロフォルム

十滴

餾水

一〇〇、〇

右調和嘔吐後十乃至二十滴

鹽莫

〇、二

冰醋酸

適宜ヲ加ヘテ溶解シ更ニ

クロロフォルム

五、〇

純アルコール

一五、〇ヲ加ヘ

右調和五滴糖水ニ和ス

鹽酸コカイン

〇、三

白糖

三、〇

右十包ニ分チ一日二乃至三回一

包

沃丁

十滴

餾水

一五〇、〇

右毎二時一食匙砂糖水ニ和シテ

用ユ

オレキシシ

〇、三

右爲一包與六包一日三回一包宛

レゾルチン

二、〇

餾水

一八〇、〇

單舎

二〇、〇

右毎二時二食匙

クレンソート

二十滴

醋酸

四十滴

硫莫

〇、〇六

餾水

六〇、〇

右一日數回一茶匙ヲ水ニテ用ユ

薄荷腦

一、〇

酒精

二〇、〇

餾水

一五〇、〇

右調和毎時一食匙

### 多汗症

Hyperidrosis.

ヒペリドロシス

原因

交感神經ノ疾患ニ係ル皮膚血管神經ノ變常ナリ

診候

身體中殊ニ手足腋窩及ビ臀部等ニ於テ異臭ノ粘汗ヲ多量ニ分泌ス

療法

澱粉ヲ皮膚ニ撒布シ可及的之ヲ乾燥セシメ陰部及腋窩ニハ先ヅ綿

花ヲ挿入シテ軋瀾ヲ防グ可シ〇足汗ニハ輕キ靴ヲ擇ビ其内ニ澱粉末ヲ

撒布スベシ又屢々冷水洗滌、鞣酸浴、昇汞浴、櫛皮煎浴等ヲ用井テ効

アリ

ベタナフトール

一〇、〇

ケルン水

一五、〇

酒精

一七五、〇

右洗滌料(手ノ多汗症、カボシ

氏)

タンニン酸

一、五

レゾルチン

一、〇

酒精

五〇、〇

右塗布料一日數回(手ノ多汗症)

サリチール酸

一、〇乃至二、五

澱粉

五〇、〇

硅酸マグネシウム

五〇、〇

右混和撒布料

四十%フォルマリン

二〇、〇

右足蹠、塗布料(表皮剝離アルト

キハ禁ズ)

クロロム酸

三、〇乃至五、〇

アルコール

多汗症

三五五

各五〇、〇  
 右調和足蹠及ヒ趾間ノ皮膚ニ塗  
 布八乃至十四日毎ニ反覆ス（皮  
 膚ニ表皮剝離アルトキハ禁ス）  
 ツメノール 一〇、〇  
 ガリセリン  
 各四五、〇  
 右塗布料 一〇、〇  
 タンノホルム  
 右撒布料 五〇、〇  
 ヘプラー氏軟膏 五、〇  
 右毎夕貼用但シ晝間ハ撒布藥  
 ナフトール 五、〇  
 酒精 一〇〇、〇  
 ガリセリン 一〇〇、〇  
 右調和毎日一二回蹠面ニ塗布シ  
 テ更ニ其上ニ澱粉ヲ撒布ス  
 澱粉 五〇、〇

ナフトール 一、〇  
 右混和撒布藥  
 硼酸末 五、〇  
 フセリン 二五、〇  
 右調和軟膏ヲ作ル  
 醋酸礬土 二五、〇  
 澱水 二〇〇、〇  
 右調和洗滌料  
 タンニン 五、〇  
 酒精 二五〇、〇  
 右洗滌料  
 イヒチオール 各五、〇  
 テレピンテ油 一〇、〇  
 亞鉛華軟膏 一〇、〇  
 右塗擦料（塗擦前ハ先ツ樟腦丁幾  
 ナ以テ塗擦シ置クヲ要ス）

### 比斯的利

Hysteria.

ヒステリア

**原因** 多數ハ遺傳的ナリ即チ精神病、神經病ノ患者、罪人、奇人等ノ子  
 孫ニ發ス其他外傷、月經異常、萎黃病。貧血、喜怒哀樂等精神ノ感動、  
 生殖器病ノ反射的作用、鉛、アルコホル、煙草、水銀ノ中毒等基因ニ  
 シテ婦人ニ多シ然レドモ亦男子ニモ之ヲ發スルコト有リ

**診候** 些細ノ誘因ニ來ル悲憤哀憂等精神感動ノ變化不定〇五官ノ障害例  
 令ハ視野縮小、色盲、弱視、黑内障、耳鳴、難聽、聾、嗅味兩神ノ變  
 常〇知覺ノ障害皮膚知覺亡失ヲ全身ニ或ハ半側ニ或ハ一定部ニ發ス而  
 シテ一側ノ亡失部ニ金屬板ヲ貼シテ之レヲ他側ニ移轉セシメ得ルコト  
 尠ナカラズ之レヲ移轉法 Transfer 稱ス、皮膚知覺過敏モ亦タ諸部ニ  
 現ハル、コトアリ特ニ卵巢部ニ發スルコト最モ屢々ナリ卵巢痛ト云フ  
 其他諸種ノ神經痛〇運動ノ障害ハ麻痺痙攣及攣縮ノ三種ニシテ麻痺ハ  
 或ハ偏癱或ハ截癱或ハ單癱ナリ痙攣ハ間代性及強直性筋痙攣トシテ發  
 現ス攣縮ハ上肢ノ屈筋下肢ノ伸筋咬筋等ニ生ス又癲癇樣發作其他惡  
 心、嘔吐、吞酸、嘈噓、ヒステリー壓上等ノ諸症

隱後 生命上良、全治甚々難シ

療法 諸般ノ月經異常、萎黃病或ハ貧血症等凡テ其原因療法ヲ第一トシ  
而シテ子宮及ビ卵巢ノ狀態ニ注意シ腸管ノ機能ヲ整フ可シ○藥劑ニハ  
纈草プロームカリウム特效藥ナリト雖モ發作時ニノミ之ヲ投ズ可ク麻  
醉劑ハ可成之ヲ避クルニ如カズ○風氣ノ爲ニ發スル呼吸困難ニハ沸騰  
散又ハホフマン氏鎮痛液ヲ投ジ腦貧血ニハ興奮劑ヲ處ス可シ○其他適  
當ノ職業ヲ執リ且ツ新鮮ノ空氣中ニ運動セシメ時ニ或ハ按摩或ハプレ  
ーフェール、ミッツェル氏ノ「ヒステリー」療法(即チ嚴ニ褥中ニ在テ飽食  
安息ニ兼ヌル全身按摩ヲ以テスル者)ヲ施ス可シ○神經的療法ニハ冷  
水浴法、鑛泉浴、冷水浴ヲ行ヒ其他鎮痙藥ノ内服又ハ適應時ノ電氣療  
法、磁石療法、等ヲ試ム可シ

- 臭剝 六、〇
- 龍膽丁 二、〇
- 餹水 二〇〇、〇
- 右二日分服
- 纈草浸 (一〇〇、〇)一八〇、〇
- 臭剝 八、〇
- 單舍 二〇、〇
- 右一日六回二日分服
- 阿魏丁 各一〇、〇
- 纈草丁 十滴
- 薄荷油 右每日三回二十滴宛

- コロシント丁 五、〇
- 阿魏丁 一〇、〇
- 右朝夕十五乃至二十滴砂糖水ニテ用ユ
- 重曹 一〇、〇
- 酒石酸 九、〇
- 白糖 一九、〇
- 薄荷油糖 三〇、〇
- 右一乃至二茶匙(惡心)
- 醋酸鐵丁 二、〇
- 海狸丁 十滴
- 杏仁水 五、〇
- 右調和朝夕每五滴
- 乳酸鐵 各五、〇
- 大黃末 各五、〇
- 龍膽越 滴宜
- 右調和丸六十粒ニ作り一日三回每二乃至三粒
- 纈草丁 五、〇
- ヒステリー鎮靜水 二五、〇
- 右調和毎日三回一茶匙
- 枸橼酸キニー子 五、〇
- 泥莖越 適宜
- 右爲丸十粒毎日三乃至十九
- 纈草浸 (一〇〇、〇)一〇〇、〇
- 阿魏 二、〇
- 右調和一日三回每一茶匙
- 纈草浸 二、〇
- 海狸丁 五〇、〇
- 右調和一日四回每一茶匙
- 臭剝
- プロームナトリウム
- アロームアンモニウム 各三〇、〇
- 纈草浸 (五〇、〇)五〇〇、〇
- 右一日一回乃至三回茶ニ混シ一食匙ヲ用ユ

海狸丁 各二、〇  
 繭草丁 各二、〇  
 阿魏丁 五、〇  
 サフラン阿片丁 一、〇  
 右調和一日三回十滴  
 ヒステリリ性癲癩發作ニハ左方チ處ス  
 ロト下越 一、〇  
 鹽化亞鉛 五、〇  
 ゴム末及ゴム漿 適宜  
 右百丸ニ作り毎日二乃至三丸  
 硫酸ブホイシ 〇、〇四  
 餾水 二〇、〇  
 右發作時ニ於テ半筒乃至一筒注  
 射  
 抱水クロラル 二、〇乃至三、〇  
 鹽莫 〇、〇一乃至〇、〇二  
 白糖 二、〇  
 〇研和散ニナシ頓服

ヒステリリ性不眠ニハ左方チ與フ  
 ブルフオナール 〇、五乃至一、〇  
 右爲一包就眼前三十分湯ニテ用  
 ユ  
 パラアルデヒド 二、〇乃至三、〇  
 橙皮舎 一〇、〇  
 右調和頓服  
 抱水アミール 二〇、〇  
 右二茶匙チ一盞ノ麥酒ニ混和シ  
 テ用ユ  
 ゾムナール 一〇、〇  
 餾水 四五、〇  
 覆盆子舎 二〇、〇  
 右毎夕一食匙  
 トリオナール 五、〇  
 右分五包就眼前一乃至二包

### 魚鱗癬

Ichthyosis.

イヒチオーチス

原因 遺傳ノ他未詳

診候 眞皮炎ヲ伴ハザル表皮層鱗屑狀變化ニシテ四肢ノ背面殊ニ膝蓋

或ハ肘關節部ニ甚シキモノナリ患部疼痛或ハ癢痒等ノ感ナシ

豫後 生命上全ク良ナルモ全治シ難シ

療法 局處療法トシテ微温浴及脂肪、油類、肝油、藥用石鹼ノ塗擦等尙

ホ乾癬ノ條下チ參照スベシ内服ニハ肝油、ヨード劑(沃鐵舎)等

炭酸ナトリウム 三〇〇、〇  
 ワセリン 二〇、〇

右浴湯ニ加フ  
 ペタナフトール 二、五  
 ワセリン 二〇、〇

右塗擦料  
 肥厚セル皮膚ノ剝脱セル部ニハ  
 チノリン 四〇、〇

右塗擦料  
 ガノーフ油 一〇、〇

レゾルチン 二、〇  
 右外用

### 加答兒性黃疸

Icterus catarrhalis.

イクテリス  
 カタラーリス

原因

胃及十二指腸加答兒ノ波及ニ由テ輸膽管ノ加答兒性粘膜炎腫脹或ハ閉塞或ハ壓迫、(加答兒性黃疸、又々肝性黃疸)ニ因ス○飲食ノ不攝生、感冒、インフルエンザ、腸窒扶斯等

診候

結膜、皮膚及粘膜炎ノ黃色、脈搏遲徐(五十)頭痛、倦怠、神經抑鬱、舌苔黃色、食氣不振、皮膚癢、膽囊及肝臟ノ腫大、壓痛等ニシテ尿ハ暗褐色ニシテ振盪スレバ黃色ノ泡沫ヲ生ジ又クメリン氏ノ膽汁色素反應ヲ呈ス大便ハ灰白色ニシテ惡臭甚ダシ

豫後

良、通常二乃至四週ニシテ治ス

療法

其原因及ビ其諸症候ニ對スル療法ヲ要スルガ故ニ或ハ胃及ビ十二指腸加答兒ニ對スル所置ヲ行ヒ(該條下ヲ見ヨ)又發熱ニハ靜臥及ビ飲食ノ攝生(脂肪ヲ禁ズ)ヲ命ジ肝部ノ疼痛ニハ該部ニ温罨法其他下劑及ビ利尿劑ヲ與フ○皮膚癢ニハ温浴時ニ効ヲ奏スルコトアリ○ベルツ氏ハ「カル、ス」泉鹽ノ内服及毎日一回多量ノ冷水灌腸ヲ賞用ス

硫苦

二〇、〇

苦丁

三、〇

餽水

二〇〇、〇

右一日二回二日分服

人工カル、泉鹽

四〇、〇

餽水

三〇〇、〇

右一日三回二日分服  
人工カル、ス泉鹽

一五、〇

右爲一包與五包一包ヲ四〇〇、

○微温湯ニ溶シ毎朝空腹時頓服

撒曹

各五、〇

硫黃

各一、五

重曹

各一、五

右爲一包與十包一日一乃至二包

水ニテ用ユ

撒曹

五、〇

薄荷水

一五、〇

餽水

二〇〇、〇

右一日三回二日分服

重曹

各五、〇

白糖

各五、〇

右研和散ニナシ毎二時一刀尖

便秘ニハ「カル、ス」泉苦水等ヲ投シ其

効ヲ見ザレバ左方ヲ處スベシ

大黃浸(五、〇乃至八、〇)二〇〇、〇

薄荷油糖

三、〇

重曹

一〇、〇

右每二時一食匙

タマリンド煎 (二〇、〇)一五〇、〇

酒石酸

二〇、〇

マンナ舎

二〇、〇

右調和每一食匙

重曹

各一〇、〇

大黃根末

各一〇、〇

右每食後一刀尖宛

蕃木鼈越

〇、〇二

大黃末

二、〇

白糖

三、〇

右散十包ニ分チ毎日三包

ポトフヘルム

〇、二

ヒヨス越

〇、一

茴香油糖

五、〇

右散十包ニ分チ毎日二包

皮膚癢ニハ醋洗滌温浴或ハ左方

薄荷腦(或ハサリチール)酸 二、〇  
酒精 五〇、〇

右外用

小兒ノ黄疽ニハ安臥靜息ヲ命シ食禁ヲ  
嚴ニシテ脂肪ニ富メルモノ即チ乳汁、  
鶏卵、脂肪多キ肉類ヲ禁シ專ラ麵麩、馬

鈴薯ノ類、藥物ヲ與フ而シテ便通ヲ利  
スルガ爲メ左方ヲ處ス  
水製大黃丁 五〇、〇

右一日三乃至四食匙

又列氏十二度ヨリ始メ十八度ニ至ル迄  
ノ水半乃至一リール半ノ腸洗滌

### 吐糞病

Ileus. イノウス

原因 嵌頓ヘルニア、腸疊積、腸管壓迫、異物阻塞、宿便堆積、腸管轉  
捩、直腸狹窄等

診候 頑性、便秘、放屁缺如、劇性腹痛、嘔氣鼓脹、吐糞、嘔氣、發熱、  
淺息等ナリ○閉鎖小腸内ニアルトキハ尿中ノ「インヂカン」増加ス大腸  
ニアルキハ變化ナシ

療法 可及的原因療法ヲ施ス可キモノナルカ故ニ硬糞或ハ異物ノ如キハ  
之ヲ除クベシト雖モ糞便ノ堆積ニ依ル者ニ非ザル以上ハ峻下劑ヲ與フ  
ルコトナク凡テ阿片ヲ用井テ腸ノ蠕動機ヲ鎮靜ス可シ又「アトロピン」  
ノ皮下注射(〇、〇〇〇一乃至〇、〇〇二)ヲ用ユ○開腹術ヲ施シテ其障害

ヲ除キ或ハ腸吻合術或ハ人工肛門ヲ造ル等手術ヲ要スルモノ甚ダ多シ  
水製阿片越 〇、三  
白糖 二、〇

白糖

右研和十包ニ分チ毎二時一包

疼痛及嘔吐ノ劇甚ナルモノニハ「モル  
ヒ子」ノ皮下注射又ハガル氏腸洗滌ヲ  
施ス其法即チ一升乃至二升ノ水或ハ十  
倍ノ食鹽液ヲ腸内ニ注入ス或ハ左方

確苦

一五〇、〇

留水

右溶液ニ一升ノ水ヲ加ヘテ其全  
量ヲ腸内ニ注入ス 五〇〇、〇

常時若シ障礙物小腸ニアルトキハ胃ノ  
洗滌法ヲ行フテ其功ヲ奏スルコトアリ  
然レトモ以上ノ諸法ニシテ其効ヲ奏セ  
ザルトキハ直チニ外科的手術ヲ施スベ  
シ

### 傳染性膿疱疹

Impetigo contagiosa.

イムペチゴ、  
コンタギナーゼ

原因

黄色及白色醜膿葡萄狀菌等ニ因ル小兒ニ多シ

診候

專ラ先ヅ顔面手ニ水疱疹ヲ生ジ破レテ黃痂ヲ結フ

療法

原因ヲ除去シ脂肪或ハ油劑ニ因テ痂皮ヲ軟化シ而シテ軟膏ヲ用ユ

硼酸軟膏

一〇、〇

單軟膏

三〇、〇

右外用

右軟膏トナス

次硝蒼

三、〇

白降汞

二、〇

吐糞症 傳染性膿疱疹

ウゼリン

ラノリン

右爲軟膏

各一五、〇

昇華硫黃

ベルガモット油

ワゼリン

右爲軟膏外用

一二、〇

十二滴

五〇、〇

〇、五

### 陰痿

Impotenz. イムポテンツ

#### 原因

陰莖ノ器質變性或ハ情慾缺亡、恐懼憤怒羞恥等ノ精神感動、房事過度、手淫、慢性淋、膀胱加答兒、脊髓癆、糖尿病、臭剝或ハ忽布腺ノ中毒等ナリ

#### 診候

男子ノ交接不能或ハ射精不能或ハ精液内ニ精蟲ノ不在

#### 療法

先ヅ其原因器質的疾患或ハ精神的機能ニ在ルヤ否ヤニ注意シ而シテ其精神的機能並ニ手淫ニ因スルモノナルトキハ自己ノ神識ヲ亢奮セシメ又電氣療法或ハ水法ヲ行ヒ或ハ鐵劑療法ヲ施ス可シ若シ慢性淋病ナルトキハ攝護腺部ノ腐蝕或ハ尿道注射等其局處療法ヲ施ス可シ尙ホ遺精、尿道膿漏及ビ膀胱加答兒ノ條下ヲ見ヨ其他冷却消息子療法ナル方法アリ先ヅ「カテーテル」ヲ尿道ニ挿入シ之ヲ用井テ以テ始メニハ列氏十四乃至十六度ノ水ヲ通ジ次ヲ九乃至十度迄ノ冷水ヲ通ズルコト

其間五分乃至三十分時ヲ度トスルナリ〇又攝護腺部ニ左ノ坐藥ヲ挿入シテ良効ヲ奏スル「ア」リ（チツテル氏ボルト、ルメイード）ヲ用井テ挿入ス）

タンニン酸

〇、五

留水

一〇〇、〇

カ、オ脂

適宜

右一日六回二日分服

右長サ二仙迷ノ坐藥五個ニ作り

プロームカンフル

〇、二

始メハ毎日半個後ニハ一個挿入

乳糖

一、〇

ヨヒンビン錠（スピーゲル）

右三包トナシ一日三回一包宛

右一日三回一個宛

磷酸亞鉛

〇、六

スベルミンエッセンツ

蕃木鼈越

二、〇

毎日三四三十滴宛食前半時間

泥菖越

適宜

臭剝

右百丸トシ毎日三丸宛

龍膽丁

二、〇

### 流行性感胃

Influenza. インフルエンザ

#### 原因

千八百九十二年フワイフェル氏ノ發見シタル流行性感胃バチルレ

流行性感胃

診候

卒然惡寒或ハ寒戰發熱シ劇甚ノ頭痛、身體倦怠、食思欠乏、結膜  
鼻咽喉頭及氣管支加答兒ヲ伴フ(氣管支炎性インフルエンザ)又嘔吐  
或ハ吐瀉、食慾欠亡、腹痛等ヲ發スルコトアリ(胃腸炎性インフルエ  
ンザ)又劇甚ナル頭痛、眩暈、重聽、脊痛、薦骨痛、眼痛、四肢痛ヲ  
訴フルコトアリ(神經性インフルエンザ)子宮出血ヲ發スルコトアリ又  
屢々肺炎、肋膜炎、心内膜炎、中耳炎、皮膚疹等ヲ併發ス○續發症ト  
シテ最モ多キハ肺結核、神經衰弱及神經痛

豫後

流行時ニヨリテ良或ハ不良老人及ビ肺、心臟ノ疾病アルハ豫後不  
良ニ傾キ肺炎ヲ發スルトキハ豫後疑三日乃至數週

療法

臥褥ヲ命ジ咽喉頭ノ炎アルトキハ頸ニブリースニツツ氏罌法並  
ニ含嗽ヲ命ジ其他氣管支炎ニハ其對症療法ヲ施ス(氣管支炎ヲ參照)

サリピリン

○、五乃至一、〇

右爲一包與六包一日二乃至三回

一包宛(小兒ニハ〇、一乃至〇、

四)

アンチピリン

○、五

右爲一包與六包一日三回一包

フエナセチン

白糖

各〇、二五

右爲一包與十包每日二包

ピラミドン

○、三

右爲一包與五包一日三回一包宛

ラクトフェニン

○、五

右爲一包與六包一日三回一包宛

アスピリン

一、〇

右爲一包與六包一日三回一包宛

イントホルム錠

○、五

右毎日三回食後一―二個

ザロール

一、〇

右爲一包與六包一日三回一包宛

ザロフェン

○、五

右爲一包與六包一日三回一包宛

ロイマザン

二〇、〇

右塗擦料

○、三乃至〇、五

乳糖

〇、五

肋間神經痛

Intercostal-neuralgie.

インテールコスタール

原因

感冒、外傷、貧血、ヒステリー、惡液質、癩麻質斯、黴毒、中毒、  
麻拉里亞、脊椎病、脊髓病、帶狀疱疹、肋骨疾患、婦人生殖器病等

診候

發作性ニ起ル大底第五以下第八肋間ノ神經痛ナリ(左側ニ多シ)深

肋間神經痛

右爲一包與六包一日三回一包宛

鹽規

二、〇

右分十包一日三包

衰弱ヲ發シタルトキハ

安息香酸曹達カフエイン

〇、一

餾水

二〇、〇

右一日二乃至四回半筒乃至一筒

皮下注射

樟腦

一、〇

オレフ油

九〇〇

右一日數回一筒乃至二筒皮下注

射



吸氣咳嗽等皆之ヲ増劇ス。壓痛點ハ胸骨ニ於ケル前點。棘狀突起ノ側方ニ於ケル後點。其中間(中腋窩線)ニ於ケル側點ナリ。

**療法** 其原因療法ヲ勉ムベシ例ヘバ貧血ニハ鐵劑、微毒ニハ沃剝及汞劑、麻拉里亞ニハ鹽規、肋骨及椎骨疾患ニハ外科療法ヲ用井其他對症的ニシテ輕症ニハ先ツ安息靜止ヲ命ジ冷却療法或ハ温熱療法ヲ行ヒ重症ニハ芥子泥ヲ貼シ又モルヒ子ノ皮下注射電氣療法(消極ヲ脊椎上ニ積極ヲ神經ニ沿フテ)等ヲ施スコトアリ

- |               |       |          |       |
|---------------|-------|----------|-------|
| 撒曹            | 六、〇   | 右調和塗擦料   |       |
| 單舍            | 二〇、〇  | サリメントール  |       |
| 留水            | 一八〇、〇 | ヒヨスチヤムス油 |       |
| 右一日六回二日分服     |       | クロ、ホルム   | 各一〇、〇 |
| アンチピリン        | 一、五   | 右塗擦料     |       |
| 右三包ニ分チ一日三回一包宛 |       | フェラトリ子   | 各〇、一  |
| ヨードゾーゲン(六%)   | 一〇〇、〇 | 鹽莫       | 一〇、〇  |
| 右塗擦           |       | 緩和軟膏     | 一〇、〇  |
| クロ、フォルム       | 五、〇   | 右調和塗擦料   |       |
| ヒヨスチヤムス油      | 二〇、〇  | 水製阿片越    | 二、〇   |

- |          |      |                |           |
|----------|------|----------------|-----------|
| 緩和軟膏     | 一〇、〇 | エチール、クロリド      | (五、〇入硝子管) |
| 右調和塗擦料   |      | 右硝子管尖端ヲ破リ十乃至十五 |           |
| 鹽莫       | 〇、一  | 仙迷ノ距離ヨリ壓痛點上ニ噴霧 |           |
| 留水       | 一〇、〇 | スベシ            |           |
| 右調和皮下注射料 |      |                |           |

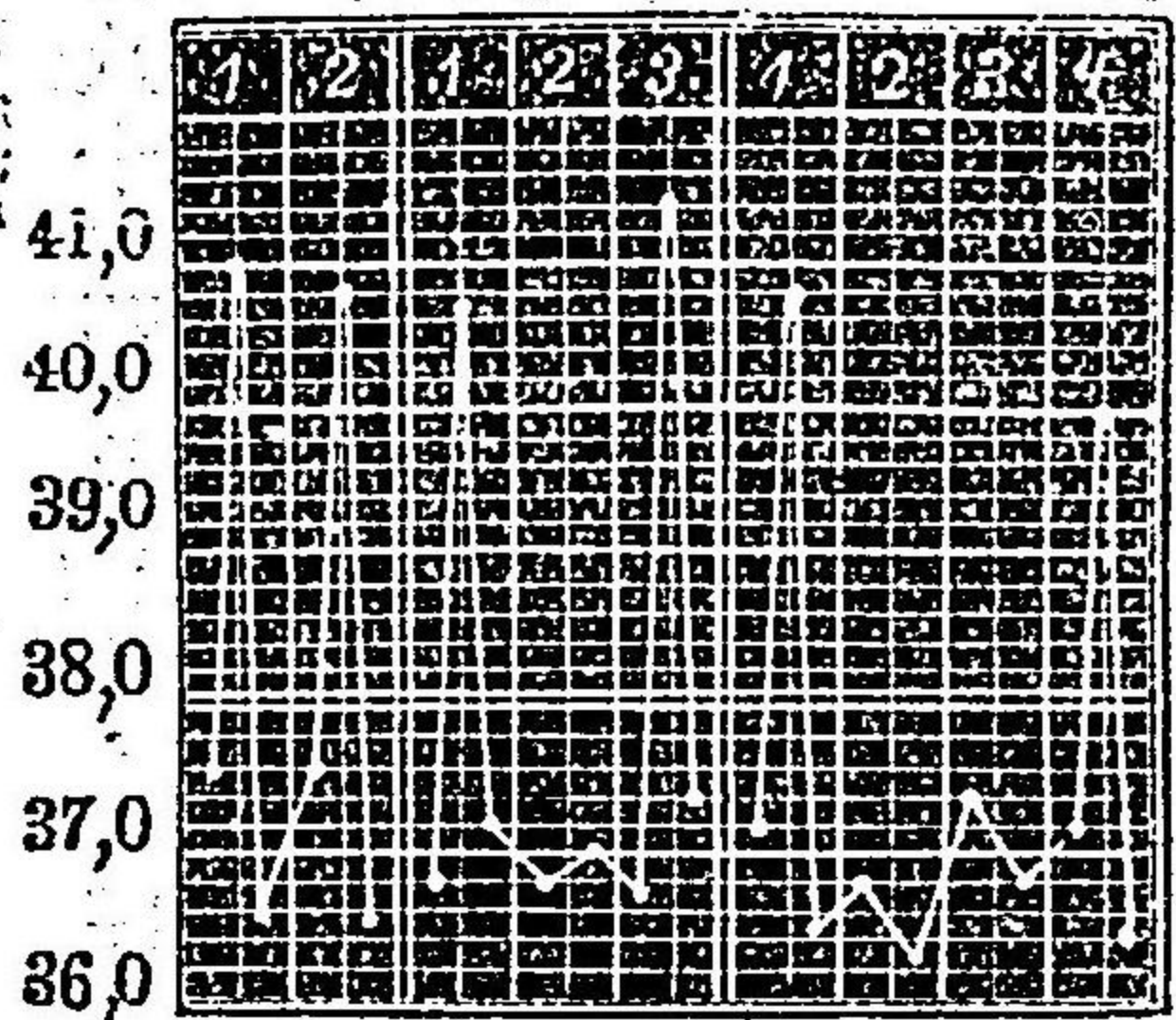
### 間歇熱

Intermittens. インテルミッテンス

**原因** 一千八百八十二年ラウラエン氏及ビリヒルヤド氏ノ發見シタル「マラリアプラズマモーヂエン」ト稱スル寄生物ニシテ血中ニ存在ス(彩色圖參觀)〇該プラズマモーヂエンハ如何ニシテ人體内ニ入ルカノ疑問ハコッホ氏ノ研究ニ由リテ蚊屬就中「アノフェレス」Anophelesノ螫刺ヨリ傳染スルモノト解決セラレタリ本邦ニ於テハ「ドクトル都築甚之助君」理學博士宮島幹之助君「アノフェレス」ヲ研究セラレタリ

**診候** 發作ハ一定ノ時間ニ發ス發作ヲ三期ニ區別ス惡寒期(三十分間或ハ其以上)ニ在テハ惡寒戰慄脈搏頻數(百乃至百二十)發熱期ニ在テハ灼熱頭痛眩暈大渴體温三十九度ヨリ進テ四十度或ハ其ノ以上ニ達ス其經過三乃至五時發汗期ニ在テハ發汗淋漓諸症消散ス尿ハ比重甚ダ高ク

第三十六圖



多量ノ赤色沈渣アル發作時ノ異ナルニ從ヒ毎日熱隔日熱、四日熱等ノ別アル(第二十六圖)而シテ發作ノ持續時間ハ毎日熱ニハ六乃至十二時間隔日熱ニハ六時間四日熱ニハ四時間ヲ常トス○脾ハ必ズ腫大ス豫後 良但シ惡性間歇熱或ハ弛張性麻拉里亞熱ト稱シ日本ニハナクシテ不健康ナル麻拉里亞地方殊ニ熱帶地方ニノ見ルトコロノモノハ概テ

不良

療法 惡寒期ニハ褥中ニ安臥セシメ温布摩擦法ニ依テ身體ヲ温メ又或ハ茶、湯等温ナル飲料ヲ與ヘ或ハ湯婆ヲ抱カシム可シ而シテ發熱期ニ至レバ忽チ反シテ冷器法ヲ行ヒ清涼飲料ヲ與フ可シ其他發作間歇時ニハ主トシテ「キニー子或ハ「オイヒニン(苦味ナシ)ヲ與フ可シ又惡液質トナレル者ニハ鐵劑轉地療法牛乳療法ヲ怠ル可ラス○豫防法ハ毎日キニー子○、三ヲ腹用スベシ又蚊ノ襲來ヲ避クルコトヲ勉ムベシ○メチーレン青ハ其効劣レリ

鹽規

一、〇乃至一、五  
右發作前六時頓用(但シ翌日ヨリ一週間毎日〇、五ニ減量セルモノヲ用ユベシ)

硫規

白糖

一、〇乃至一、五  
右研和散五包ニ分チ(澱粉袋ニ入ル、ヲ良トス)發作前三時二時一時每一包

若シ發作時ノ不明ナルトキハ朝晝夕三回一包或ハ發汗期ノ始メニ與フ可シ

鹽規

龍膽越

一、〇  
右調和丸五粒ニ作り發汗一時間前頓用次回ヨリ〇、五ニ減量ス  
ハツエリー氏ハ左ノ藥劑ヲ用ユ  
鹽規 一、〇

食鹽 〇、七五  
餹水 一〇、〇

右攝氏三十七度ニ温メ上肢靜脈内ニ注入(虚脱ノ兆アルトキ用ユ)

ホーレル水 五、〇

右毎日三乃至四回五滴宛(間歇時ニ用ユ)

惡寒期ニ現ハル、虚脱ニハ左方ヲ處ス

エーテル 一〇、〇

樟腦 〇、二

右調和滴劑

小兒ノ間歇熱ニ在テハ左方ヲ賞用ス

タンニン酸キニーネ 各二、〇

白糖 各二、〇

### 濕爛

Intertigo. インテルトリゴ

間擦濕疹

原因及診候 發汗ノ久時浸潤摩擦ニ由テ起ル皮膚ノ剝脱發赤ナリ小兒ニ

右研和散六包ニ分チ三時一包  
乳汁ニ溶解シ用ユ(哺乳兒ニ用ユ)

硫規 二、〇  
白糖 三、〇

右研和十包ニ分チ發作前每三包  
隔時ニ與フ時トシテ六包迄ヲ用ユルコトアリ

鹽規 〇、五  
餹水 一〇、〇

右半乃至一筒皮下注入料

鹽規 〇、五乃至一、〇

餹水 八〇、〇  
右半量チ一回灌腸料トス

ハ頸部、股間大人ニハ股間ニ發ス  
療法 輕度ナル者ニハ撒布藥ヲ用井又皮膚ノ剝脱シ且ツ潰瘍ヲ發シタル者ニハ先ヅ硼酸水ニテ其部ヲ洗滌シタル後軟膏ヲ貼用スベシ頑固ナルトキハ三%硝酸銀水ヲ塗布ス

澱粉 五〇、〇  
右撒布用

酸化亞鉛 五、〇  
澱粉 五〇、〇  
右調和撒布用

煨製マガ子シア 五、〇  
硅酸マガ子シウム 二〇、〇  
サリチール酸 〇、二  
右調和撒布用

以上撒布藥ハ皮膚ノ剝脱ナキ者ニ用ユ

硼酸 二、〇  
ラノリン 二〇、〇  
右外用

ブロー氏液 二〇〇、〇

---

右糞法料

酸化亞鉛 五、〇  
ワゼリン 五〇、〇  
右調和軟膏ニ作ル

白降汞 各二、〇  
酸化亞鉛 五〇、〇  
ワゼリン 五〇、〇  
右調和軟膏ニ作ル

サリチール酸 二、〇  
ワゼリン 五〇、〇

酸化亞鉛 各二、五、〇  
澱粉 各二、五、〇  
右調和軟泥ニ作ル

### 虹彩炎

Iritis. イリチス

**原因** 外傷、黴毒、淋疾、儂麻質斯、痛風、結核、癩病、月經不調、感冒、眼球他部ノ炎症波及等ナリ

**診候** 急性ハ疼痛殊ニ日晡後ノ劇痛、(疼痛ヲ欠クコトアリ)羞明、流淚、視力障害、角膜周擁充血、前房水ノ溷濁、虹彩ノ腫起變色、瞳孔縮小不正及不動、劇症ニハ發熱嘔吐、衰弱ヲ與フ黴毒結核等ニアリテハ小腫瘍ノ發生、癒着等慢性症ハ諸症輕度ニシテ虹彩癒着硝子體溷濁等アリ視力ノ障害ノ加ハルニ由テ初メテ病アルヲ自覺スルコトアリ

**豫後** 黴毒性、儂麻質斯性ノモノハ概テ良結核性癩病性ノモノハ不良其他原因ノ差違ニヨリテ一定セス全經過年餘ニ至ルコト稀ナラズ

**療法** 原因ニ注意シテ黴毒ニハ水銀塗擦療法ヲ施シ儂麻質斯性ノ者ニハ「サリチール」酸劑ヲ内用トス而シテ多クハ靜臥ヲ命ジ「アトロピン」ノ點眼暗室内ノ棲息、保護鏡ノ懸用等百般ニ注意シ殊ニ眼ノ使用ヲ禁シ便通ヲ利シ水蛭ヲ放ツ可シ其他劇痛ニハ熱罨法頑固ナル癒着ヲ離解スルニハ強キ瞳孔散大藥トシテ「ヒヨス」シネ」ヲ用井或ハ「エゼリン」ト

「アトロピン」ヲ交互連用スルコトアリ

硫酸アトロピン 〇、〇一  
鹽酸コカイン 〇、〇一  
餽水 一〇、〇

右一日數回點眼スベシ

硫酸アトロピン 〇、〇五乃至〇、一  
餽水 一〇、〇

右調和點眼料(瞳孔散大藥)  
右調和點眼料トナシ其一二滴ヲ  
結膜囊中ニ點入スルナリ

然レトモ若シ「アトロピン」ノ刺激ニ因テ結膜炎ヲ發シタルトキニハ其後用ヲ止ム可シ時トシテ「アトロピン」ノ中毒症狀ヲ發スルヲアリ但シ「アトロピン」ノ代用藥トシテ適當ナル者左ノ如シ

プローム酸スコポラミン 〇、〇五乃至〇、一  
餽水 一〇、〇

右點眼料  
ツポイシン 〇、〇五  
餽水 五、〇

右調和點眼料  
劇甚ノ疼痛及羞明アルモノニハ「モルヒ子」ノ皮下注射ヲ行ヒ左方ヲ處ス

黃岩越 一、五  
水銀軟膏 一〇、〇

右調和其量豌豆大ノ者ヲ取り前額及ビ顳額部ニ塗擦ス

鹽酸コカイン 〇、二五  
硫酸アトロピン 〇、〇三  
餽水 五、〇

右調和點眼料  
鹽莫 各〇、〇五  
硫酸アトロピン 一〇、〇  
餽水 一〇、〇

### 虹彩炎